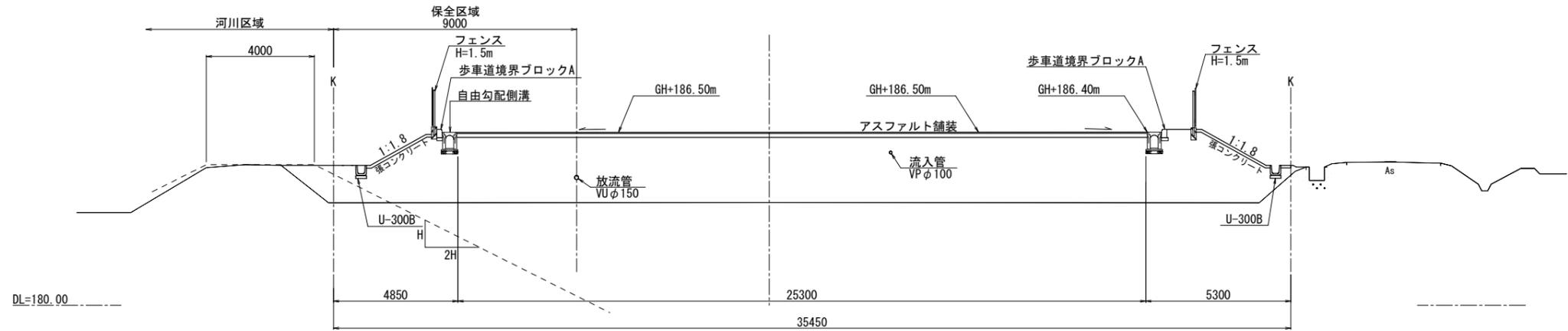


平成 30 年度
 農業集落排水施設整備事業 山田南地区
 汚水処理施設下部工事
 請負設計書
 添付図面一覧表

番号	図面の名称	枚数
【土木】		
D-1~D-2	計画平面図・横断面図	2
D-3~D-9	躯体平面図・断面図	7
D-10~D-13	仮設計画平面図・断面図	4
D-14	防水・防食工標準図	1
D-15~D-17	土木構造配筋要領	3
D-18~D-30	配筋図	13
D-31~D-46	配筋図	16
D-47~D-49	土木スリーブ図	3
D-50	打込電線管配置図 (幹線・動力・電灯コンセント)	1
計		50
【外構】		
G-1	外構計画平面図	1
G-2	流入管計画図	1
G-3	放流管計画図	1
G-4~G-7	外構詳細図(1)~(4)	4
G-8	L型擁壁構造図	1
G-11~G-12	排水路縦断図(3)~(4)	2
計		10
【中継ポンプ】		
P-1	管路工縦断面図	1
P-2	中継ポンプ槽工法図(MP.6)	1
計		2
合計		62

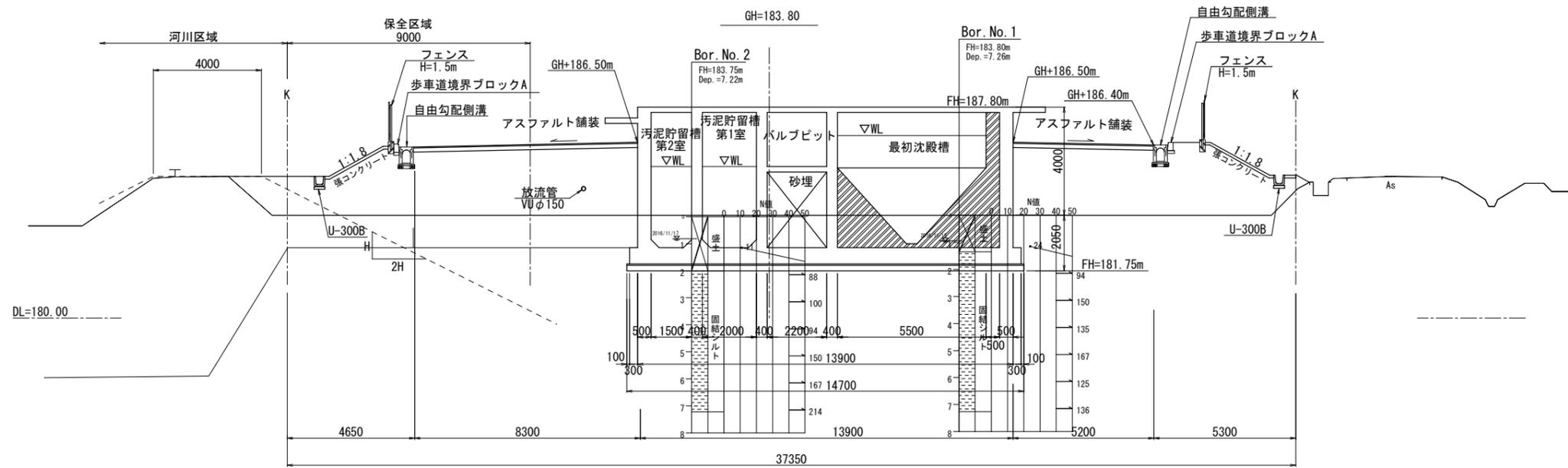
C断面

GH=183.80



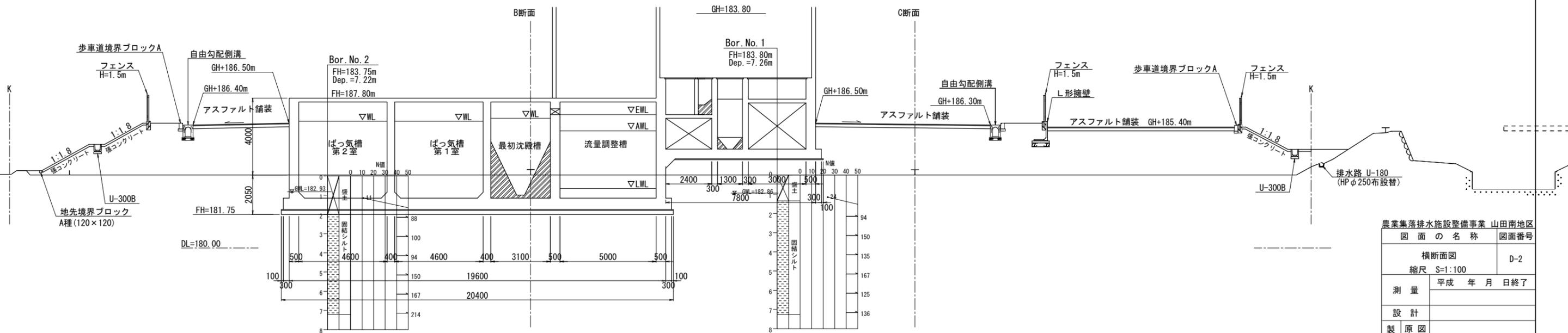
B断面

GH=183.80

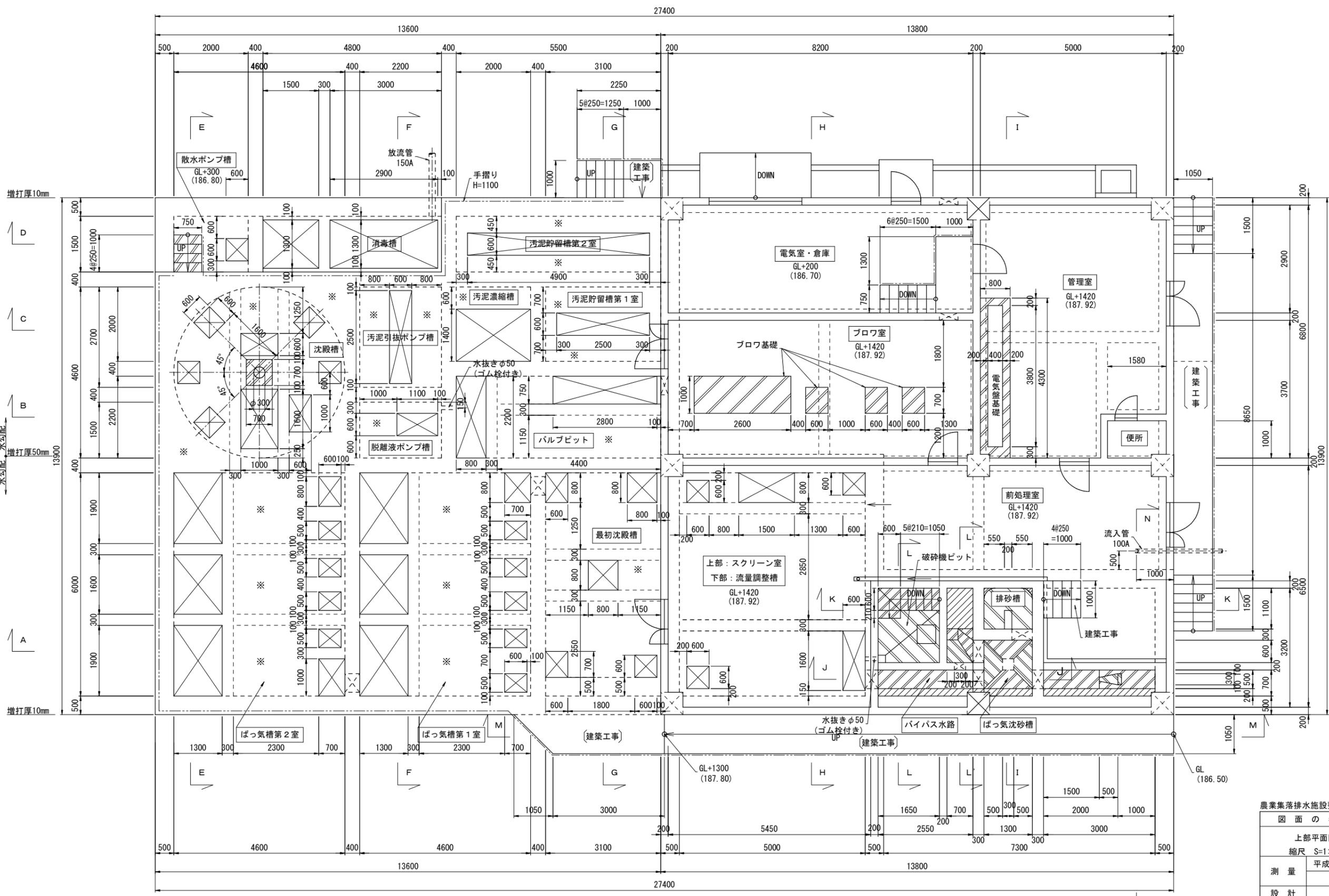


A断面

GH=183.80



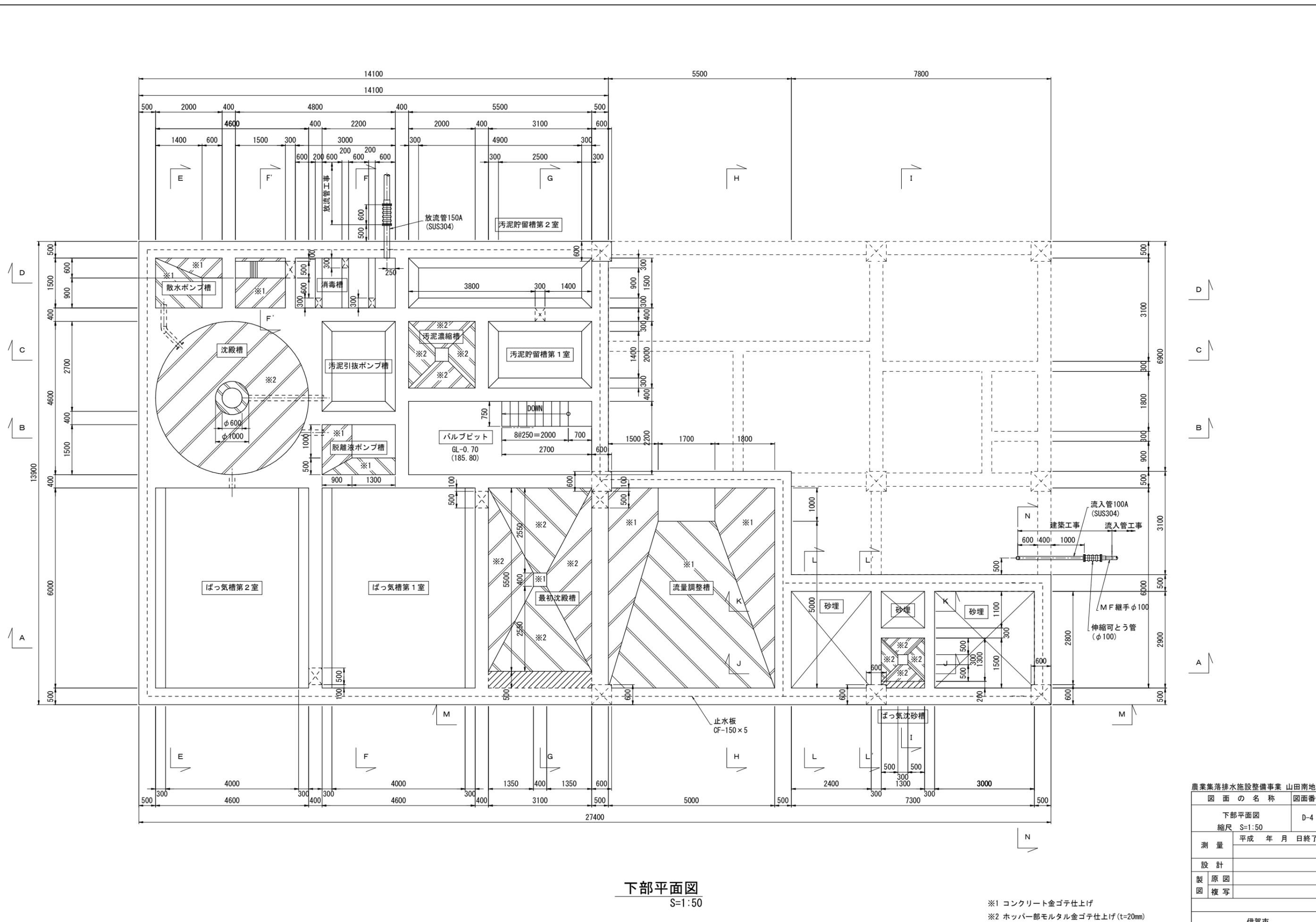
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
横断面図	D-2
縮尺 S=1:100	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



上部平面図
S=1:50

※増打ちコンクリート金ゴテ仕上げ(厚10mm~50mm)

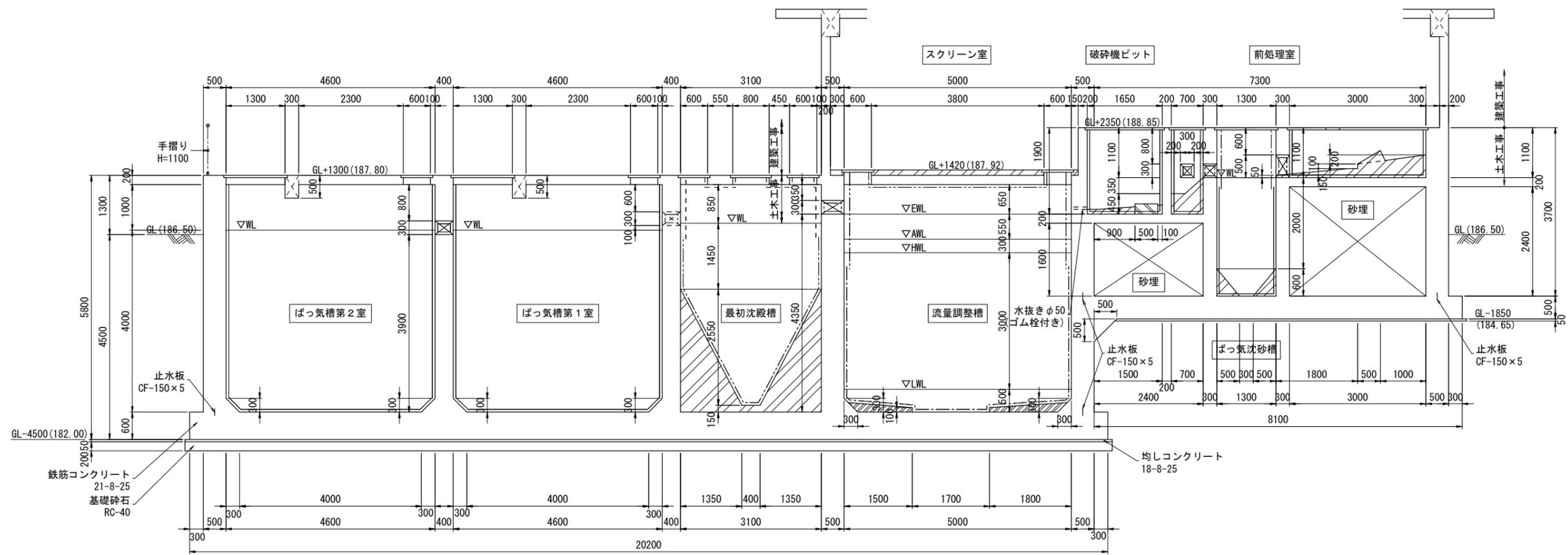
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
上部平面図	D-3
縮尺	S=1:50
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



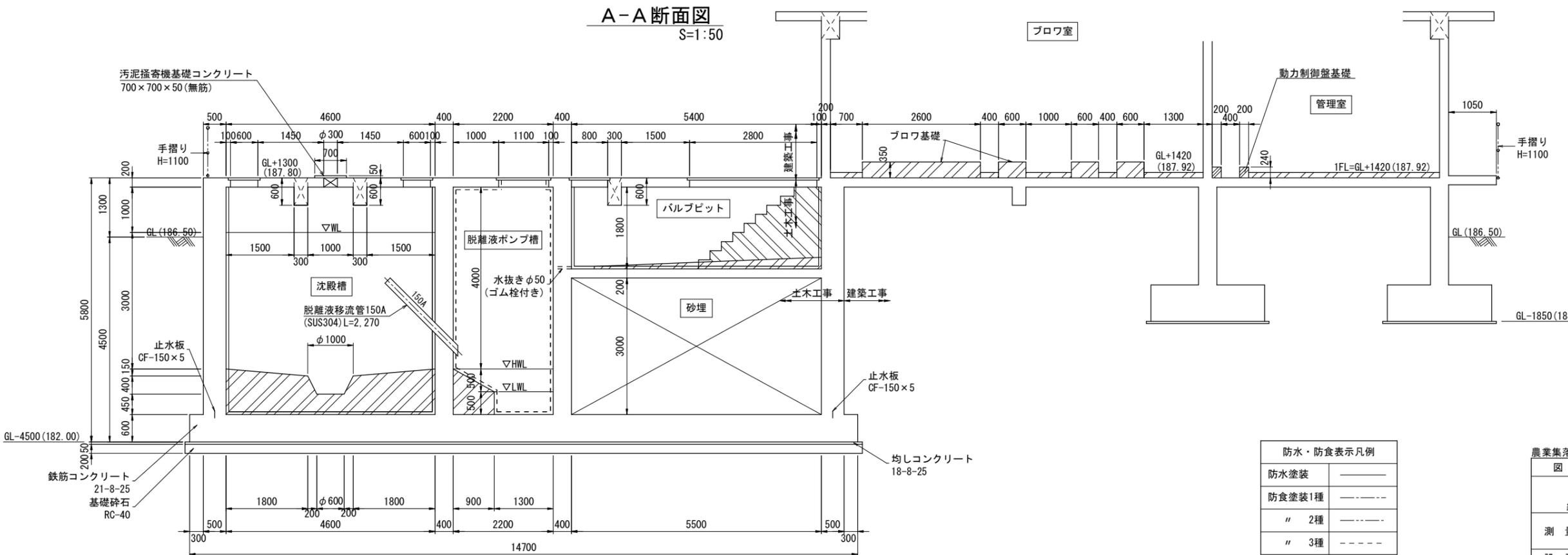
下部平面図
S=1:50

※1 コンクリート金ゴテ仕上げ
※2 ホッパー部モルタル金ゴテ仕上げ (t=20mm)

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
下部平面図	D-4
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



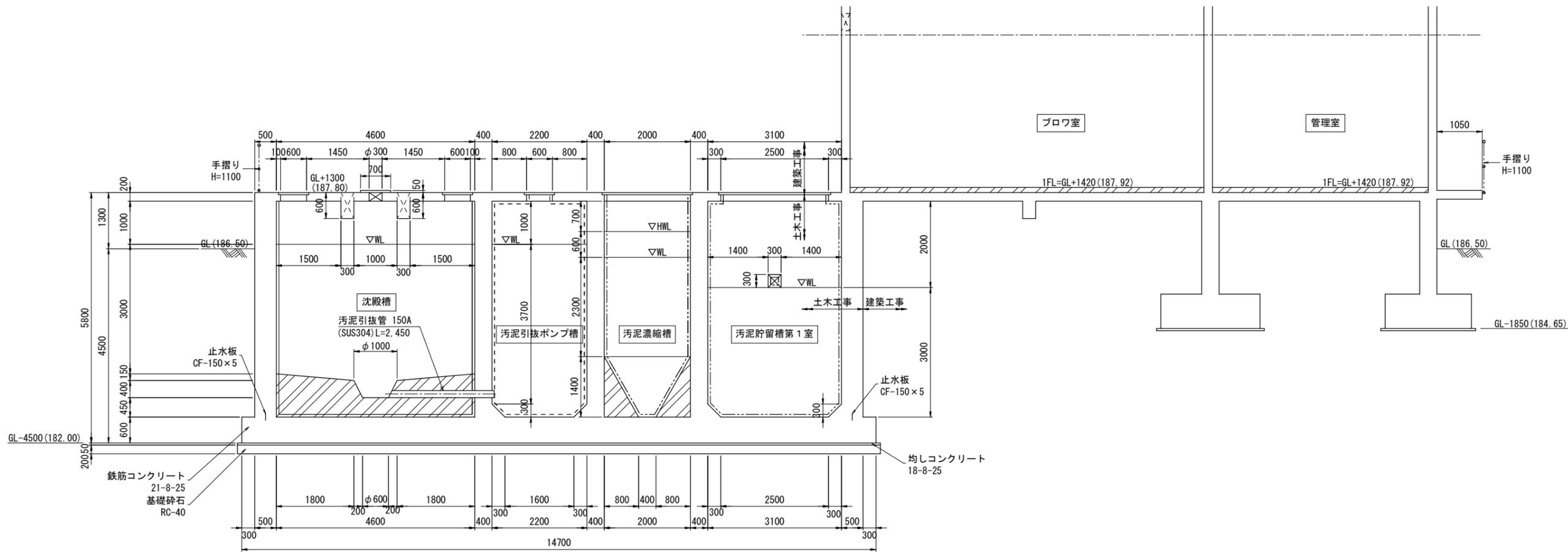
A-A断面図
S=1:50



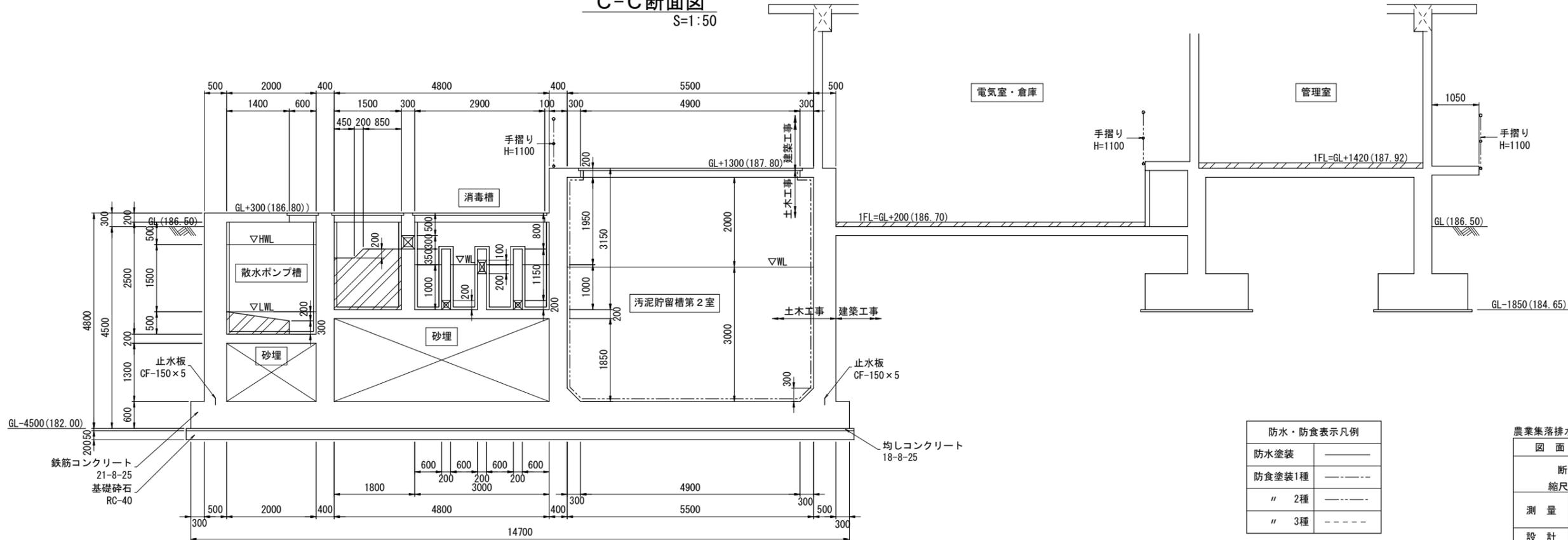
B-B断面図
S=1:50

防水・防食表示凡例	
防水塗装	————
防食塗装1種	-----
防食塗装2種
防食塗装3種	-----

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
断面図(1)	D-5
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



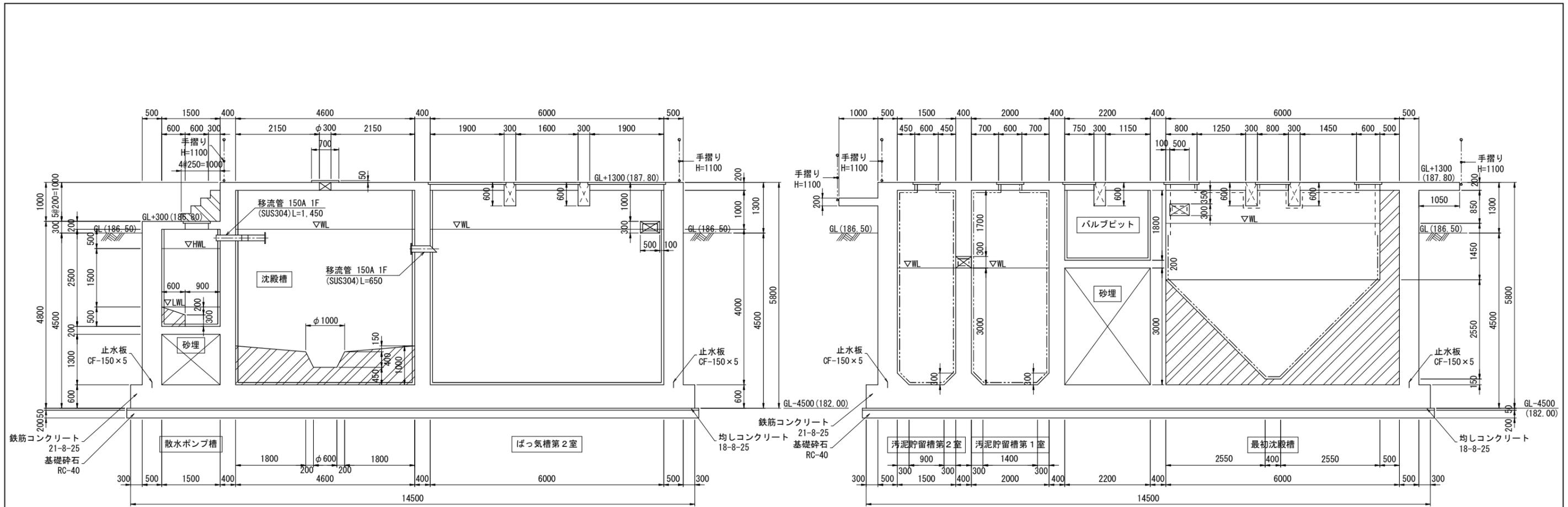
C-C断面図
S=1:50



D-D断面図
S=1:50

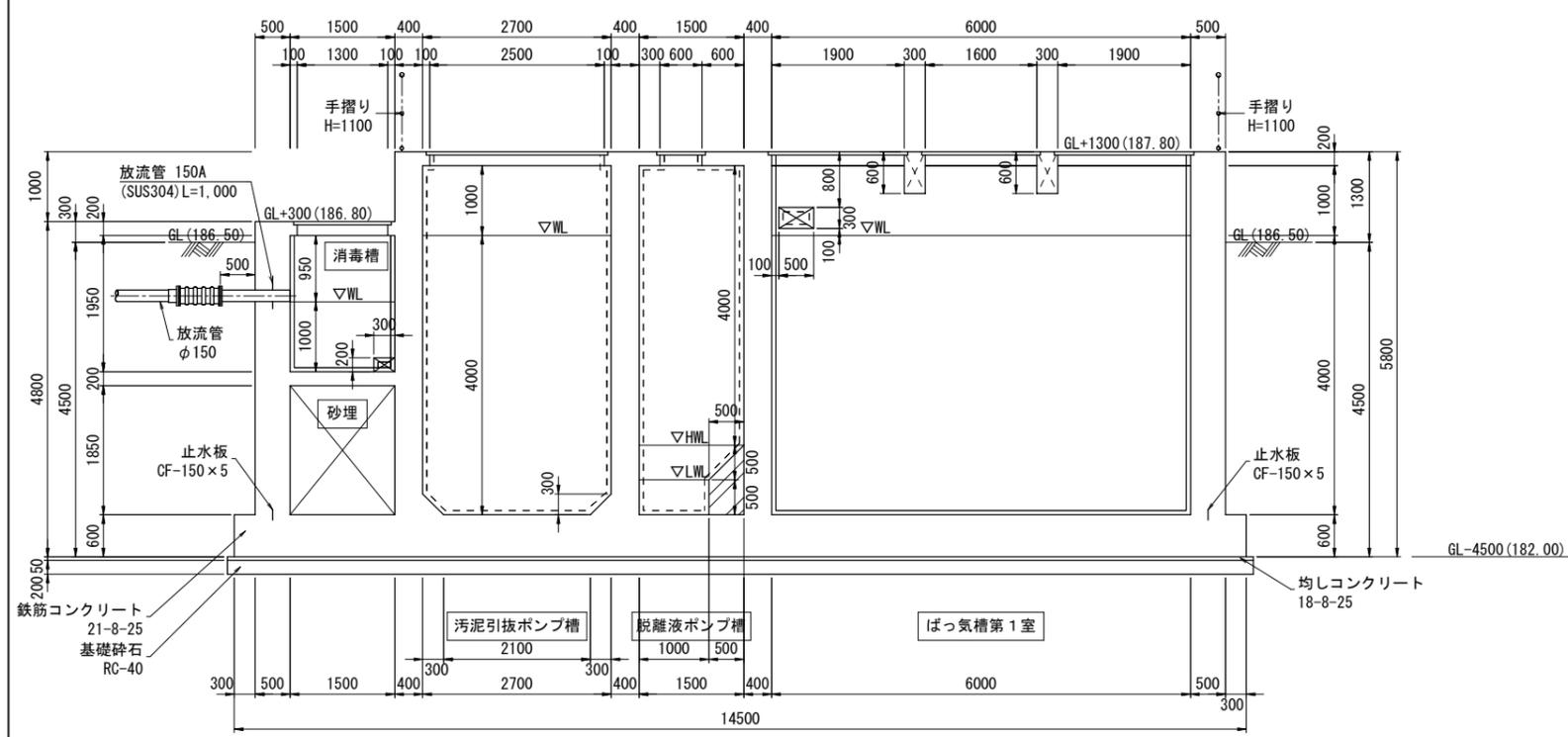
防水・防食表示凡例	
防水塗装	————
防食塗装1種	-----
” 2種	-----
” 3種	-----

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
断面図(2)	D-6
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

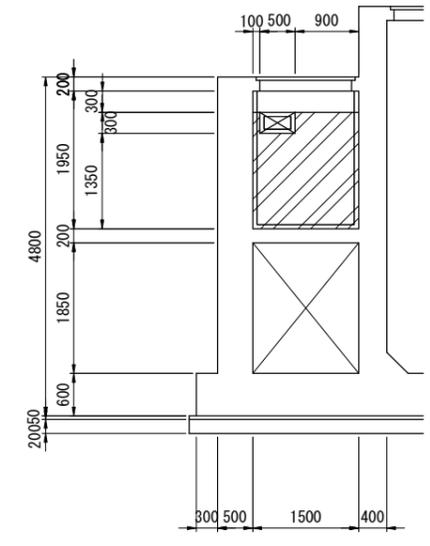


E-E断面図
S=1:50

G-G断面図
S=1:50



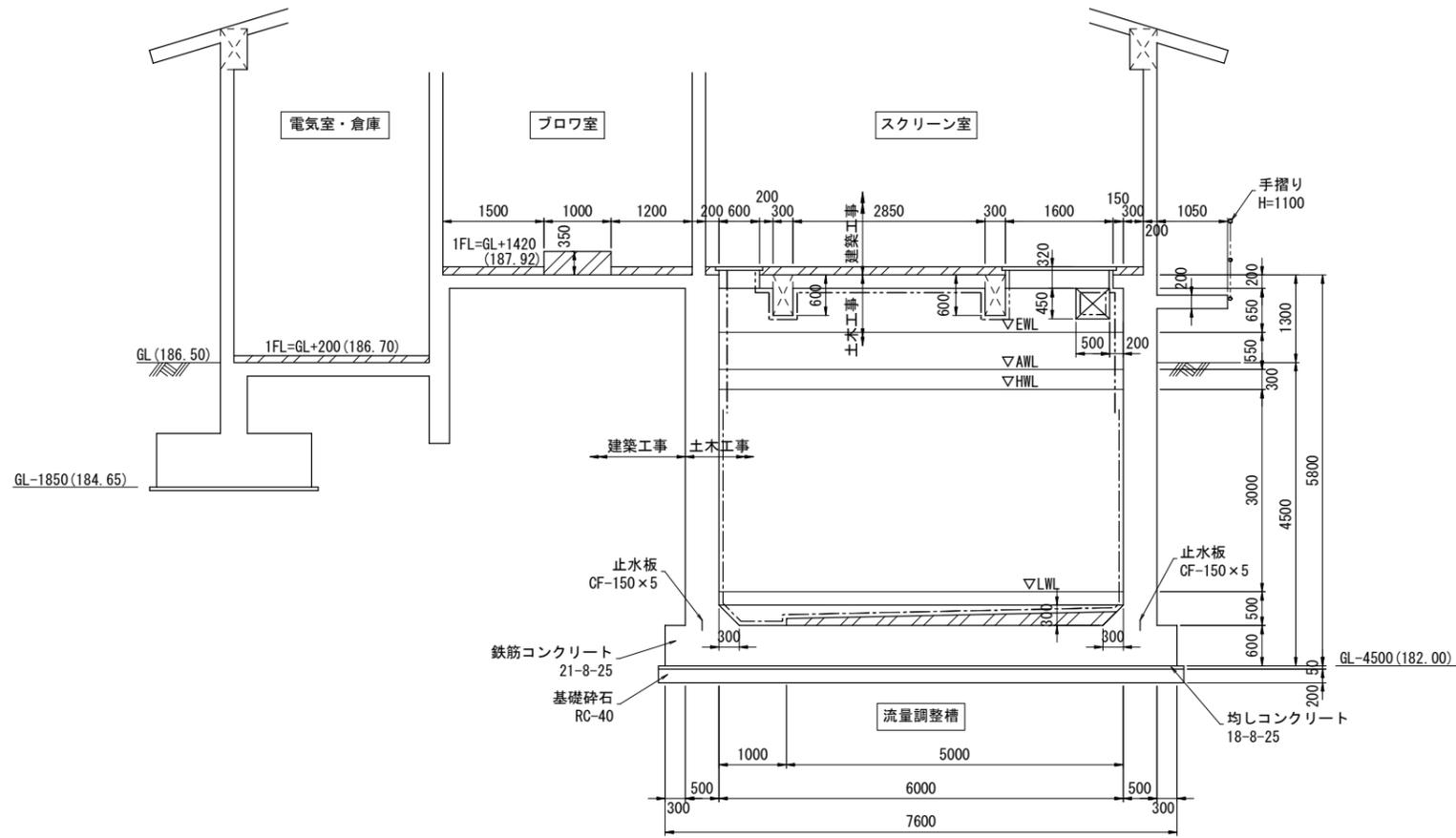
F-F断面図
S=1:50



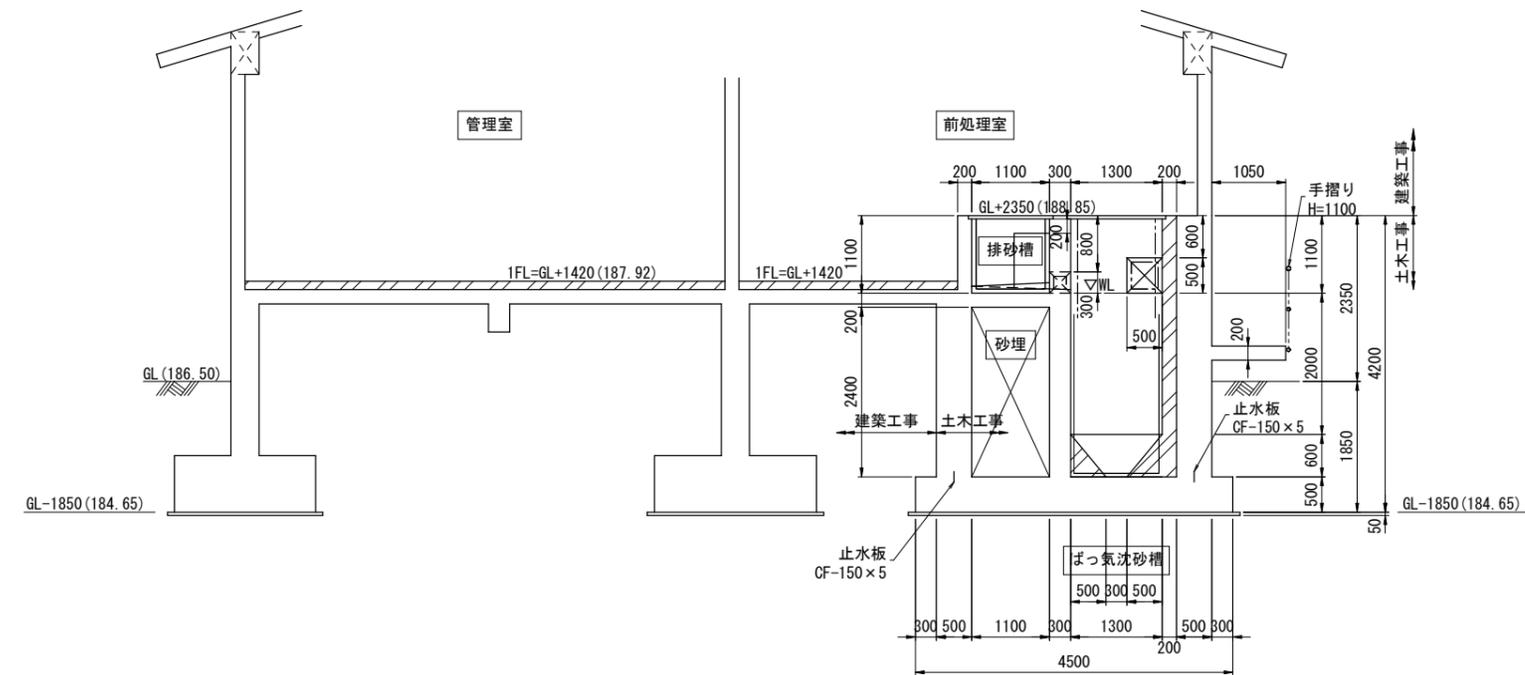
F'-F'断面図
S=1:50

防水・防食表示凡例	
防水塗装	———
防食塗装1種	-----
防食塗装2種	-----
防食塗装3種	-----

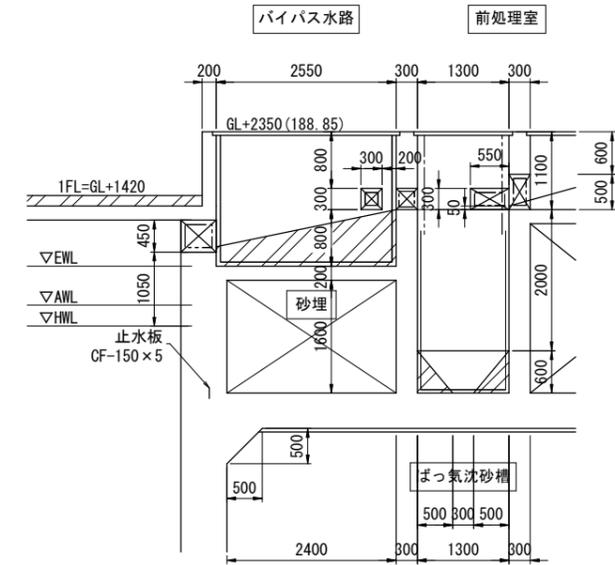
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
断面図(3)	D-7
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



H-H断面図
S=1:50



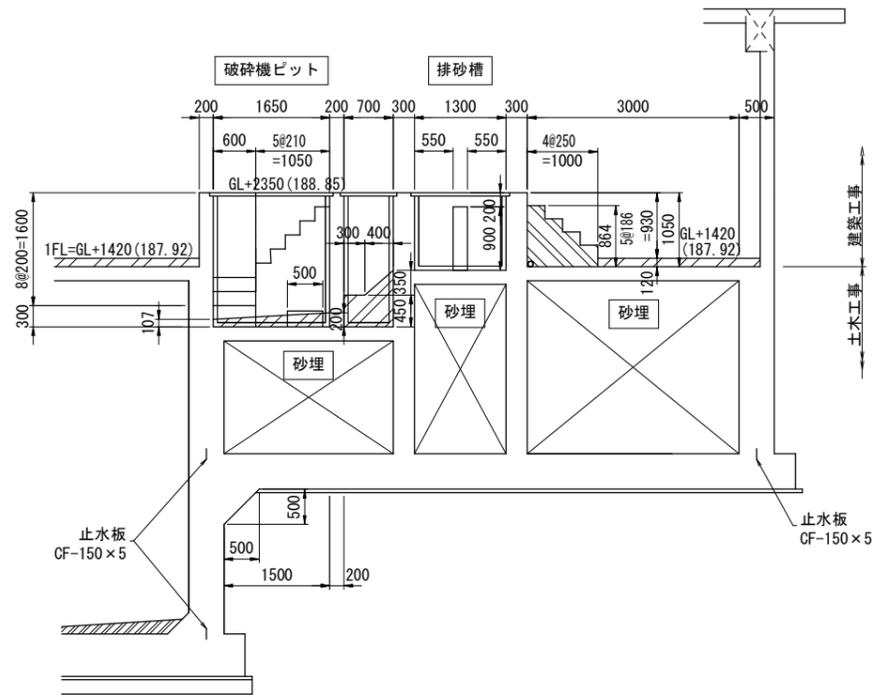
I-I断面図
S=1:50



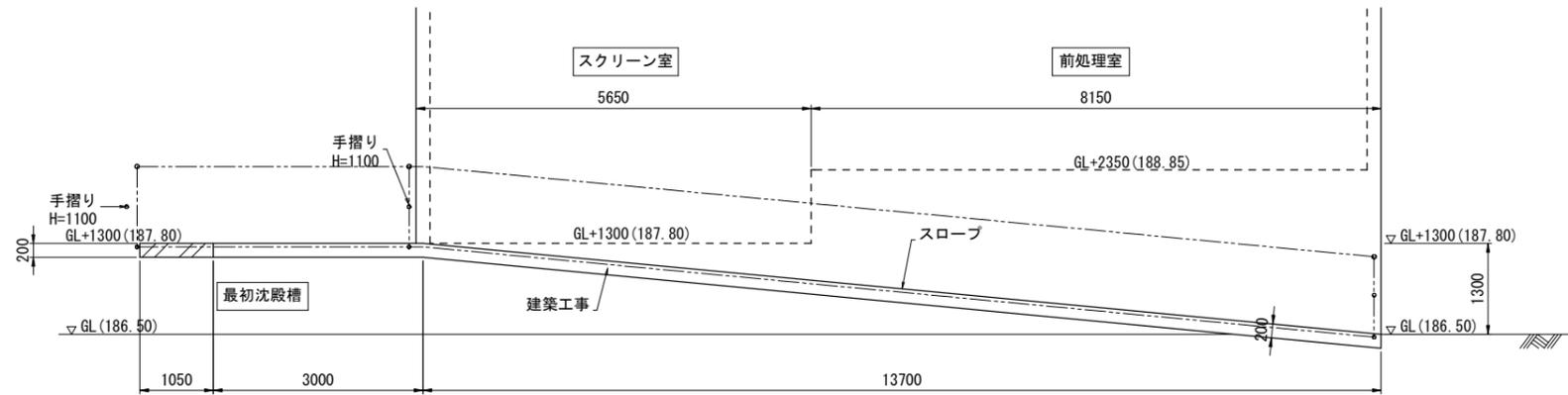
J-J断面図
S=1:50

防水・防食表示凡例	
防水塗装	————
防食塗装1種	-----
” 2種	-----
” 3種	-----

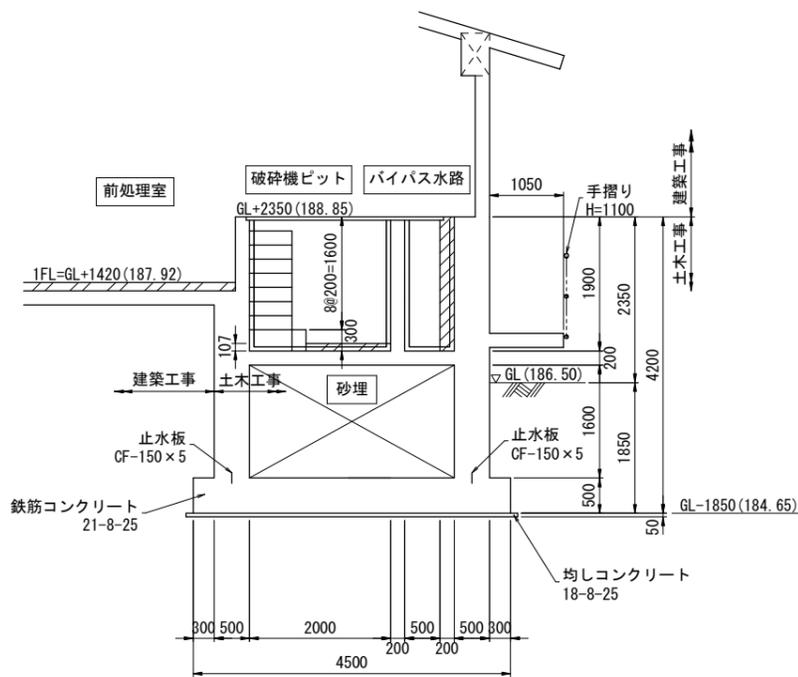
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
断面図(4)	D-8
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



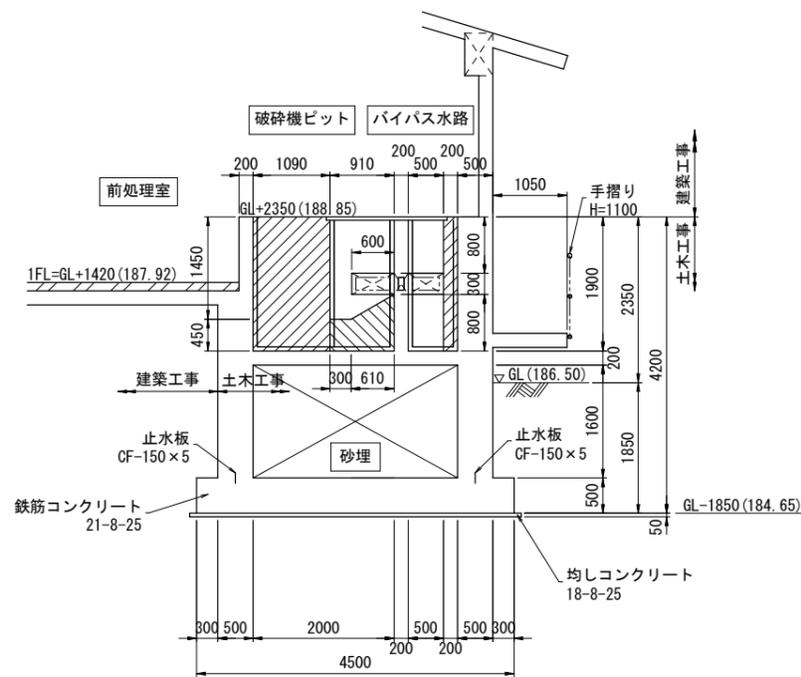
K-K断面図
S=1:50



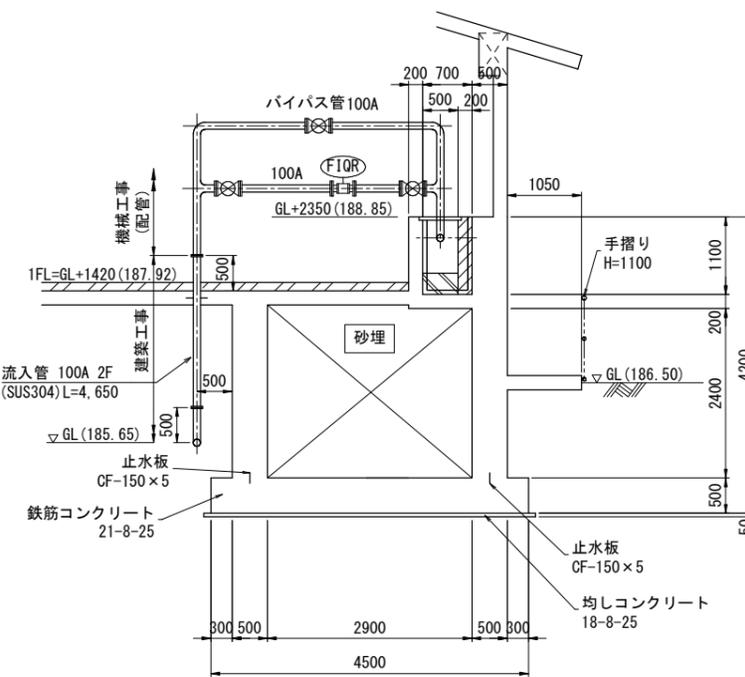
M-M断面図
S=1:50



L-L断面図
S=1:50



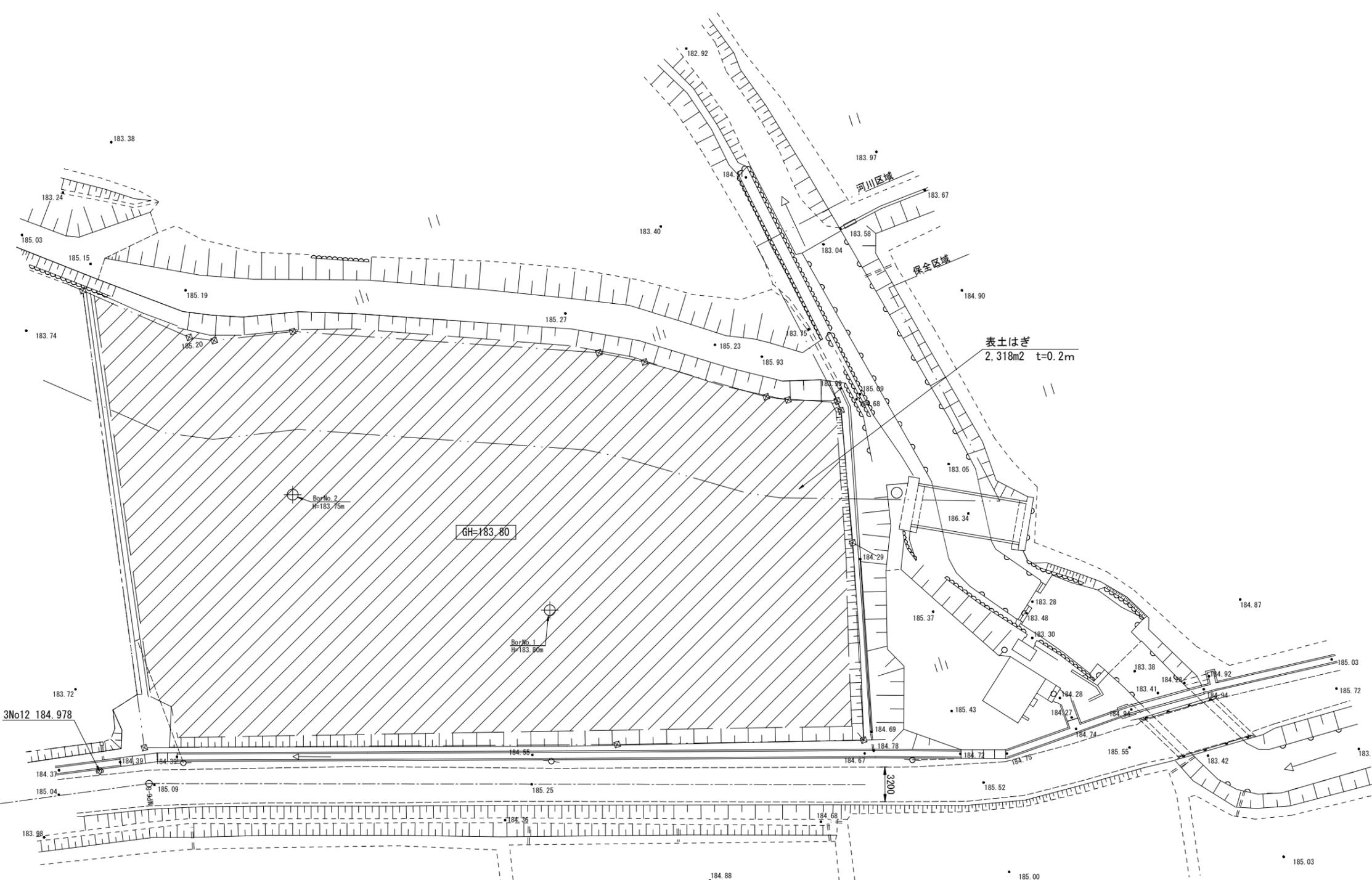
L'-L'断面図
S=1:50



N-N断面図
S=1:50

防水・防食表示凡例	
防水塗装	—————
防食塗装1種	-----
" 2種	-----
" 3種	-----

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
断面図(5)	D-9
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

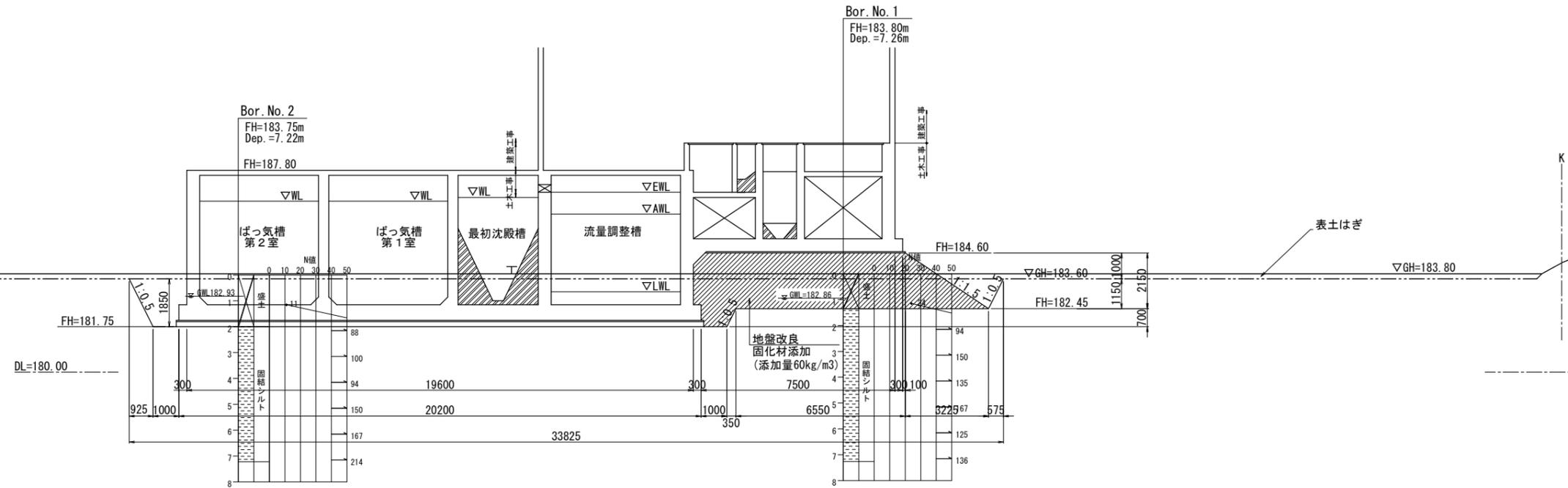


 : 表土はぎ範囲

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
仮設計画平面図(1)	D-10
縮尺 S=1:200	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

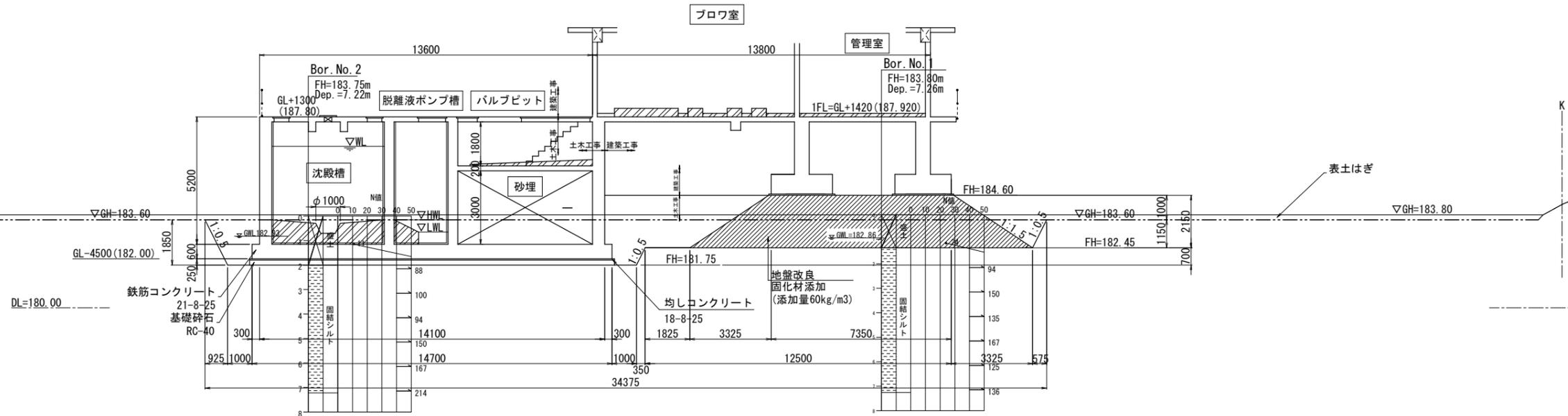
A断面

GH=183.80



A'断面

GH=183.80



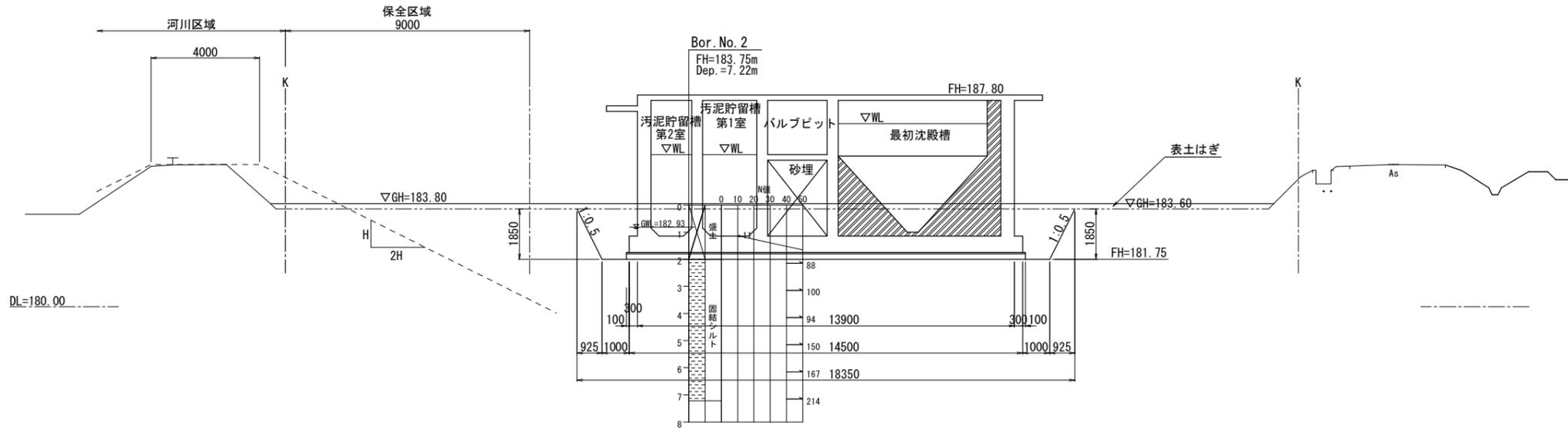
農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
仮設断面図(1)	D-12
縮尺 S=1:100	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

※施工基面 GH=183.60(表土はぎ後)

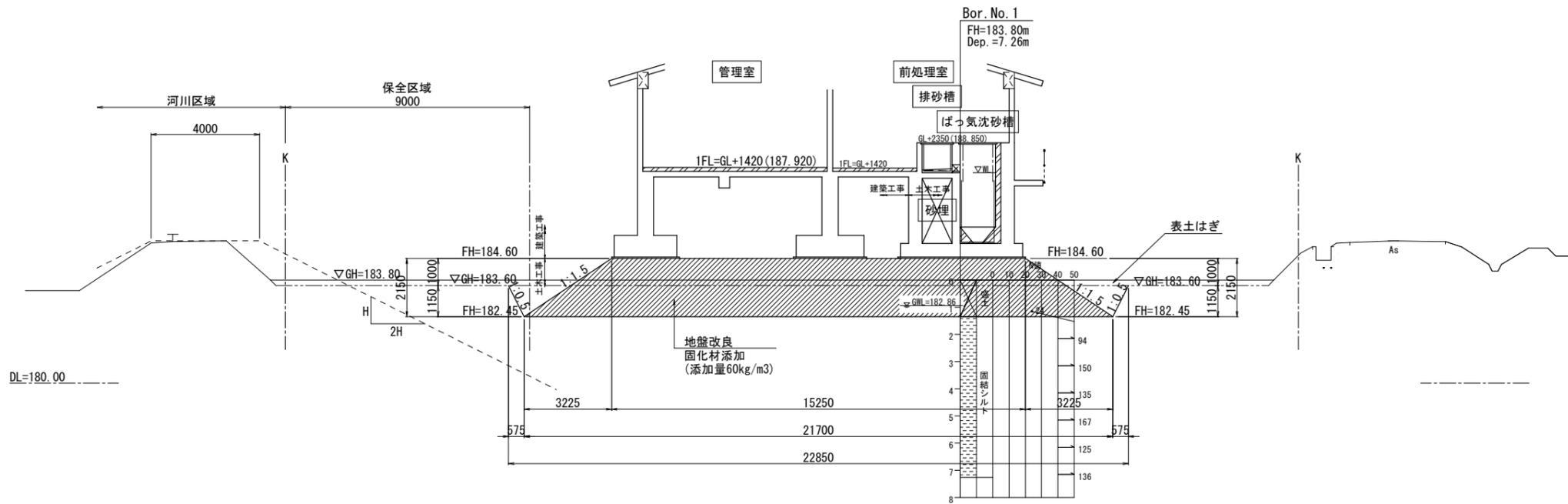
B断面

GH=183.80



B'断面

GH=183.80



農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
仮設断面図(2)	D-13
縮尺 S=1:100	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

※施工基面 GH=183.60(表土はぎ後)

防水・防食工標準図

防食被覆工法の標準仕様

水槽名	施工ランク		施工範囲
	気相部	液相部	
流入水路	防水	防水	スラブ下まで
ばっ気沈砂槽	1種	防水	天井面まで
排砂槽	防水	防水	スラブ下まで
破砕機ピット及び移行水路	防水	防水	スラブ下まで
バイパス水路	防水	防水	スラブ下まで
流量調整槽(窒素除去性能を付加する処理方式)	2種	1種	天井面まで
最初沈殿槽	3種	2種	天井面まで
ばっ気槽第1室	防水	防水	スラブ下まで
ばっ気槽第2室	防水	防水	スラブ下まで
沈殿槽	防水	防水	スラブ下まで
脱離液ポンプ槽	3種	3種	天井面まで
汚泥引抜ポンプ槽	3種	3種	天井面まで
バルブピット	防水	防水	スラブ下まで
汚泥濃縮槽	2種	2種	天井面まで
汚泥貯留槽	2種	2種	天井面まで
散水ポンプ槽	防水	防水	スラブ下まで
消毒槽	防水	防水	スラブ下まで

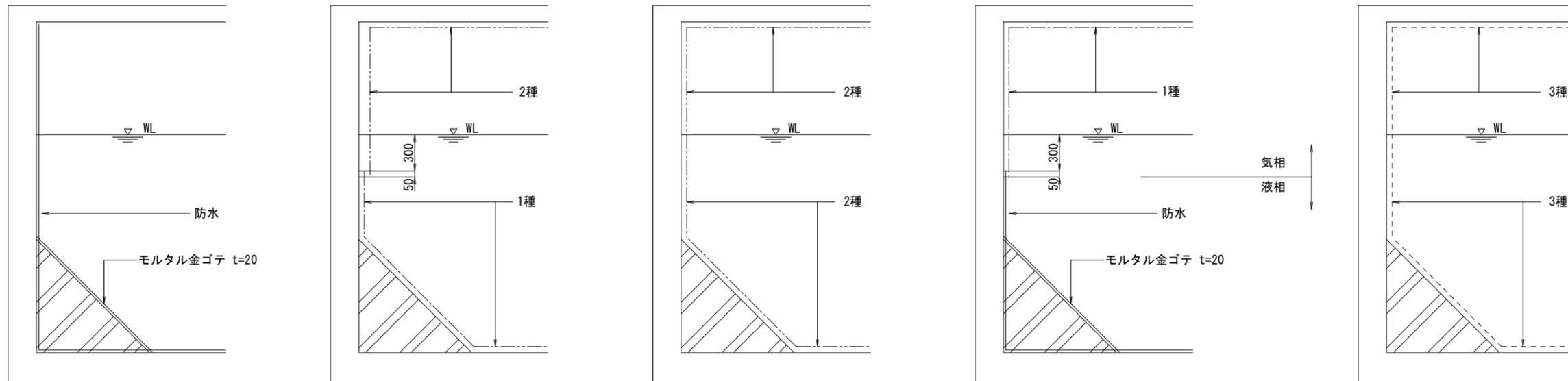
- 注1：気相部は、水面下30cmまでとし、スラブ下、梁を含む。
 注2：防食工の種類が異なる場合及び防食工と防水工の場合の重ね合わせ幅は、5cmとする。
 注3：水槽内無筋コンクリートホッパー部はモルタル金ゴテ仕上げとする。
 注4：各処理槽より次槽(室)への移行水路は前槽施工基準に従う。
 注5：移流開口部の防水・防食は隣接する槽の上位の施工ランクで施すこと。

分類	使用材料	被覆工法	設計厚 mm	環境条件の分類
1種	エポキシ樹脂	塗り回数2回以上の被覆	0.20以上	1種
2種	エポキシ樹脂	塗り回数3回以上の被覆	0.35以上	2種
3種	エポキシ樹脂	補強材(ガラスクロス)を1プライ積層の被覆	0.70以上	3種
	セラミックパウダー入りエポキシ樹脂	塗り回数2回以上の被覆	5.00以上	

- 防食工は、「農業集落排水設計指針」に基づき施工するほか「農業集落排水施設のコンクリート防食設計・施工の手引き(設計編・施工編)」に基づくものとする。
 注1. 防食被覆工法における施工ランク別性能は、「参考資料1の防食被覆の品質規格」に適合するものであること。
 注2. 各施工ランク別防食被覆工法の設計仕様は、「4.9 防食被覆工法の設計仕様」に示す。
 注3. 設計仕様に示す各使用材料の品質は、参考資料の2.1.2.2.3.2.4.2.5.2.6の使用材料の品質規格に適合するものであること。
 注4. 設計厚にはプライマーは含まず、防食被覆材のみの厚さとする。
 注5. ガラスクロスは、JIS R 3416(ガラスクロス)に規定されたEPF21Aを使用すること。
 注6. プライとは、PLY(英)を語源とする。1プライは、補強材を1重にし積層して、樹脂を含浸させる1回の工程を言う。
- 気相部は、最低水面下30cmまでとし、スラブ下、梁を含むものとする。
- 液相部は、気相部を除き常時水面下にある部位とし、底版を含む。
- 気相部における塗布防水は、スラブ下までとし、底版を含む。
- 塗布防水は無機質浸透性とする。(2回塗り)
- 底版と壁のコンクリート打継ぎ箇所には、合成樹脂止水板 H=150を施工する。

水槽外・地下室仕上表	
水槽天端	床：鉄筋コンクリート増打ち、コンクリート金ゴテ仕上げ 水勾配は0.5%程度とする
スラブ開口	FRP グレーチング
止水板	CF150×5

防水防食施工標準図



農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
防水・防食工標準図	D-14
縮尺	S=1:—
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

農業集落排水施設（汚水処理施設） 土木構造配筋要領

1. 一般事項

1) 適用範囲

- 農業集落排水施設（汚水処理施設）土木構造配筋要領は農業集落排水処理施設における汚水処理施設の土木構造物に適用する。
- 設計図及び土木構造配筋要領に記載されていない事項は、下記の優先順位で運用する。
 - 特記仕様書（別紙参照）
 - 県土木工事一般仕様書（平成 年 版）
 - 農業集落排水施設設計指針（平成19年版）
 - 農業集落排水施設施工指針（平成19年版）
 - コンクリート標準示方書（ 年 版）

2. 使用材料

項目は○印がついたものを適用する。○印のない場合は、※印のあるものを適用する。
○印と※印が共にある場合は、両方とも適用する

1) 鉄筋の仕様

- 鉄筋の種類
鉄筋の種類は表2-1による。

鉄筋の種類	種別	鉄筋径
	SD295A	※D16以下 ※D19以上（土木部）
SD345	※D19以上（土木部・建築部梁・柱）	

- 鉄筋の継手

鉄筋の継手は表2-2による。

鉄筋の継手	種別	鉄筋径
	ガス圧接継手	※D19以上の梁と柱主筋
重ね継手	上記以外	

- コンクリートの仕様

コンクリートは表2-3による。

適用	分類	コンクリート種別	強度 N/mm ²	スラブ cm	セメントの種類
・	躯体コンクリート	※普通コンクリート	※21	・	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
・	無筋コンクリート	※普通コンクリート	※18	・	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
・	均しコンクリート	※普通コンクリート	※18	・	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB

- 直接基礎工

基礎石材及び均しコンクリートは表2-4による。

基礎の種類	基礎の厚さ	基礎の材料
石	※150mm	※栗石 ・クラッシャーラン ・再生砕石
コンクリート	※50mm	※均しコンクリート

3. 鉄筋の曲げ加工

- 土木基準による鉄筋の折曲げ

(1) 末端部の折曲げは表3-1による（標準フック）

折曲げ 角度	折曲げ図	SD295A, SD295B, SD345		SD390		SD490	
		軸方向 引張鉄筋	スラップ 帯鉄筋	軸方向 引張鉄筋	スラップ 帯鉄筋	軸方向 引張鉄筋	スラップ 帯鉄筋
半円形 フック 180°		2.5φ	2.0φ	3.0φ	2.5φ	3.5φ	3.0φ
鋭角 フック 135°		2.5φ	2.0φ	3.0φ	2.5φ	3.5φ	3.0φ
直角 フック 90°		2.5φ	2.0φ	3.0φ	2.5φ	3.5φ	3.0φ

(2) 中間部の折曲げ寸法は表3-2による。

折曲げ 角度	折曲げ図	使用箇所
90°以下		曲げ内法直径 r r = 10φ 以上 ラーメン部材等の折曲げ部に用いる。
90°以下		曲げ内法直径 r r = 5φ 以上 ラーメン部材等の折曲げ部に用いる。

◆参考◆建築基準による鉄筋の折曲げ

(1) 末端部の折曲げは表3-3による

折曲げ 角度	折曲げ図	SD295A, SD295B, SD345 SDR295, SDR345		SD390	使用箇所
		D16以下	D19~38	D10~38	
180°		3d 以上	4d 以上	5d 以上	柱・梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋
135°		3d 以上	4d 以上	—	あばら筋、帯筋、 スパイラル筋 D13以下の鉄筋
90°		3d 以上	4d 以上	5d 以上	T形及びL形の梁の あばら筋
135° 及び 90°		3d 以上	4d 以上	—	幅止め筋

(2) 中間部の折曲げ寸法は表3-4による。

折曲げ 角度	折曲げ図	SD295A, SD295B, SD345 SDR295, SDR345		SD390	使用箇所
		D16以下	D19~38	D29~38	
90° 以下		3d 以上	4d 以上	—	あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
90° 以下		4d 以上	6d 以上	8d 以上	※SD390 その他部材鉄筋等

4. 異形鉄筋の末端部

(1) 異形鉄筋の末端部には下記によりフックを設ける。

- 梁のあばら筋、柱の帯鉄筋及びその重ね継手
- 基本定着長を短くする場合フックを設け10d以下で短くできる。
- 柱の四隅の主筋における重ね継手の場合（火災の可能性のない場所は除く）
- 梁の出隅の主筋における重ね継手の場合（火災の可能性がない場所は除く）
- 幅止め筋

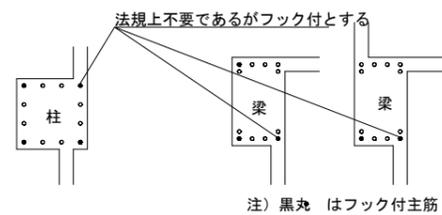


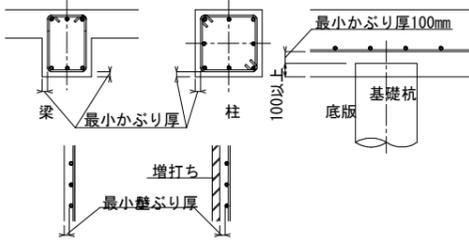
図4-1 柱、梁の主筋の重ね継手がフック付となる鉄筋

5. 鉄筋のかぶり及び間隔

- 鉄筋のかぶり

環境条件	構造部位	主鉄筋径	単位 (mm)		
			最小かぶり厚	標準設計かぶり厚	本設計かぶり厚
一般の環境	スラブ	D16以下	25	50	—
		D19・D22	25	60	—
		D25	25	70	—
	梁・柱	D10~D25	30	60	—
		D10~D25	35	70	—
		D13以下	40	60	60
腐食性環境	スラブ	D16・D19	40	70	80
		D22・D25	40	80	80
	梁・柱	D10~D25	50	80	80
		D10~D25	60	90	90

- 最小かぶり厚とはコンクリート表面から鉄筋表面までの距離
- 設計かぶり厚とはコンクリート表面から鉄筋中心までの距離で構造計算で用いる。



- 鉄筋の間隔

(1) スラブ
スラブにおける主鉄筋の中心間隔は、最大モーメントの断面においてスラブの厚さの2倍以下で、かつ、300mm以下とする。また、最小間隔は125mm程度とする。

- 梁、柱

鉄筋相互のあきは下記を標準とする

- 骨材の最大寸法の1.25倍
 - 最小25mmとする
 - 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍
- 以上による鉄筋間隔の最小寸法は表5-2による。

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25
最小芯間隔	42	45	50	52	59	66

(注) 最大粗骨材25mmの場合

6. 鉄筋の定着及び継手

- 土木基準による鉄筋の定着

(1) 引張鉄筋の基本定着長は表6-1による

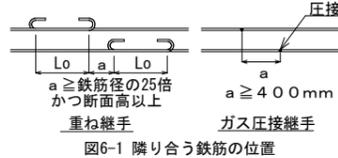
鉄筋の種類	コンクリート 設計基準強度 N/mm ²	基本定着長	
		フック無	フック付
SD295A, B	18	32d	22d
	21	30d	21d
	24	28d	20d
SD345	18	36d	26d
	21	34d	24d
	24	32d	22d

※本工事においては、基本定着長を30dとする。

- 鉄筋の定着長は基本定着長以上とする。
- 圧縮鉄筋の基本定着長は表6-1の0.8倍とする。
- 定着部が曲がった鉄筋の定着長は、曲げ内半径が10φ以上のときは曲線部も有効長に含めるが、10φ未満の場合は曲線の終点以降が有効とする。
- 鉄筋の定着長算定位置
 - モーメントが最大となる断面からLs（部材の有効高）だけ離れた位置から
 - 計算上鉄筋の一部が不要となる断面からLsだけ離れた位置から
 - 柱の下端では、1/2Lsかつ鉄筋径の10倍だけ離れた位置から
 - 梁の固定端では引張鉄筋が上下から拘束される場合は1/2Ls、片側だけの場合はLsだけ離れた位置から

- 土木基準による継手

- 水槽部の継手は重ね継手を標準とし、重ね継手の長さは基本定着長以上とする。
- 柱、梁等狭小な部分で、鉄筋径がD19以上の場合ガス圧接継手とする。
- 継手の位置は、基本的には圧縮側に配置するのが望ましいが、引張側に設ける場合には配置する鉄筋量が必要鉄筋量の1/2以下となる位置とする。



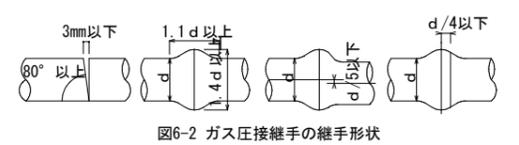
◆参考◆建築基準による定着長と重ね継手長

- 建築基準による定着及び継手長は表6-2による。
この規定は水槽工事で必要となる上屋関連工事（柱、梁及びその取り合い工事）に適用する。

鉄筋の種類	コンクリートの設計 基準強度 (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L1	L2	L3		L1	L2	L3	
SD295A SD295B SD345 SDR295 SDR345	21, 24	40d	35d	10d かつ 150mm 以上	25d	30d	25d	15d	—
	27, 30, 33, 36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21, 24	45d	40d	—	—	35d	30d	—	—
	27, 30, 33, 36	40d	35d			30d	25d		

- L1: 継手ならびにL2、及びL3、以外の定着長。
- L2: 割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ。
- L3: 小梁及びスラブの下端筋の定着長さ。但し、基礎耐圧スラブ、これを受ける小梁は除く。
- フックのある場合のL1, L2, L3にはフック長を含まない。

(2) ガス圧接継手の継手部形状は図6-2による。



◆参考◆建築基準による隣り合う継手の位置

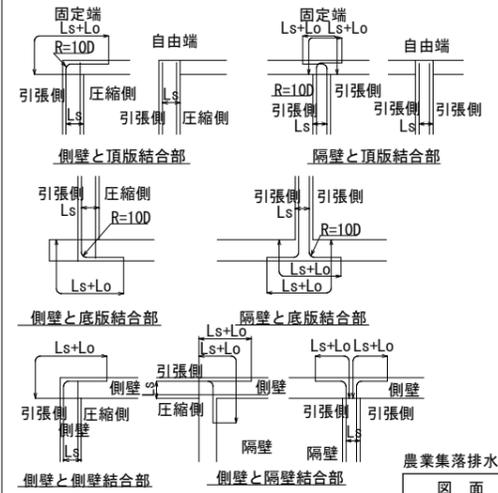
建築基準による隣り合う継手の位置は表6-3による。

状況	条件
フックのある場合	a = 0.5L
	a ≥ 0.5L
フックのない場合	a = 0.5L
	a ≥ 0.5L
圧接継手の場合	a ≥ 400mm

7. 壁の配筋要領

- 壁鉄筋の定着と継手及び交差部配筋

- 壁鉄筋の継手位置は圧縮側に設けるか、引張側に設ける場合でも極力応力の小さい場所とする。
- 壁の交差部においては、原則として継手を設けない。
- 固定端での鉄筋の定着は、必要な定着長を確保し、確実に定着する。
- 壁鉄筋の標準的な定着方法は図7-1による。



図面の名称	図面番号
土木構造配筋要領(1)	D-15
縮尺 S=1:-	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

注1 圧縮側の鉄筋においても水位の変動等で引張鉄筋になる場合は所定の定着が必要である。

注2 図中のLsは部材の有効高、Loは定着長を示す。

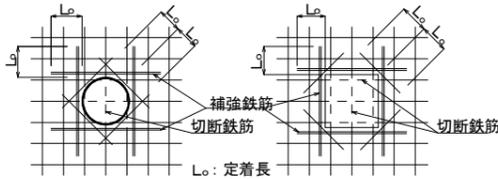
注3 二段目までの図は断面図、最下段は平段面図を示す。

2) 壁の最小鉄筋量

- (1) 壁の最小鉄筋量は、1m幅当り500mm²とする。但し配力筋においては、主鉄筋の1/6以上、かつ500mm²とする。
- (2) 壁の最大鉄筋間隔は壁厚の2倍以下、かつ、300mm以下とする。
- (3) 最小鉄筋間隔は125mm程度以上とする。

3) 開口部の補強

壁の開口部の周辺には、応力集中等によるひび割れに対して、補強鉄筋を配置する。



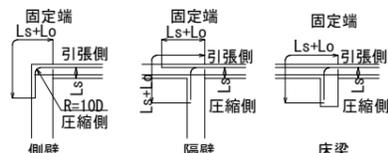
注1) 切断鉄筋以上の補強鉄筋を配置する。
注2) 補強筋の被りは規定値とする。
注3) 鉄筋を切断しない開口は補強を省略できる。

図7-2 壁開口部補強図

8. 床版の配筋要領

1) 床版鉄筋の定着と継手

- (1) 壁配筋の継手位置は圧縮側に設けるか、引張側に設ける場合でも極力応力の小さい場所とする。
- (2) 壁の交差部においては、原則として継手を設けない。
- (3) 固定端での鉄筋の定着は、必要な定着長を確保し、確実に定着する。
- (4) 床版配筋の標準的な定着方法は図8-1による。



注1 図中のLsは部材の有効高、Loは定着長を示す。

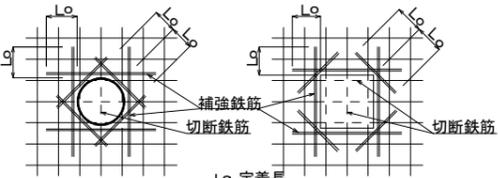
図8-1 壁の固定端における定着方法

2) 最小部材厚さと最小鉄筋量

- (1) 床版の最小部材厚さは200mmとする。
- (2) 床版の最小鉄筋量は、1m幅当り500mm²とする。但し配力筋においては、主鉄筋の1/6以上、かつ500mm²とする。
- (3) 最大鉄筋間隔は床版の厚さの2倍以下、かつ、300mm以下とする。
- (4) 最小鉄筋間隔は125mm程度以上とする。

3) 開口部の補強

床版の開口部の周辺には、応力集中等によるひび割れに対して、補強鉄筋を配置する。

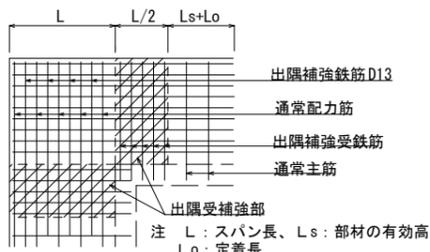


注1) 切断鉄筋以上の補強鉄筋を配置する。
注2) 補強筋の被りは規定値とする。
注3) 鉄筋を切断しない開口は補強を省略できる。

図8-2 床版開口部補強図

4) 出隅部の補強

出隅部の補強は、出隅部補強鉄筋と出隅部補強受鉄筋により行う。



注 L: スパン長、Ls: 部材の有効高、Lo: 定着長

図8-3 出隅部の補強

5) 段差のある床版

床版に段差が生じるときは、無理に鉄筋を曲げて引きとおさず、図8-4による方法でスラブ筋を定着させる。

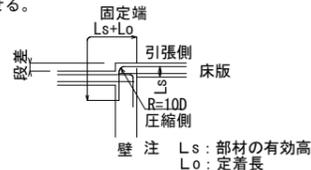
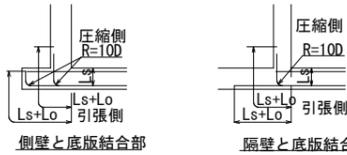


図8-4 段差ある床版

9. 底版の配筋要領

1) 底版鉄筋の定着と継手

- (1) 壁配筋の継手位置は圧縮側に設けるか、引張側に設ける場合でも極力応力の小さい場所とする。
- (2) 固定端での鉄筋の定着は、必要な定着長を確保し、確実に定着する。
- (3) 床版配筋の標準的な定着方法は図9-1による。

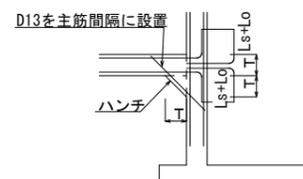


注1 図中のLsは部材の有効高、Loは定着長を示す。
注2 圧縮側の鉄筋においても、地震時等で引張応力が作用する時は、所定の定着長が必要である。

図9-1 固定端における定着方法

2) 段差のある底版の配筋

- (1) 段差の大きい場合
上段底版と壁の接合部が構造上弱点になるため、補強ハンチを設ける。この場合上段底版下の基礎は埋戻し土となるため、十分に締め固める。



注1 図中のLsは部材の有効高、Loは定着長を示す。

図9-2 底版相互の段差が大きい場合

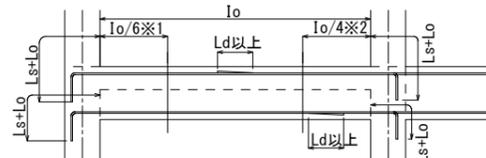
- (2) 段差が比較的小さい場合

段差が比較的小さい場合でも、可能な限りハンチを設ける。上段底版部の基礎埋戻し部分は土で埋め戻す以外にコンクリートで充填することも検討する。

10. 梁の配筋要領

1) 土木構造部材としての梁主筋の定着と継手

- (1) 梁主筋の継手位置は圧縮側に配置する。
- (2) 梁主筋は原則として定着部を引き通すものとし、引き通すことができない場合は定着部内に定着させる。梁主筋を引き通さない場合は、固定部の中心線を越えた位置で定着させる。
- (3) 梁主筋の標準的な継手位置及び定着方法は、図10-1による。

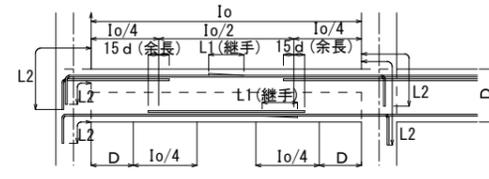


注1. 印は、継手位置を示す。
2. 破線は、柱、壁内定着の場合を示す。
3. Lo: 定着長 Ls: 部材有効高 Ld: 基本定着長
4. ※1 小梁床梁外端部 ※2 連続小梁床梁内端部

図10-1 土木構造物としての梁主筋の定着と継手

2) 建築構造部材としての梁主筋の定着と継手

- (1) 梁主筋の継手位置は圧縮側に配置する。
- (2) 梁主筋は原則として定着部を引き通すものとし、引き通すことができない場合は定着部内に定着させる。梁主筋を引き通さない場合は、固定部の中心線を越えた位置で定着させる。
- (3) 梁主筋の標準的な継手位置及び定着方法は、図10-2による。

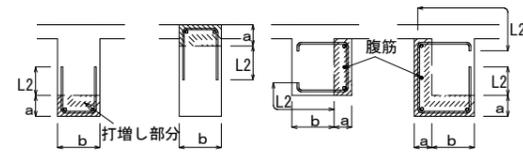


注1. 印は、継手位置を示す。
2. 破線は、柱、壁内定着の場合を示す。
3. dは鉄筋径を示す。

図10-2 建築構造物としての梁主筋の定着と継手

3) 梁の打増し方法

梁の打増しは図10-3による。

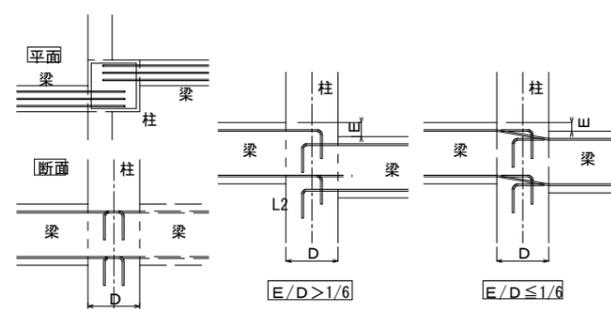


注1. 補強鉄筋は、あばら筋と同径、同材料、同間隔とする。
2. 縦方向筋(腹筋)
b ≤ 350mmの場合 2-D16
b > 350mmの場合 3-D16

図10-3 梁の打増し図

4) 段差がある場合の配筋要領

段差がある場合の配筋要領は図10-4による。



1) 水平段差がある場合 2) 鉛直段差段差がある場合
注 定着長は土木、建築構造物ともそれぞれの基準を採用する。

図10-4 段差がある場合の配筋要領

5) 梁貫通孔の補強

(1) 貫通孔の位置と大きさ

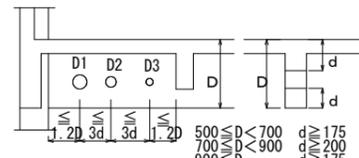


図10-5 梁せいと孔の大きさ

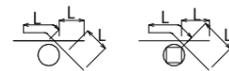


図10-6 補強鉄筋の定着長

(2) 補強配筋

補強配筋形式は、表10-1 H形配筋、表10-2 MH形配筋、または、国土交通省、日本建築センターで技術評価を取得している梁貫通補強材を採用する。

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H 1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

注) 破線は一般部のあばら筋を示す。

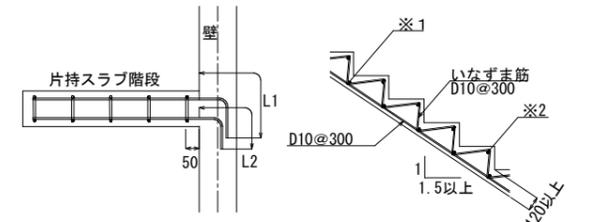
配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H 1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

注) 破線は一般部のあばら筋を示す。

11. 階段の配筋要領

1) 階段の配筋要領

- (1) 片持スラブ形
①片持スラブ形階段は、階段の横方向鉄筋が主筋である
②主筋は階段受け壁の中心線を越えた位置で曲げ下ろし定着させる。
③階段受け壁は、階段によって発生する曲モーメントを受けるので、その応力に見合う強度が必要である。強度不足の場合は壁の補強を行う。

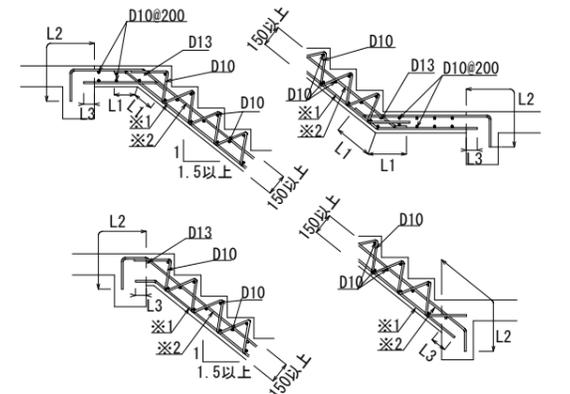


注) ※1、※2は構造計算により決定する。

図11-1 片持スラブ形階段

(2) 二辺固定スラブ形

- ①二辺固定スラブ形階段は、階段の縦断方向が主筋である。



注) ※1、※2は構造計算により決定する。

図11-2 二辺固定スラブ形階段

12. あばら筋、腹筋、幅止め筋

1) 梁

- (1) あばら筋
①イを原則としフックの位置を左右交互に配置する。L形梁の場合は口又はハ、T型梁の場合は、口〜口とすることもできる。口のフックは床版のある方向へ設けT型梁では交互とする。
②あばら筋の最小鉄筋量は0.2%とする。
あばら筋につきてを設ける場合は建築工事でL1、土木工事で基本定着長以上とする。

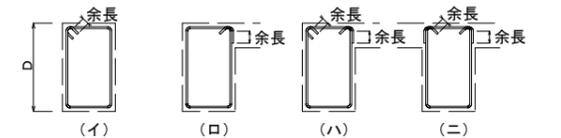


図12-1 あばら筋

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
土木構造配筋要領(2)	D-16
縮尺 S=1:—	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

(2) あばら筋の配置
あばら筋の配置は図12-2による。

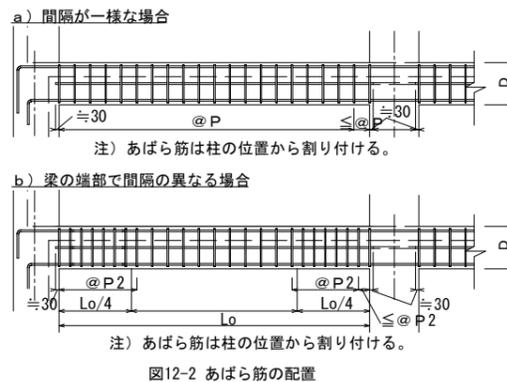


図12-2 あばら筋の配置

(3) 腹筋と幅止め筋
腹筋と幅止め筋はD10とし、対で設置するもので、その設置間隔は図12-3による。

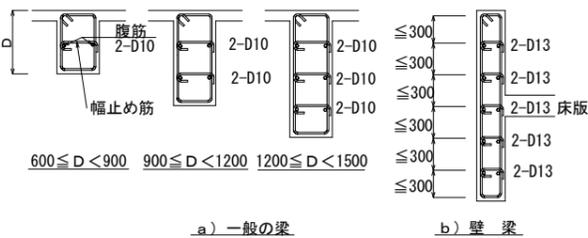


図12-3 腹筋と幅止め筋

2) 壁

- ①壁の幅止め筋（組立て筋）は、縦横共@1000mm程度とする。
- ②せん断補強筋として使用する場合の最大間隔は、壁厚の1/2としフックは標準フックとする。

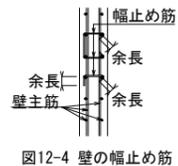


図12-4 壁の幅止め筋

3) 床版、中床版、底版の幅止め筋

- ①床版、中床版、底版の幅止め筋（組立て筋）は、1㎡当り2~4箇所程度以上とする。
- ②せん断補強筋として使用する場合の最大間隔は、壁厚の1/2としフックは標準フックとする。

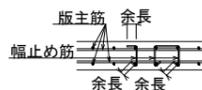


図12-4 壁の幅止め筋

1 3. 基礎杭の杭頭処理

1) 一般事項

- ①杭頭補強の方法は、図13-1、図13-2による。
- ②中詰コンクリートは、水槽底版コンクリートと同じ仕様のコンクリートとする。

2) 杭頭ピン結合

杭頭ピン結合は図13-1による。RC杭、SC杭はPHC杭に準じる。

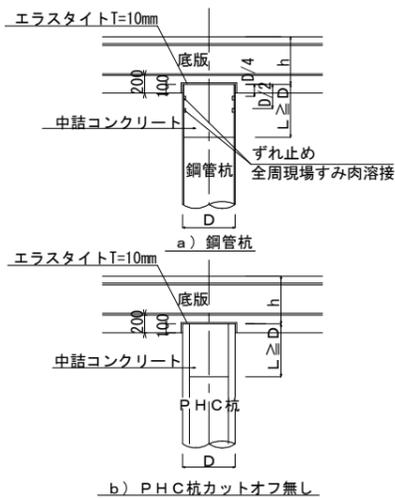


図13-1 杭頭ピン結合



図13-1 杭頭ピン結合

3) 杭頭剛結合

杭頭剛結合は図13-2による。RC杭、SC杭はPHC杭に準じる。

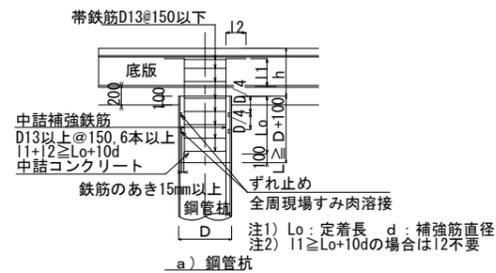


図13-2 杭頭剛結合

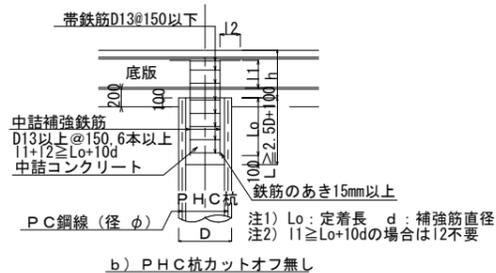


図13-2 杭頭剛結合

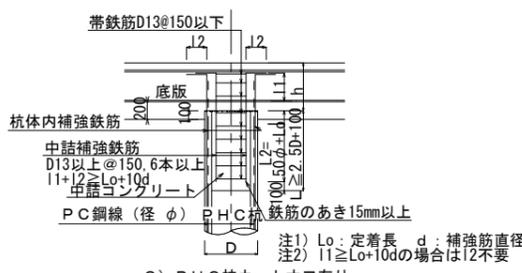


図13-2 杭頭剛結合

1 4. 土木部分と建築部分の取り合い

1) 壁鉄筋の取り合い

- ①土木工事において建築1階壁配筋のための挿し筋を行う。
- ②建築壁鉄筋と挿し筋はあき重ね継手とする。

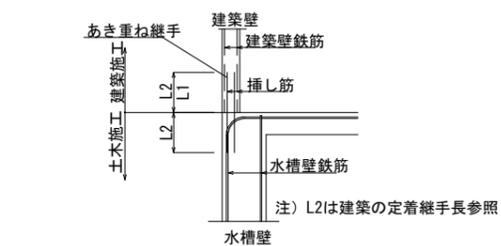


図14-1 壁挿し筋図



図14-1 壁挿し筋図

2) 柱鉄筋の取り合い

- ①施工区分面上に柱主筋をC1とC2を交互に突出させ、隣り合う鉄筋の継手が集中するのを防ぐ。C1、C2は継手中心位置が施工区分面上500mm以上1500mm以内、かつ階高きの3/4以下の範囲で継手を設けることができる長さとする。
- ②かぶり厚の取り合いは梁せいの間で行う。梁がない場合は施工区分面より700~1000mm区間で行う



図14-2 柱主筋の結合位置

図14-3 かぶり厚の取り合い

③柱鉄筋の土木施工部分

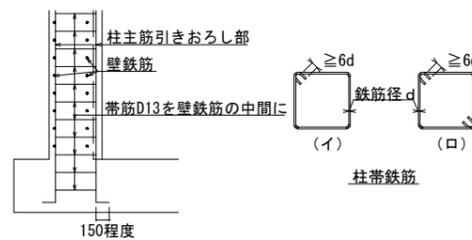


図14-4 柱主筋引き下ろし部配筋

③柱主筋の鉄筋間隔

柱主筋は原則として等間隔に配筋する。

ただし、主筋の隅寄せは柱断面に表示 () のある場合のみとし、図14-5による。

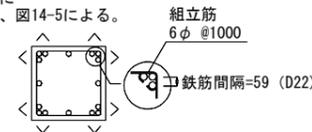


図14-5 柱の隅寄せ組立筋

3) 床版鉄筋の取り合い

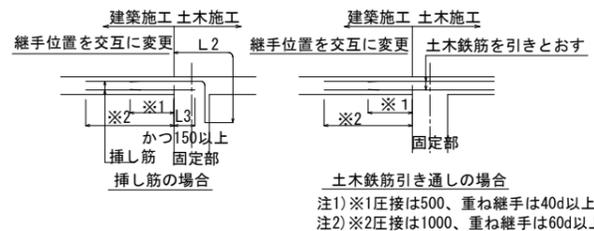


図14-6 床版主筋の取り合い

4) 梁鉄筋の取り合い

梁鉄筋の取り合いは図14-6による。

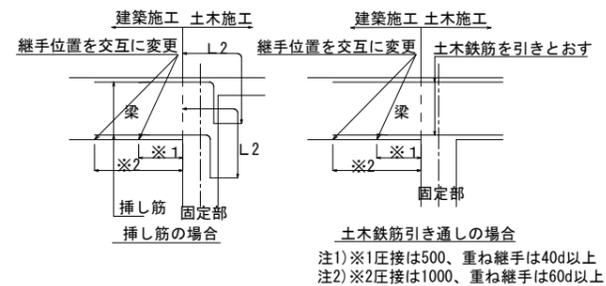


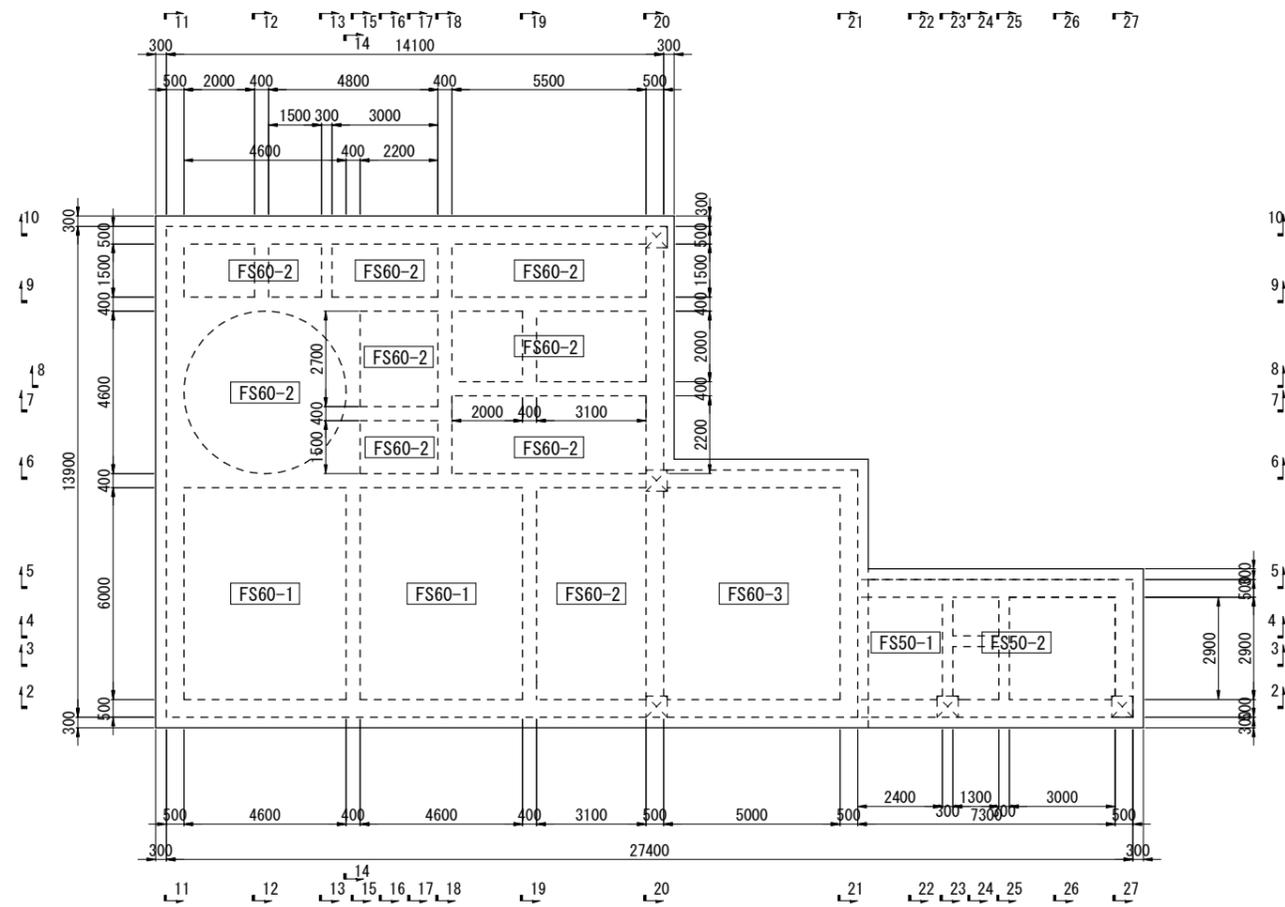
図14-7 梁主筋の取り合い

図面の名称	図面番号
土木構造配筋要領(3)	D-17
縮尺 S=1:—	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

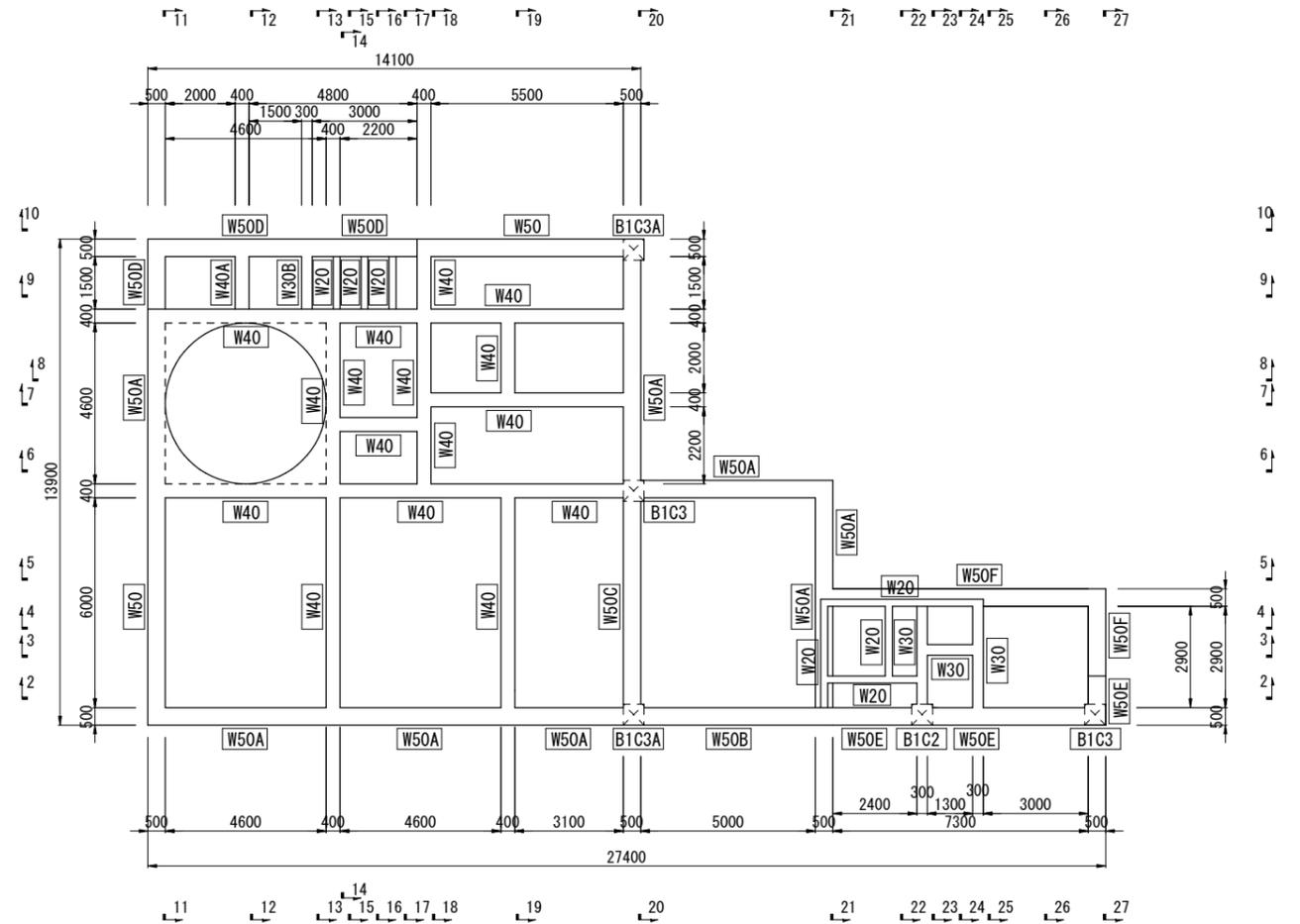
水槽配筋リスト図

S=1:100

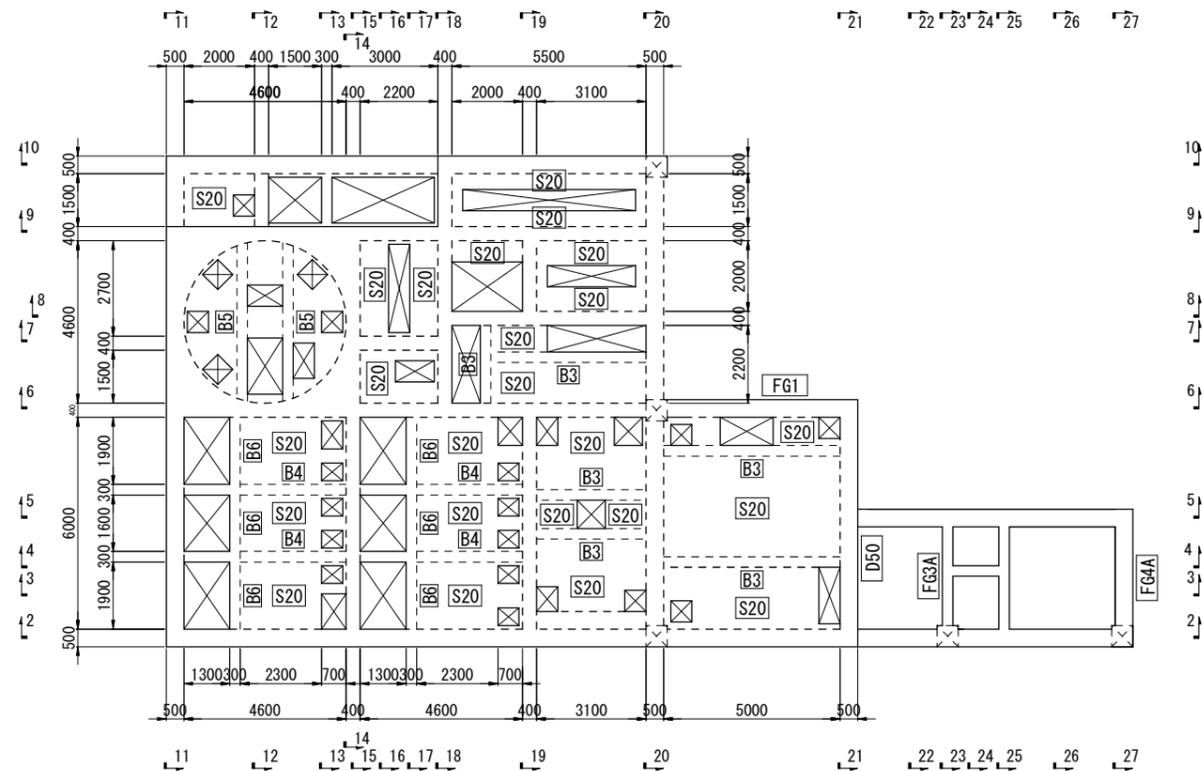
底板リスト図



壁・柱リスト図



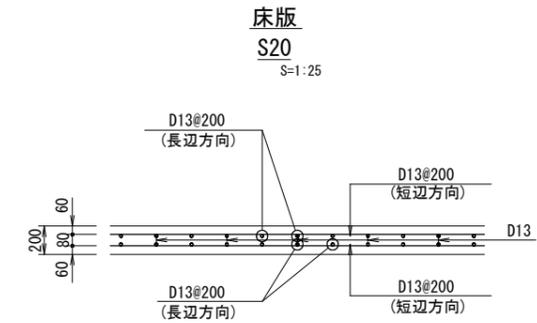
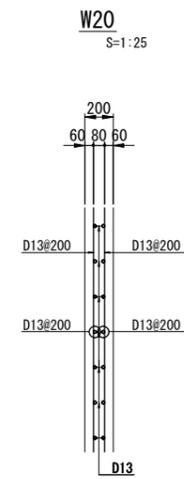
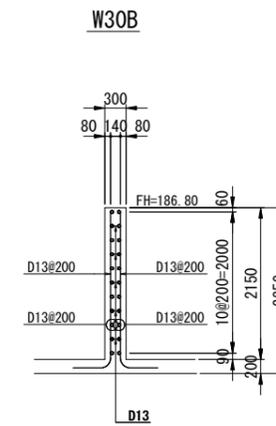
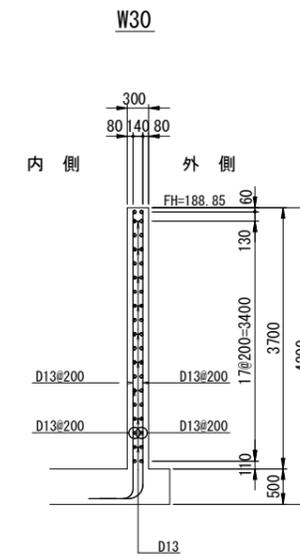
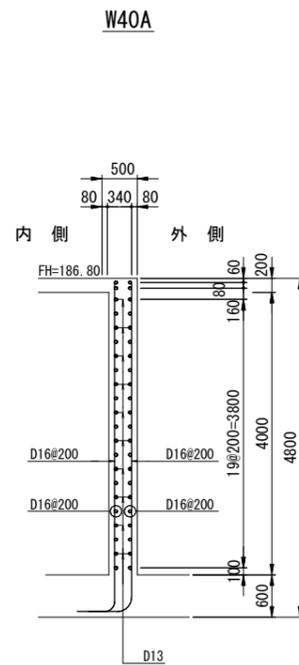
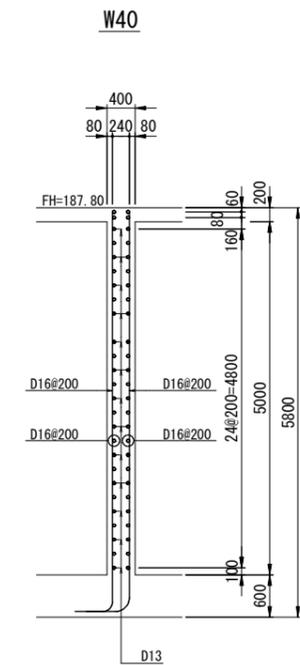
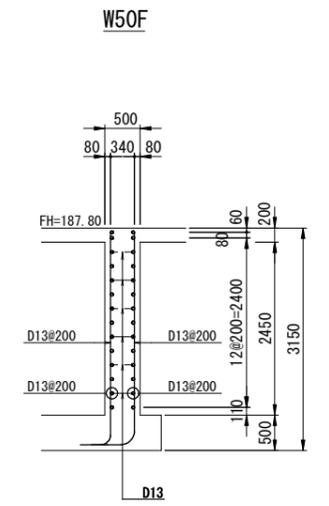
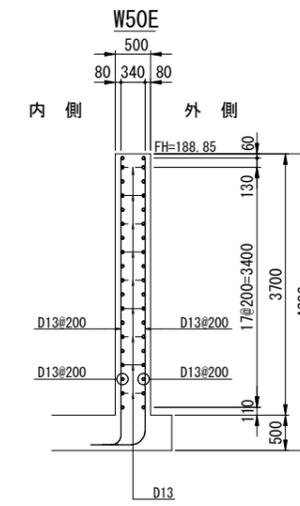
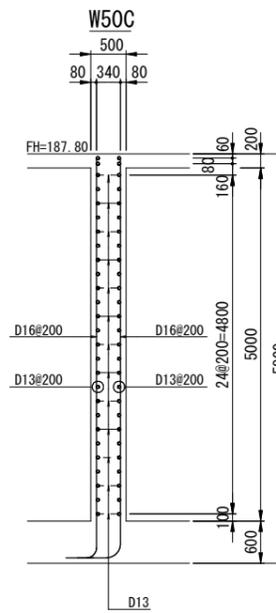
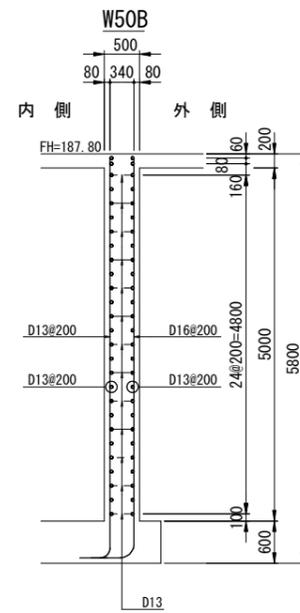
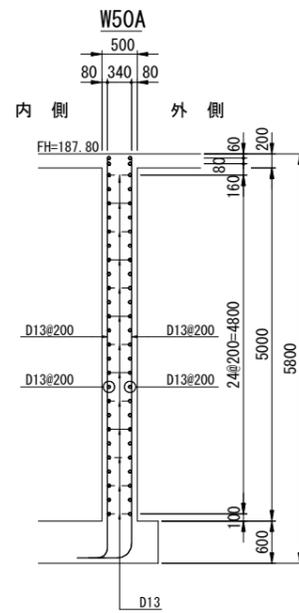
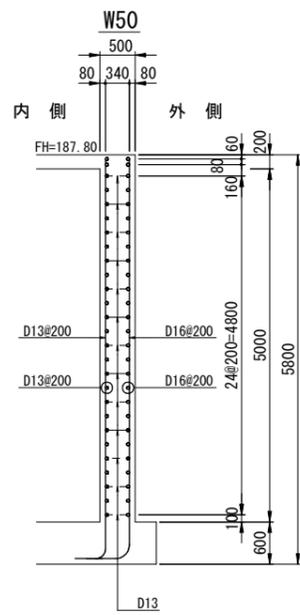
頂版・梁リスト図



農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
配筋リスト図(1/3)	D-18
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

水槽配筋リスト図

S=1:50

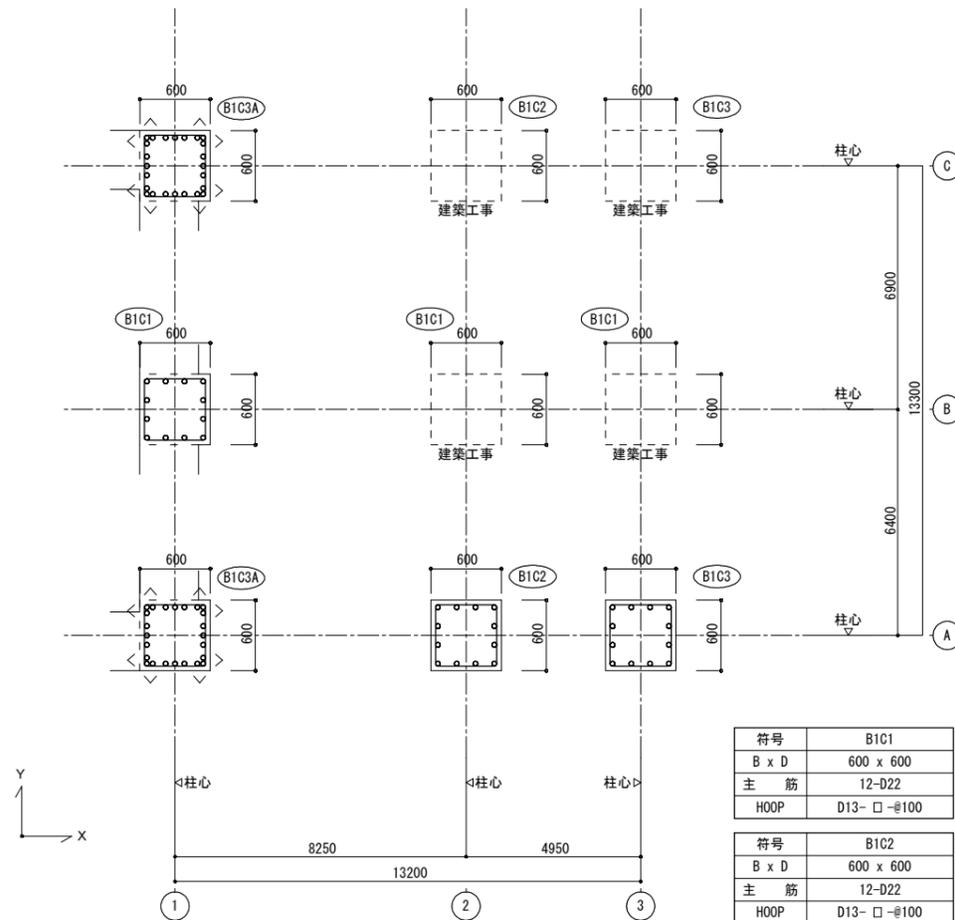


農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
配筋リスト図(2/3)	D-19
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

小梁リスト 1/30

符号	B3	B4	B5	B6
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
B x D	300x600	300x600	300x600	300x500
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D19
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D19
S T P	□ -D13 @200	□ -D13 @200	□ -D13 @200	□ -D13 @200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	-

※特記なき限り幅止メ筋・受け筋は、D10- ∇ @1000 とする。



B1階 柱リスト S=1/30

※特記なき限り \wedge は、寄せ筋を示す。

符号	B1C1
B x D	600 x 600
主筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

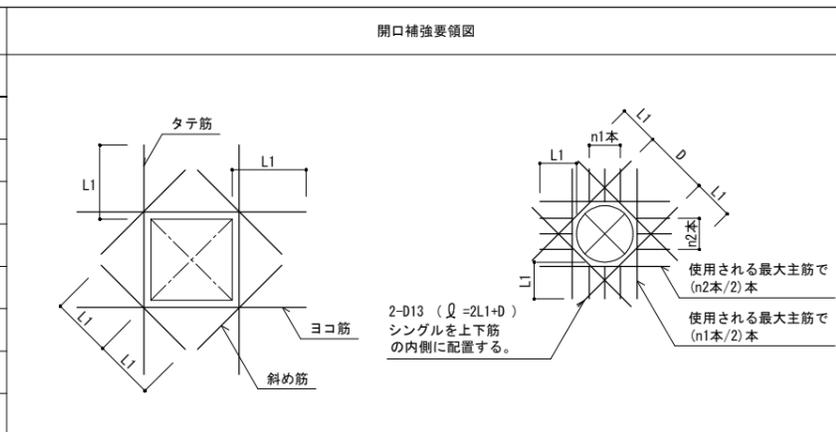
符号	B1C2
B x D	600 x 600
主筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

符号	B1C3
B x D	600 x 600
主筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

符号	B1C3A
B x D	600 x 600
主筋	24-D22
HOOP	D13- □ -@100

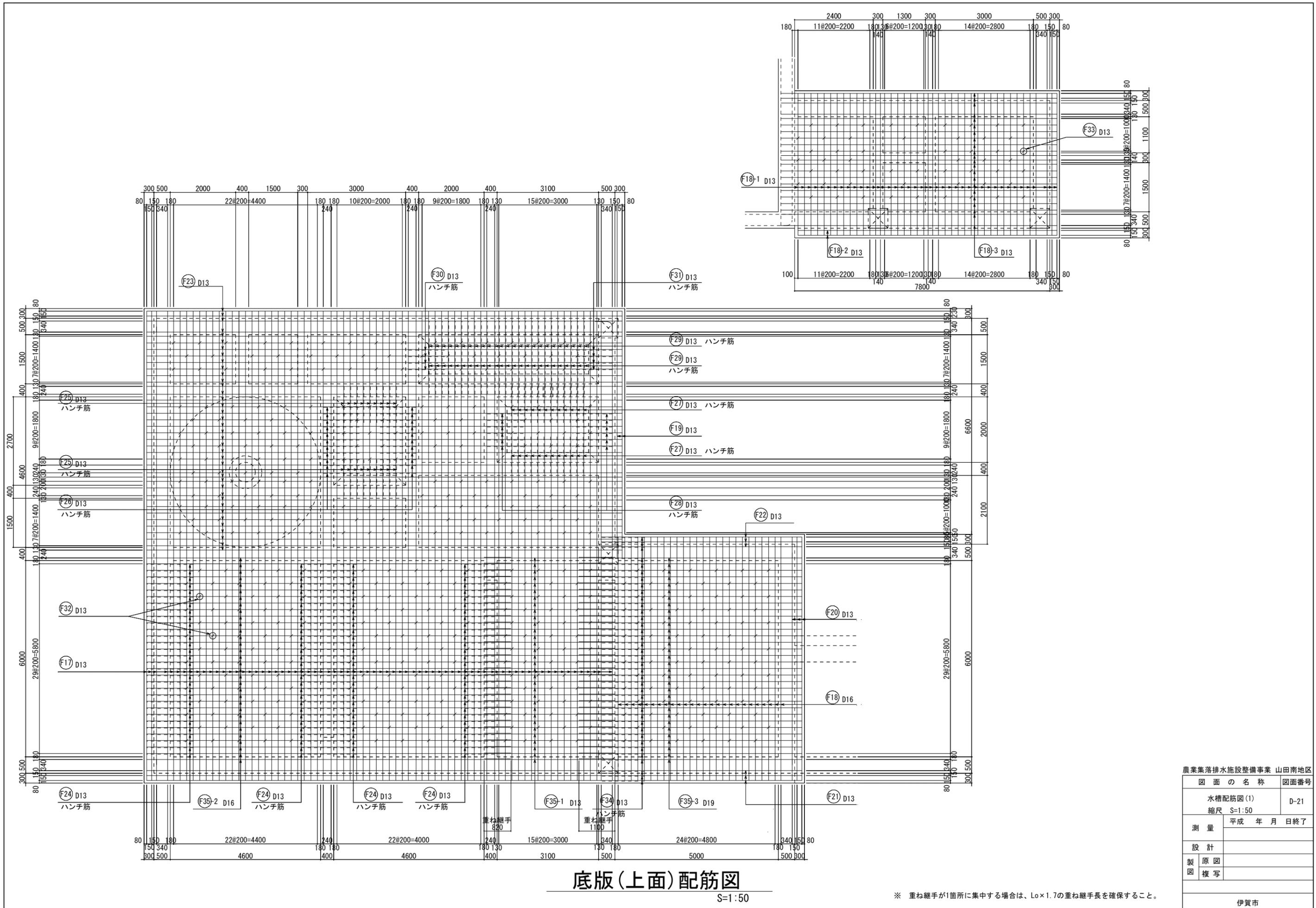
底版リスト

符号	厚さ	位置	短辺方向	長辺方向	備考
FS50-1	500	上端筋 下端筋	D13-@200 D13-@200	D13-@200 D13-@200	
FS50-2	500	上端筋 下端筋	D13-@200 D13-@200	D13-@200 D13-@200	
FS60-1	600	上端筋 下端筋	D16-@200 D19-@200	D13-@200 D13-@200	
FS60-2	600	上端筋 下端筋	D13-@200 D13-@200	D13-@200 D13-@200	
FS60-3	600	上端筋 下端筋	D19-@200 D22-@200	D16-@200 D19-@200	



農業集落排水施設整備事業 山田南地区

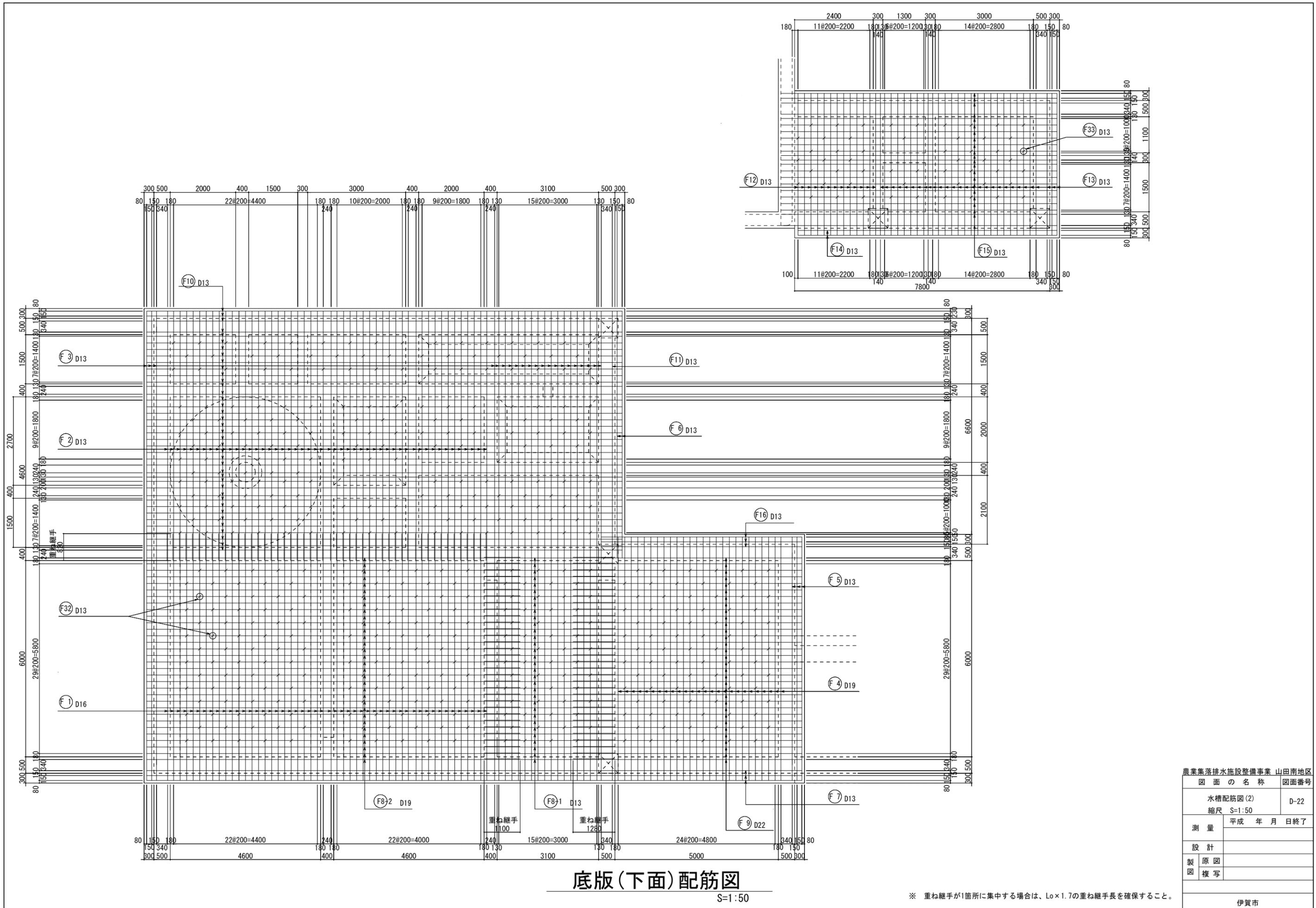
図面の名称	図面番号
配筋リスト図(3/3)	D-20
縮尺	S=1:30
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
水槽配筋図(1)	D-21
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

※ 重ね継手が1箇所に集中する場合は、Lo×1.7の重ね継手長を確保すること。

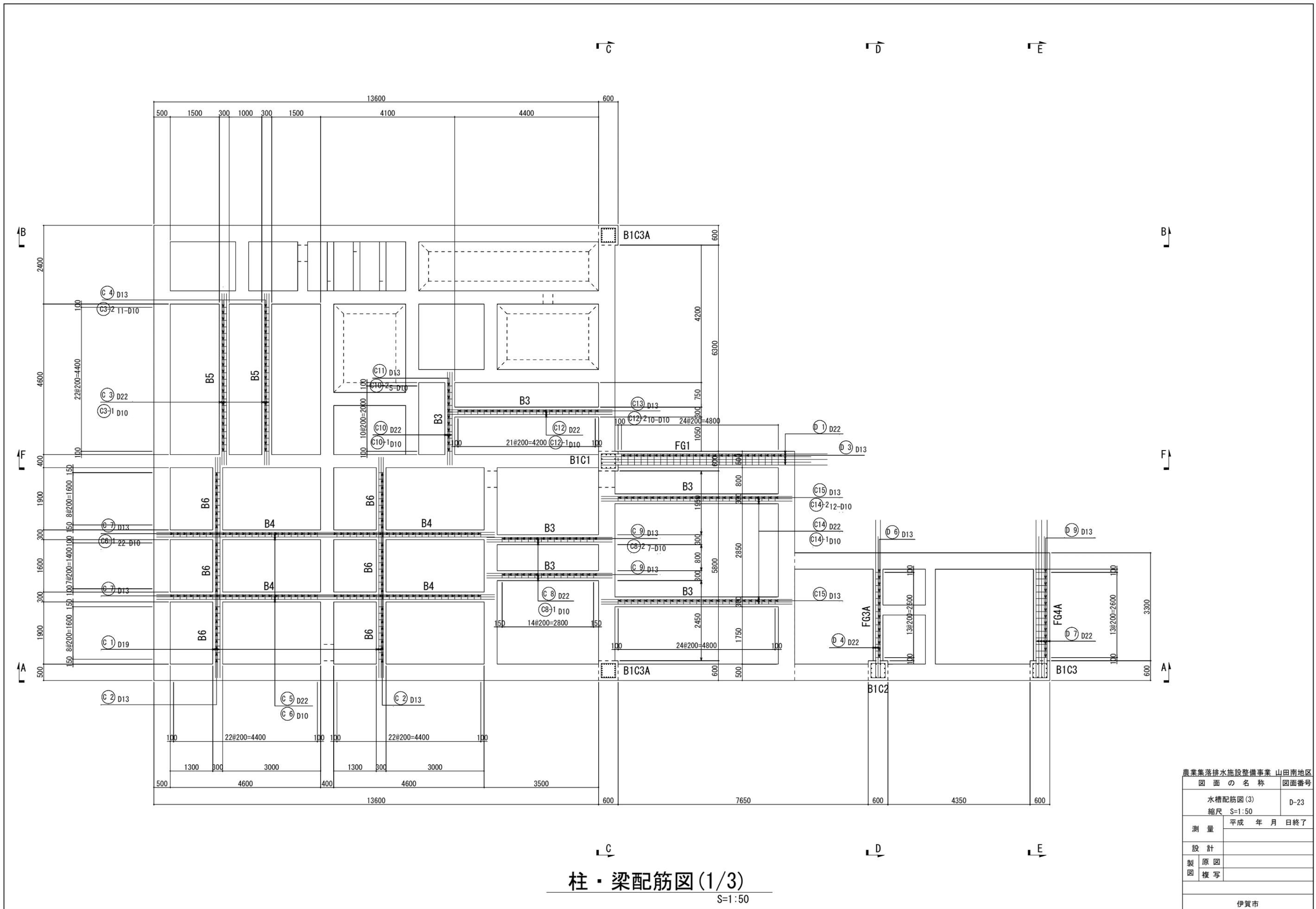


底版(下面)配筋図

S=1:50

※ 重ね継手が1箇所に集中する場合は、 $L_o \times 1.7$ の重ね継手長を確保すること。

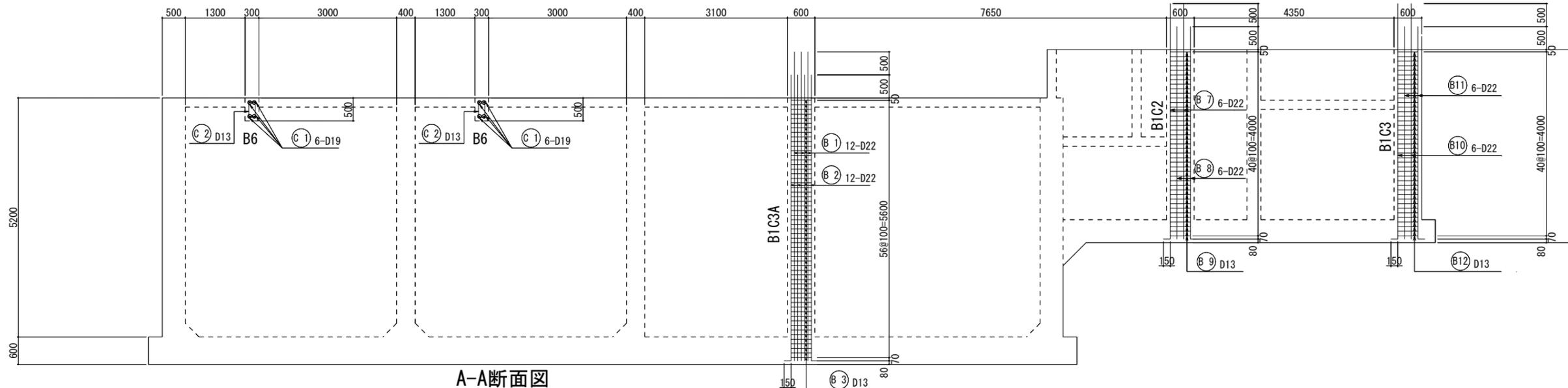
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(2)	D-22
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



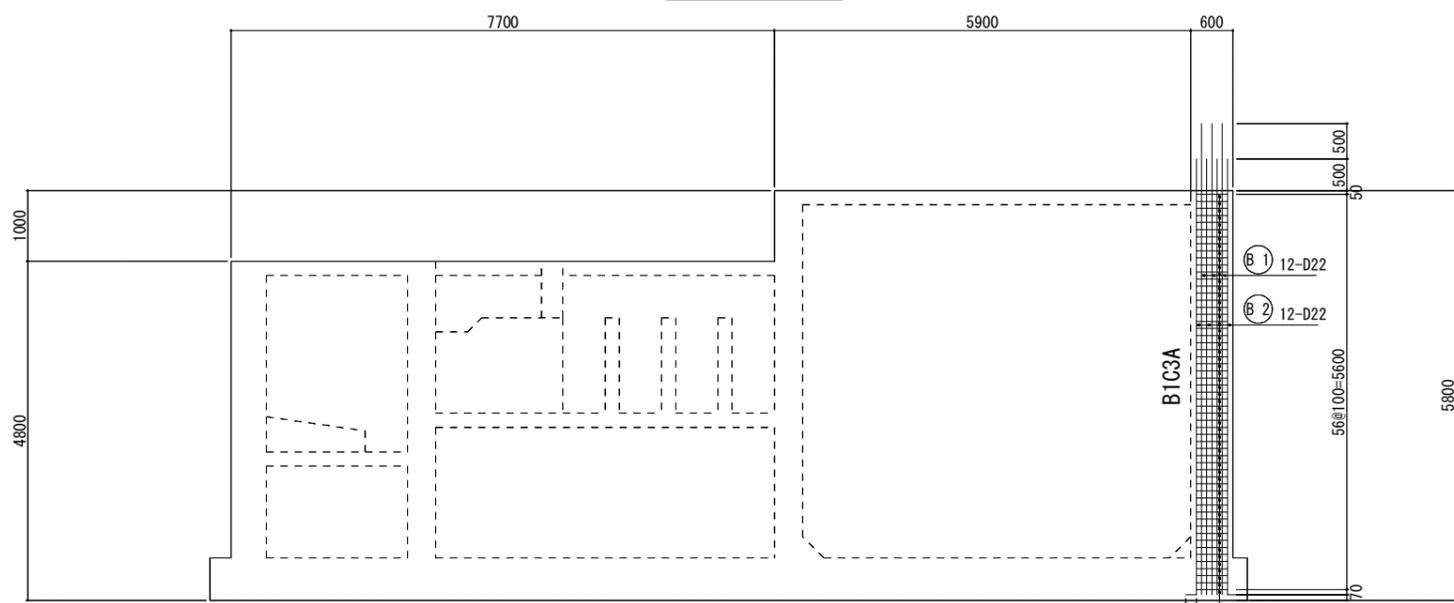
柱・梁配筋図(1/3)

S=1:50

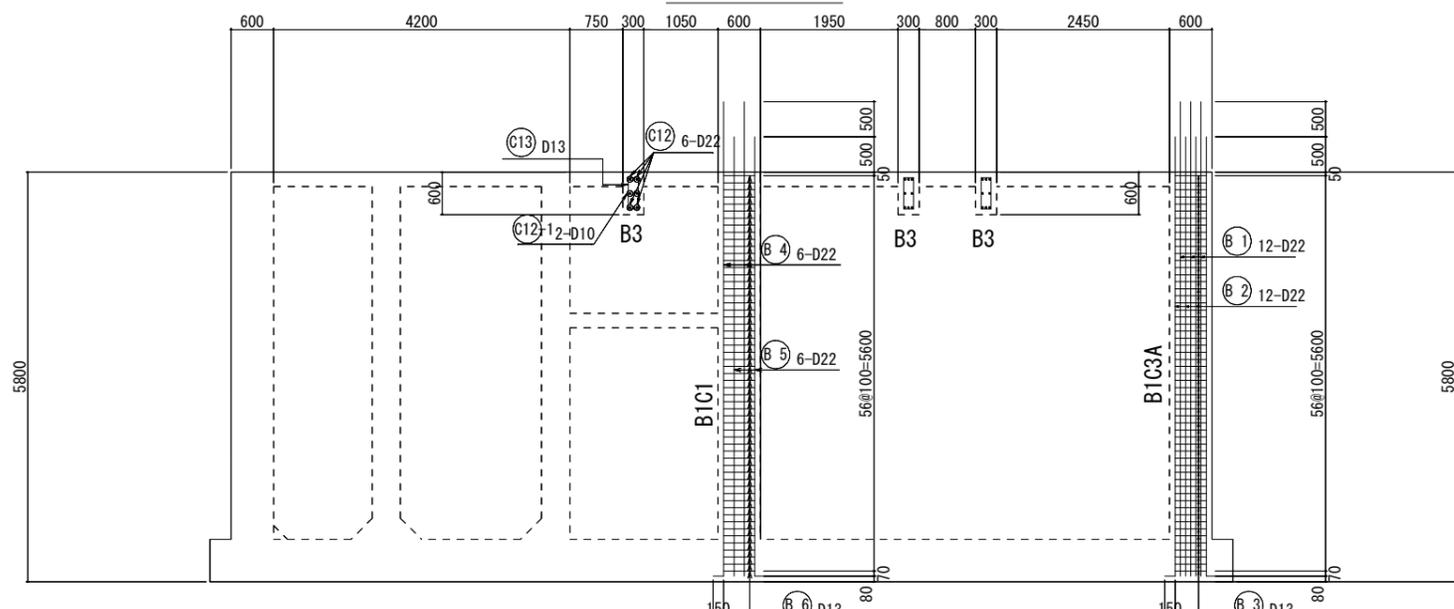
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(3)	D-23
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



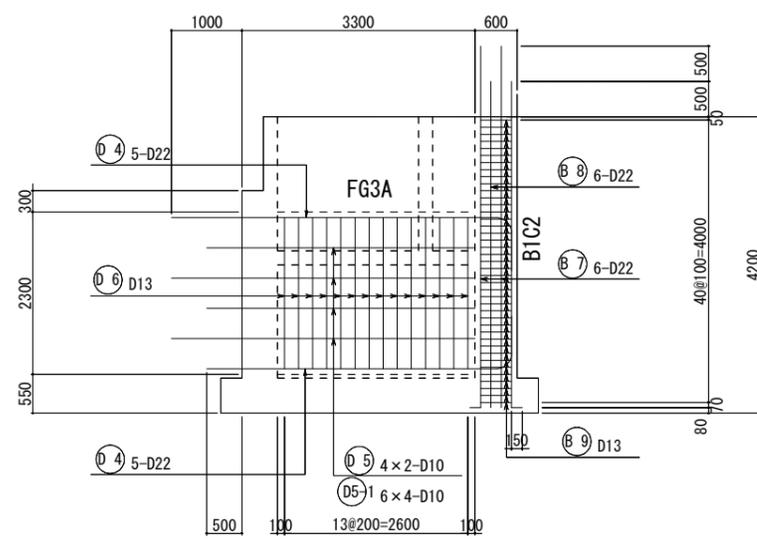
A-A断面図



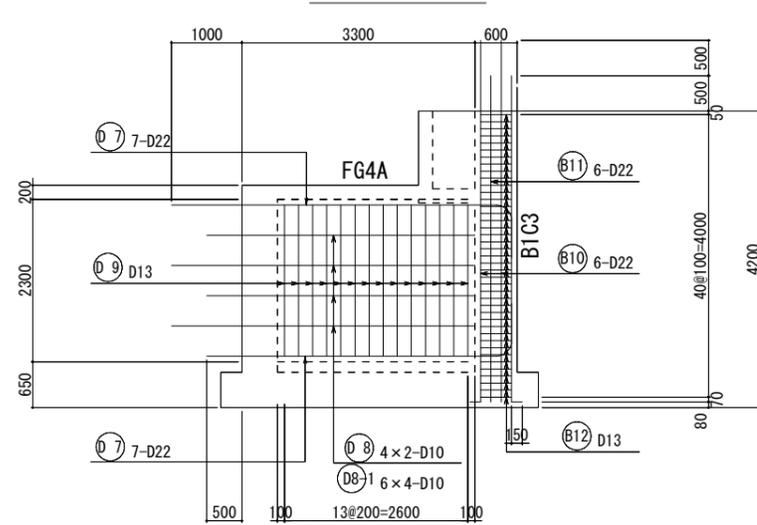
B-B断面図



C-C断面図



D-D断面図

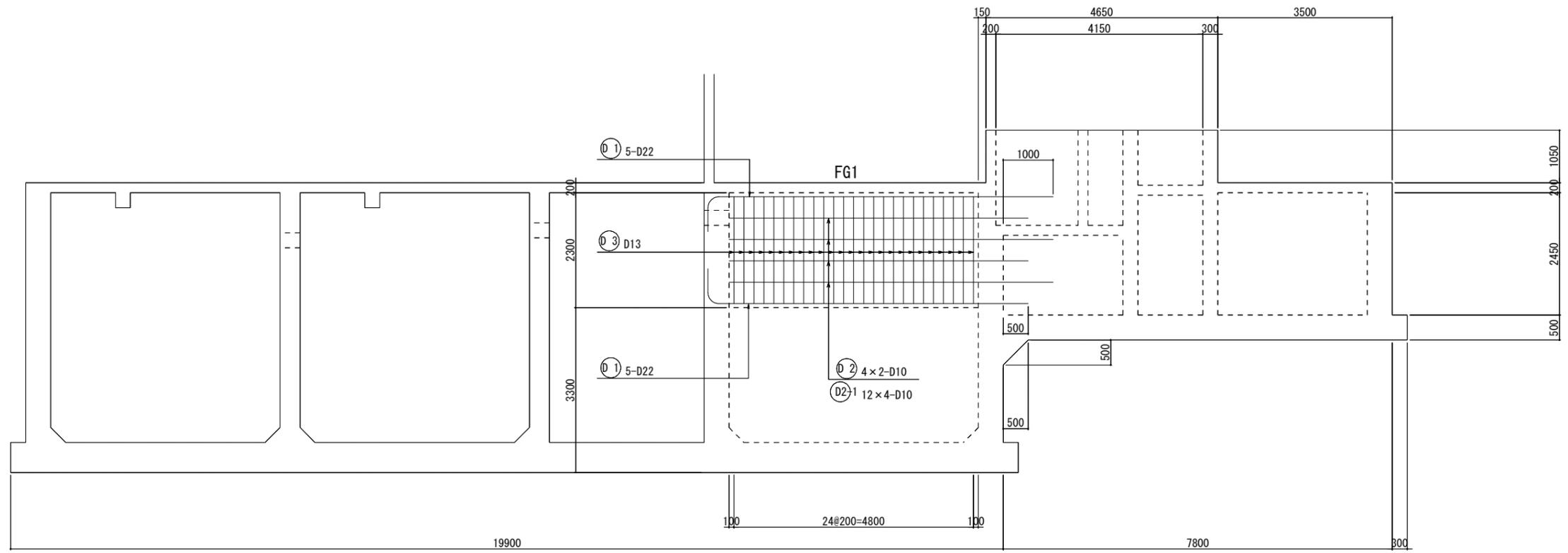


E-E断面図

柱・梁配筋図(2/3)

S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(4)	D-24
縮尺	S=1:50
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
製原図	
製原図	
製原図	
伊賀市	



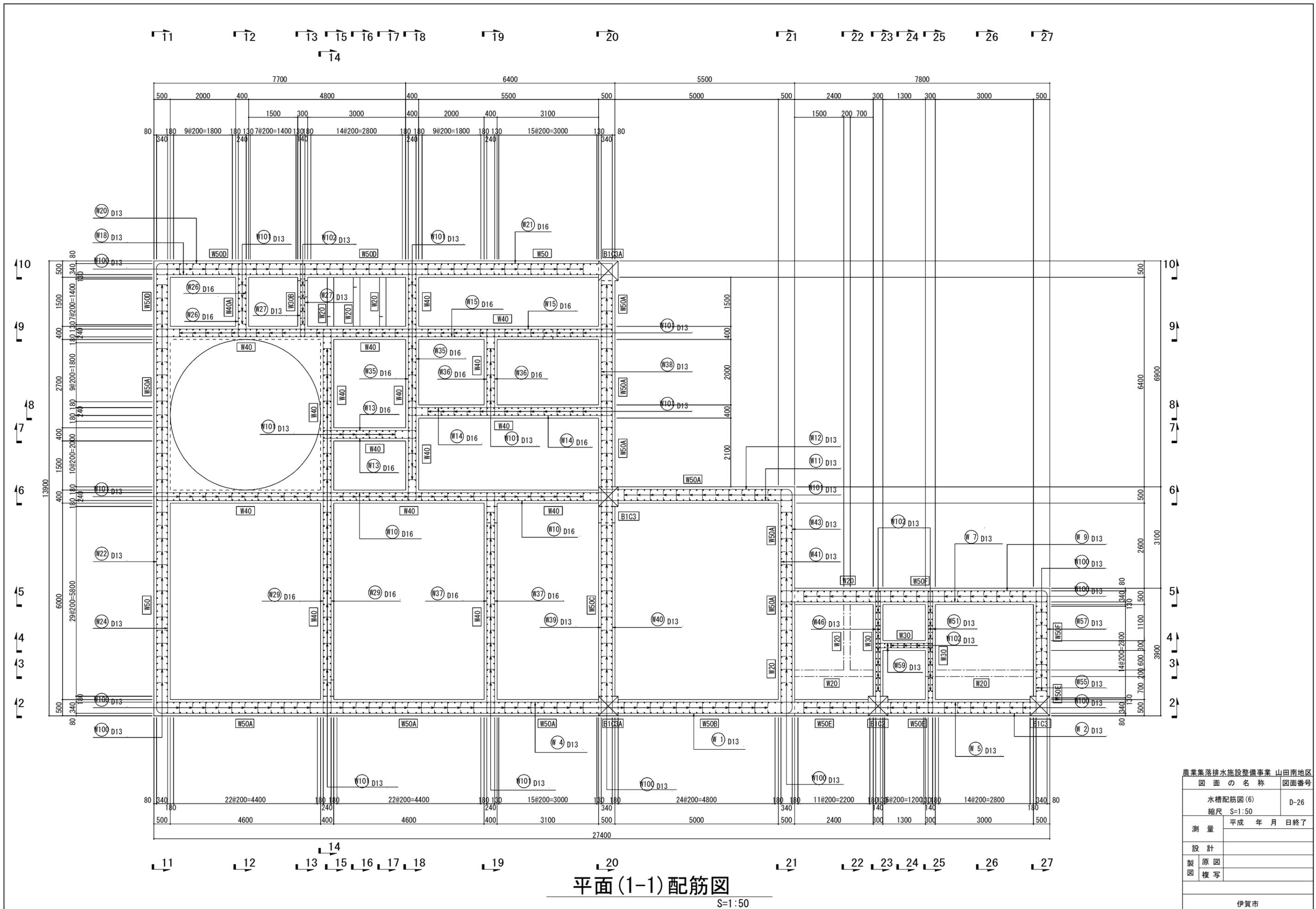
F-F断面図

柱・梁配筋図(3/3)

S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

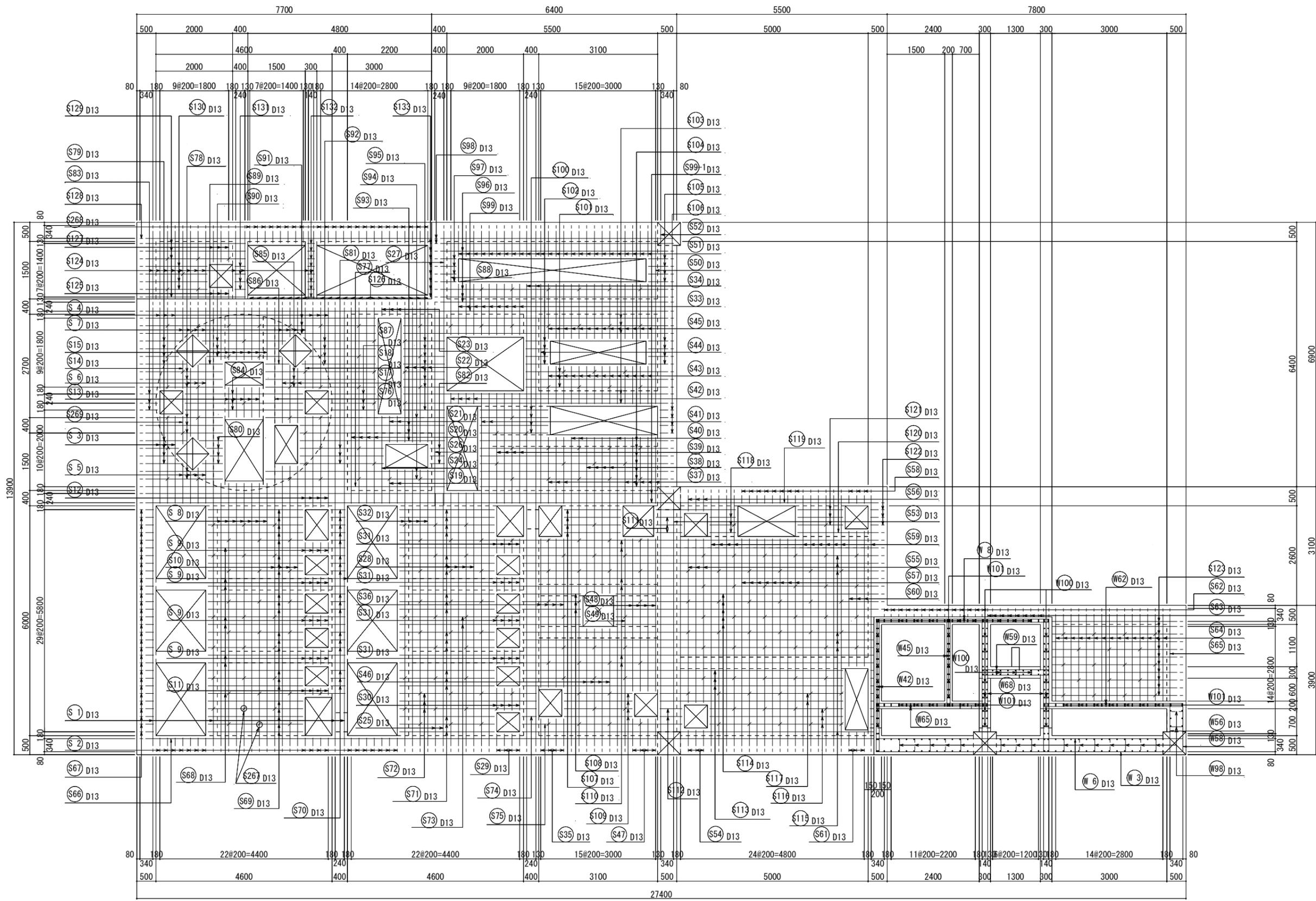
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(5)	D-25
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



平面(1-1)配筋図

S=1:50

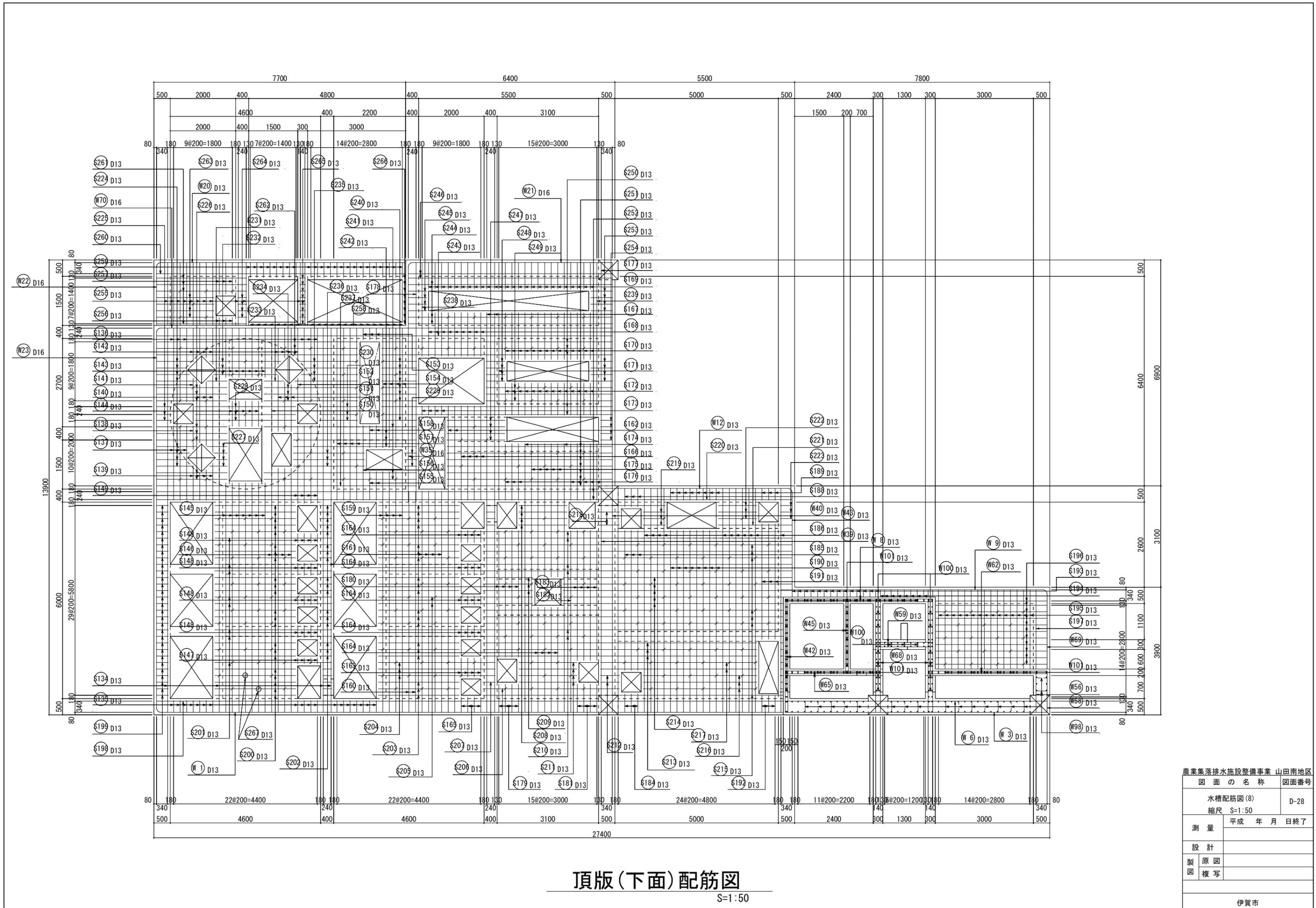
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(6)	D-26
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原	
図原	
複写	
伊賀市	



頂版(上面)配筋図

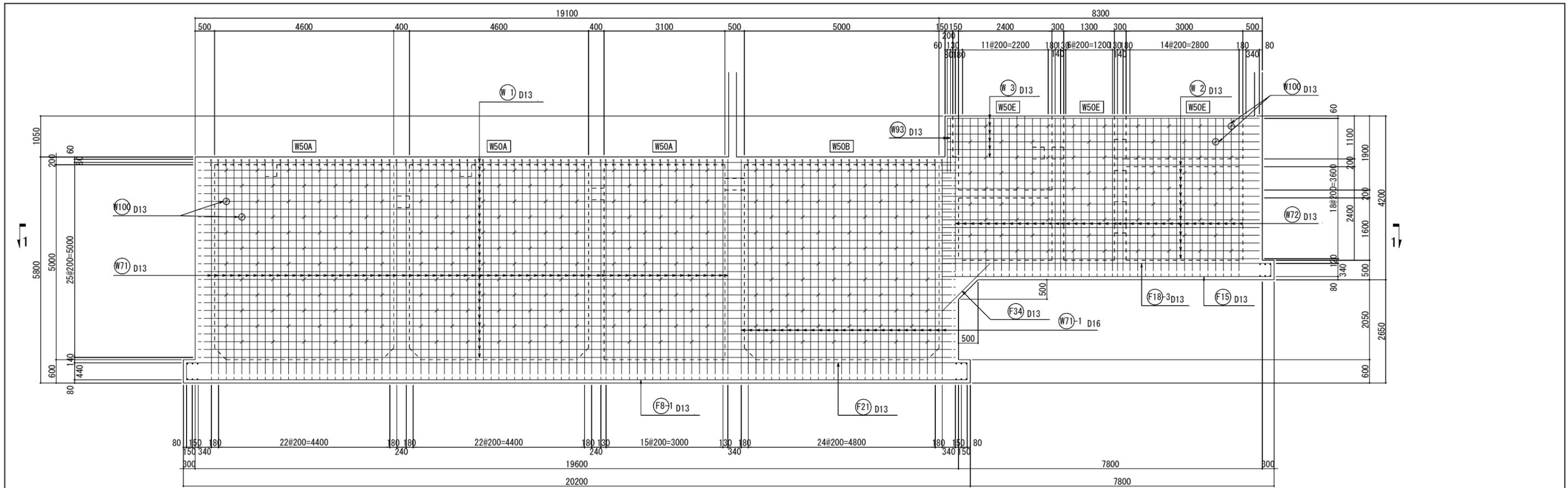
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(7)	D-27
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



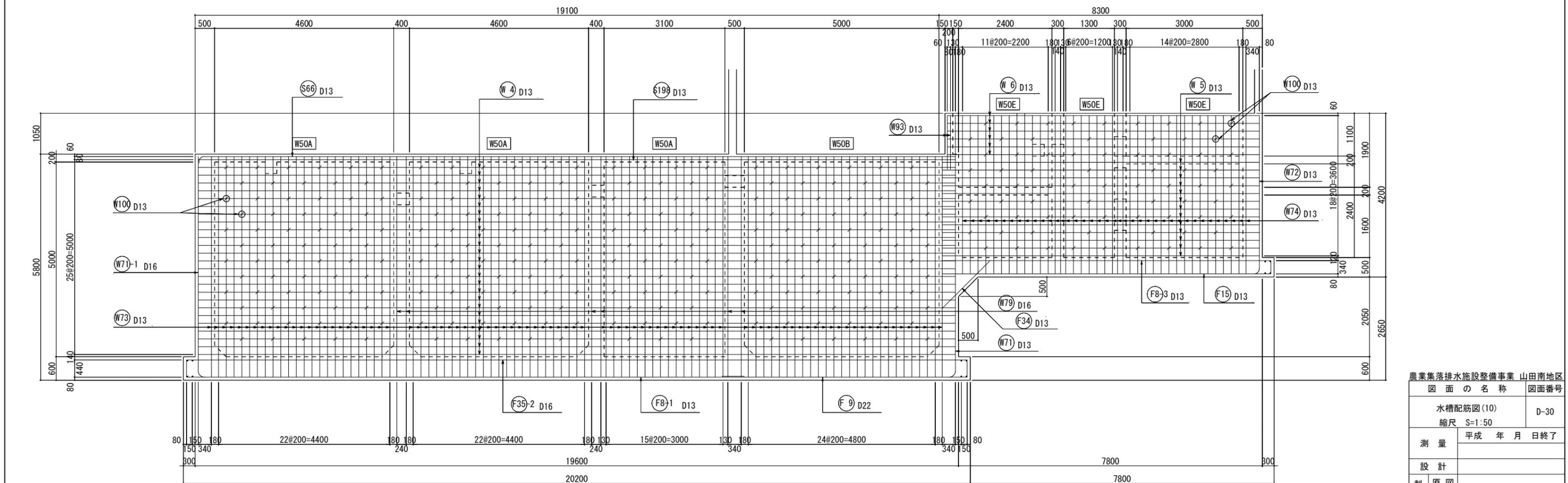
頂版(下面)配筋図
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(8)	D-28
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



2-2断面図(外面)

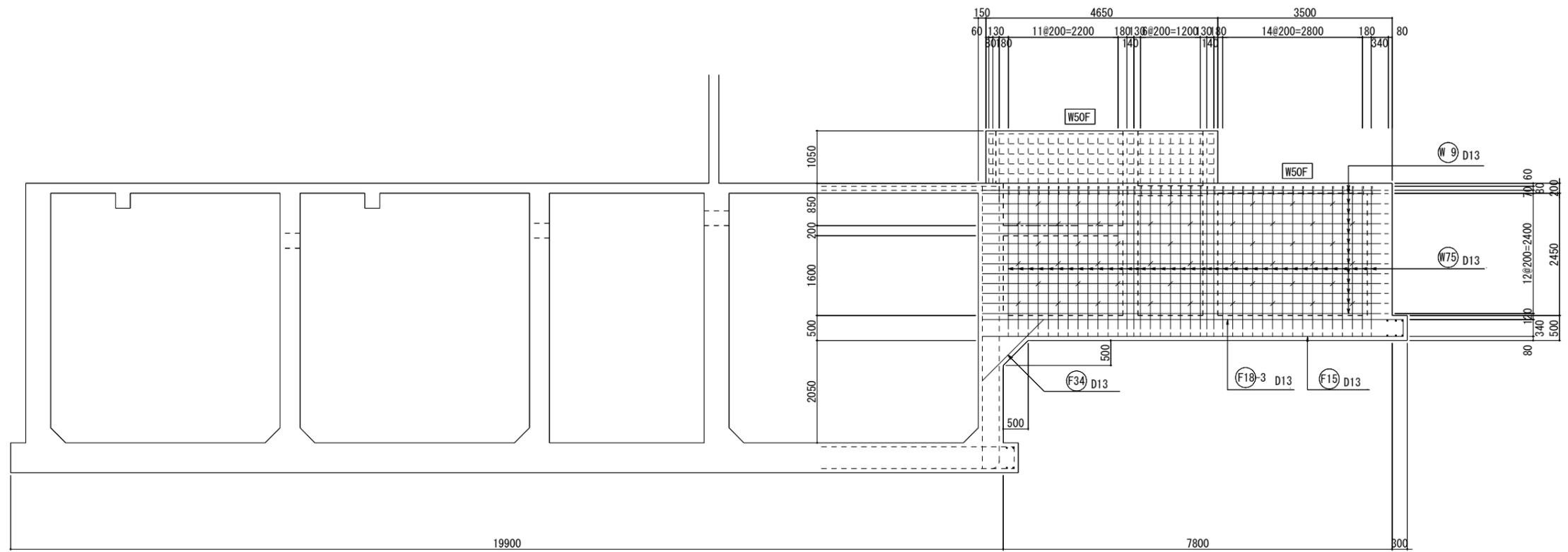
S=1:50



2-2断面図(内面)

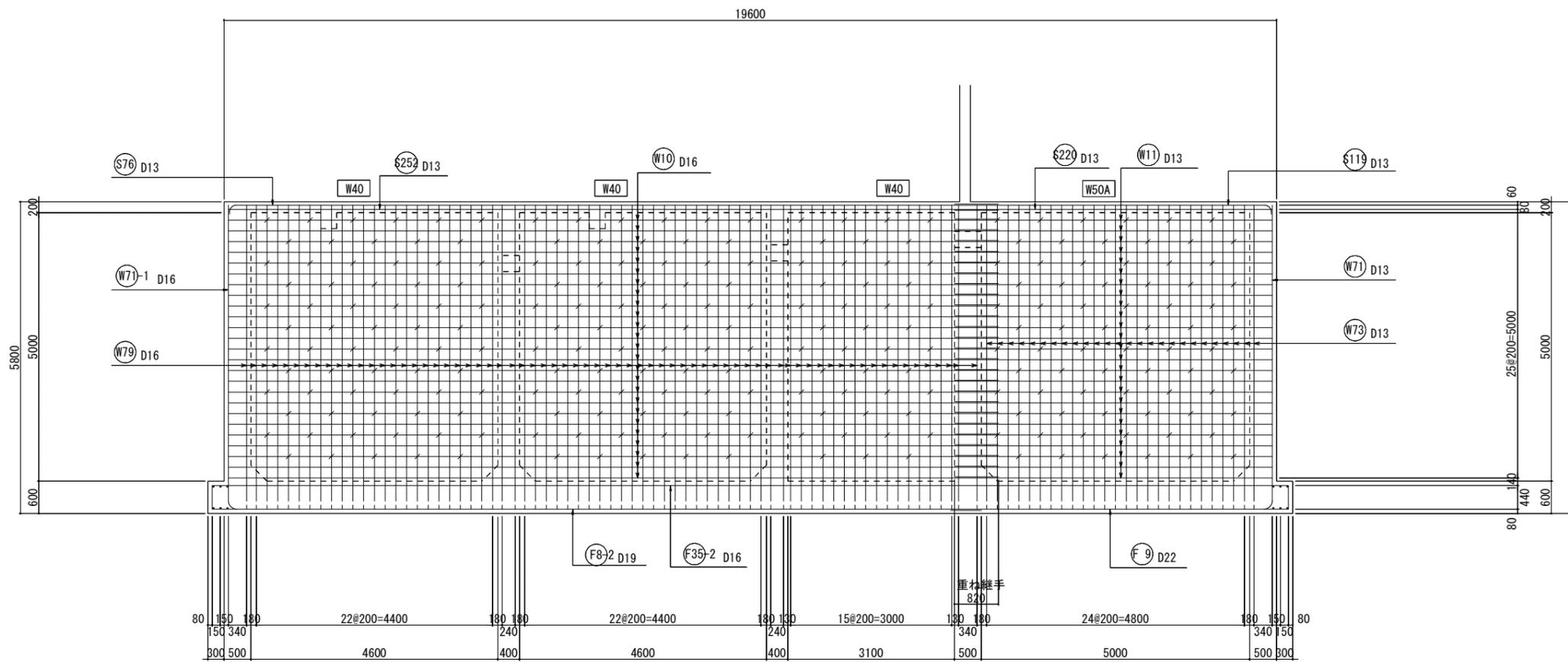
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(10)	D-30
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



5-5断面図(外面)

S=1:50

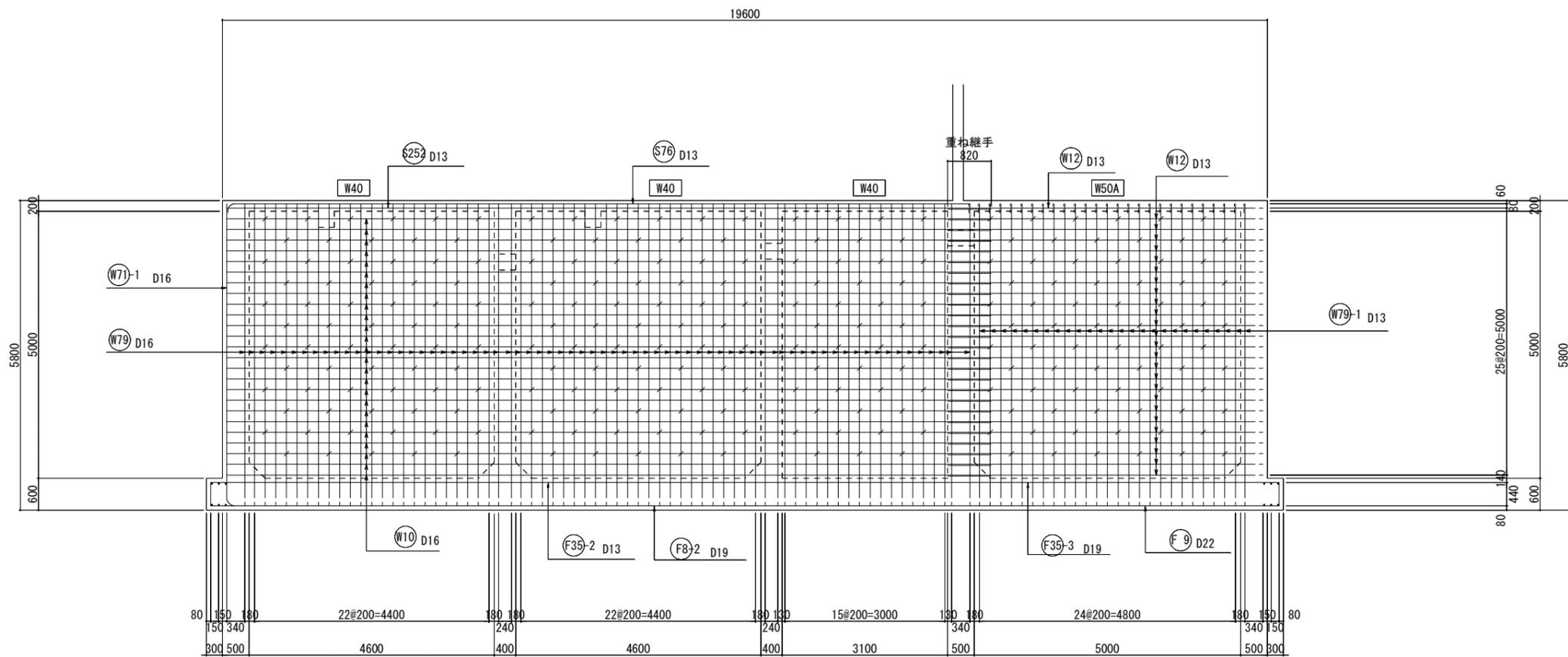


6-6断面図(内面)

S=1:50

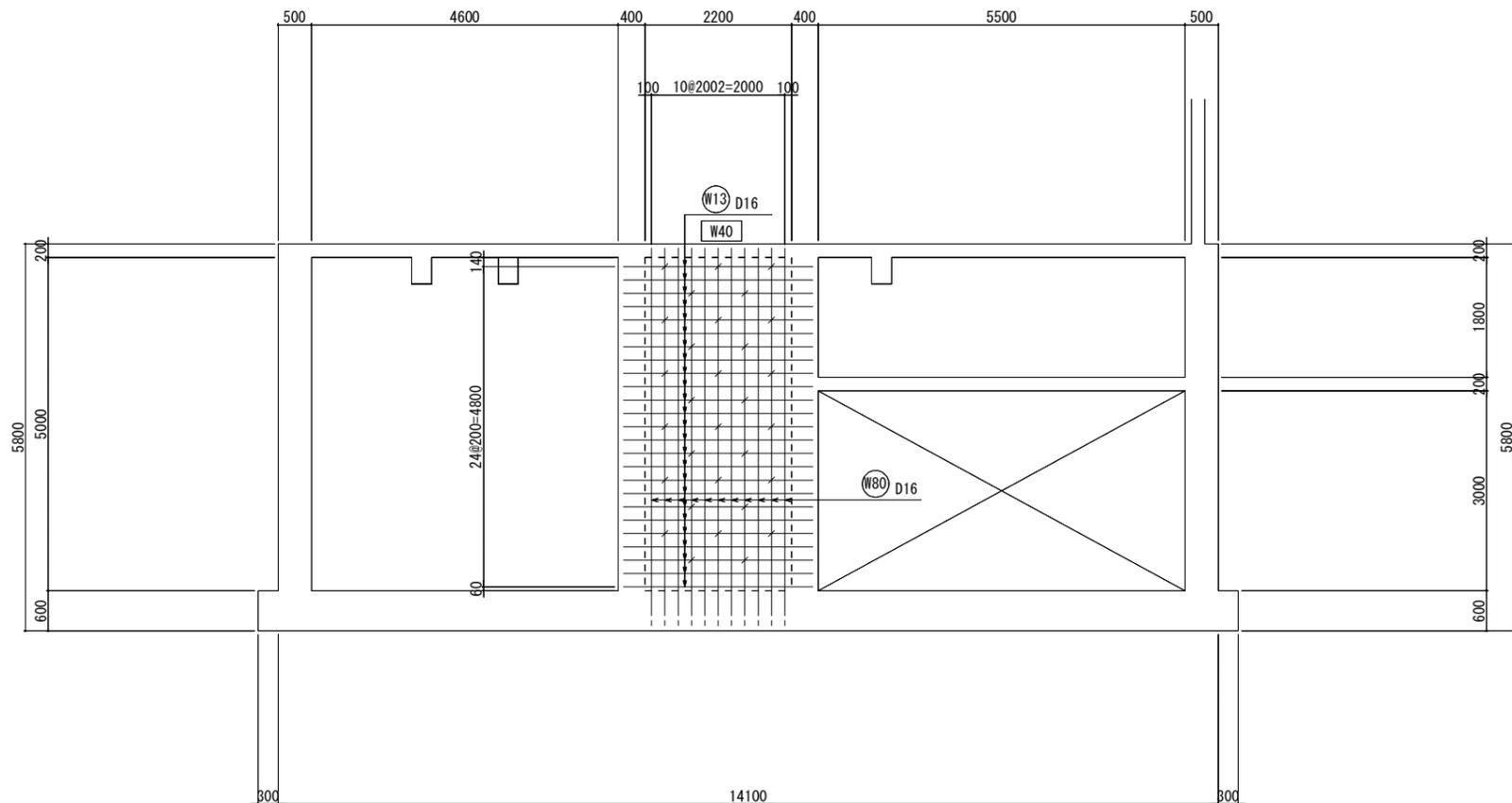
※ 重ね継手が1箇所に集中する場合は、 $L_0 \times 1.7$ の重ね継手長を確保すること。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(12)	D-32
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



6-6断面図(外面)

S=1:50

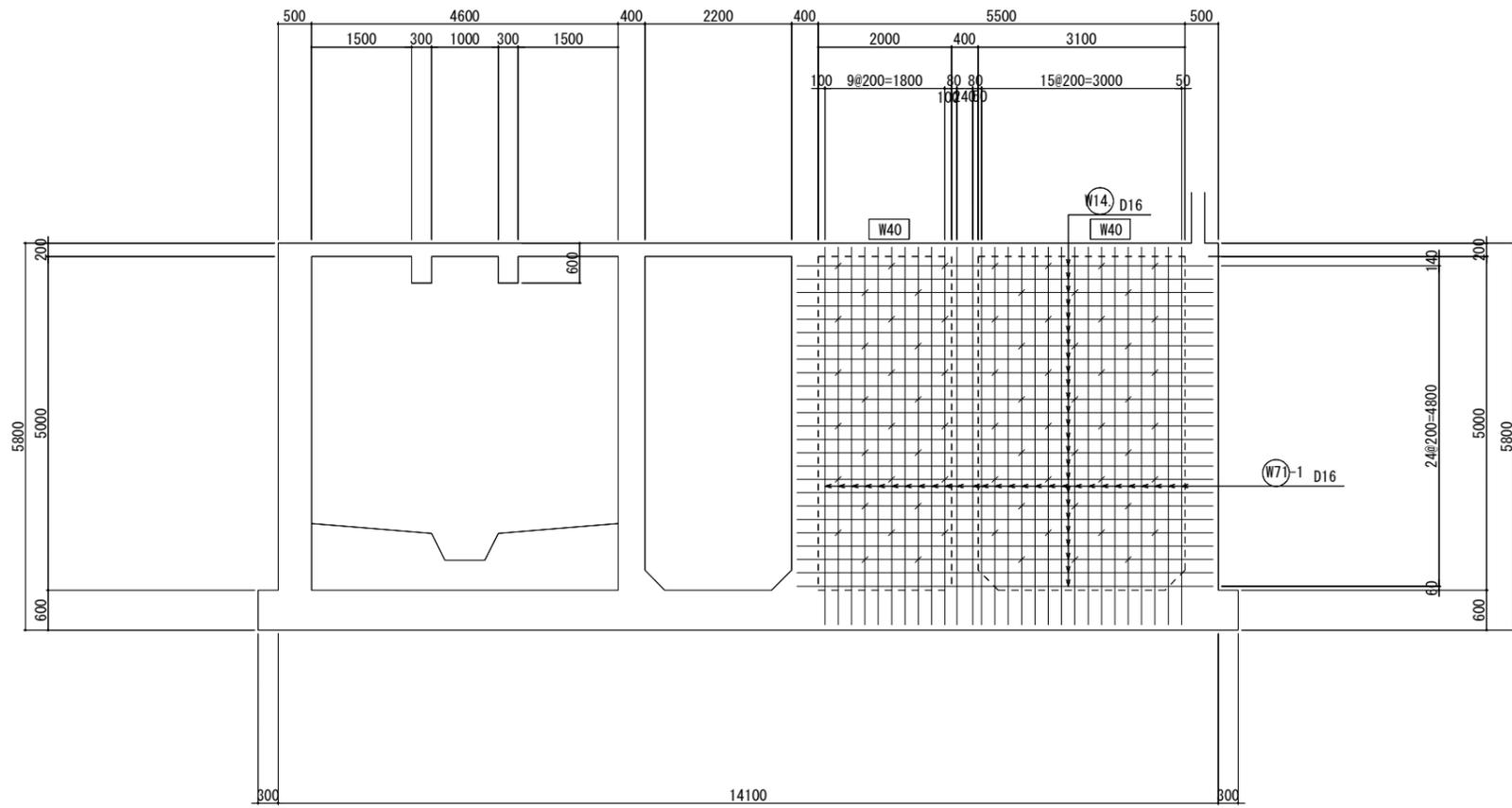


7-7断面図

S=1:50

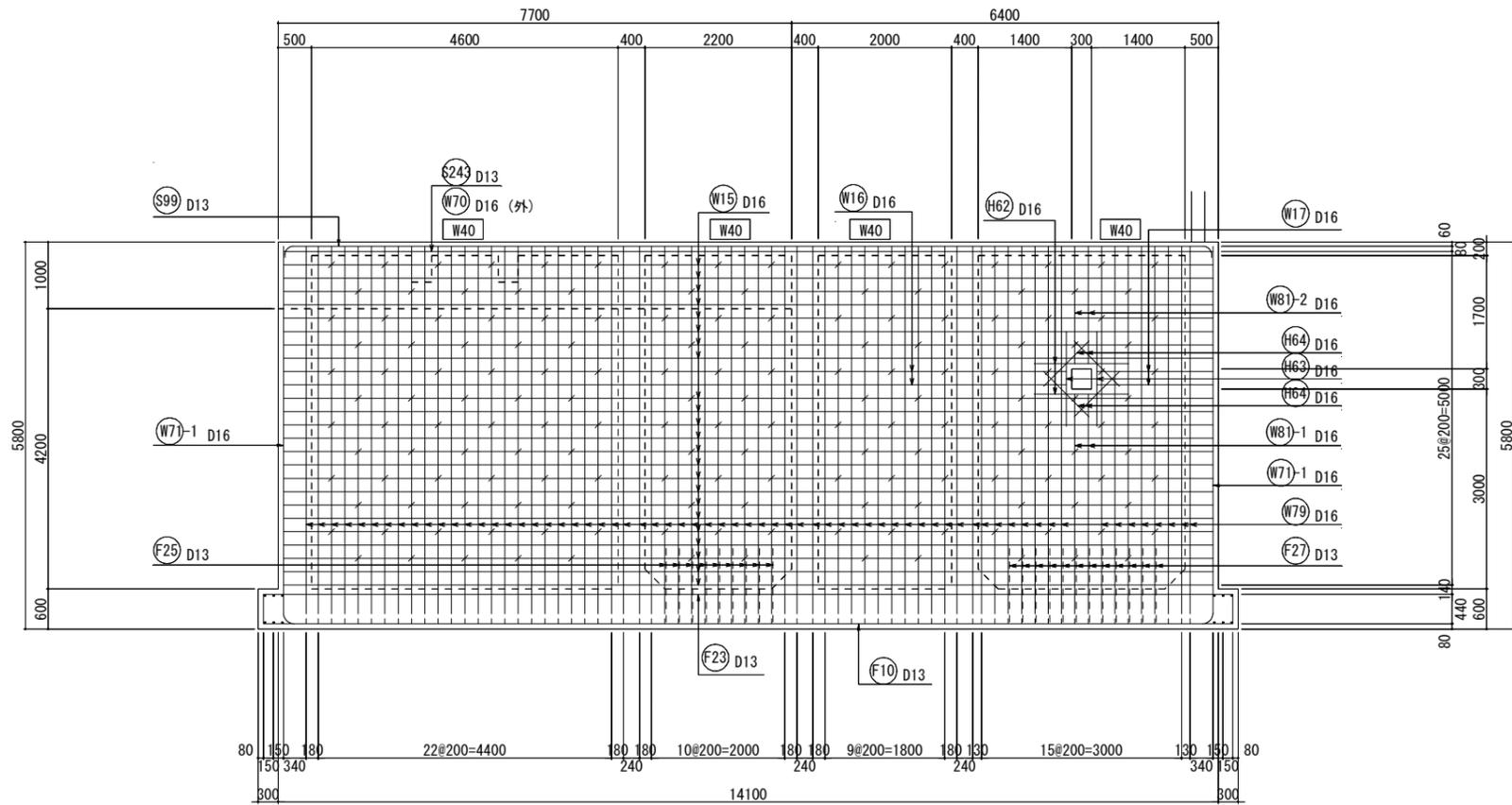
※ 重ね継手が1箇所集中する場合は、Lo×1.7の重ね継手長を確保すること。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(13)	D-33
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
製図 複写	
伊賀市	



8-8断面図

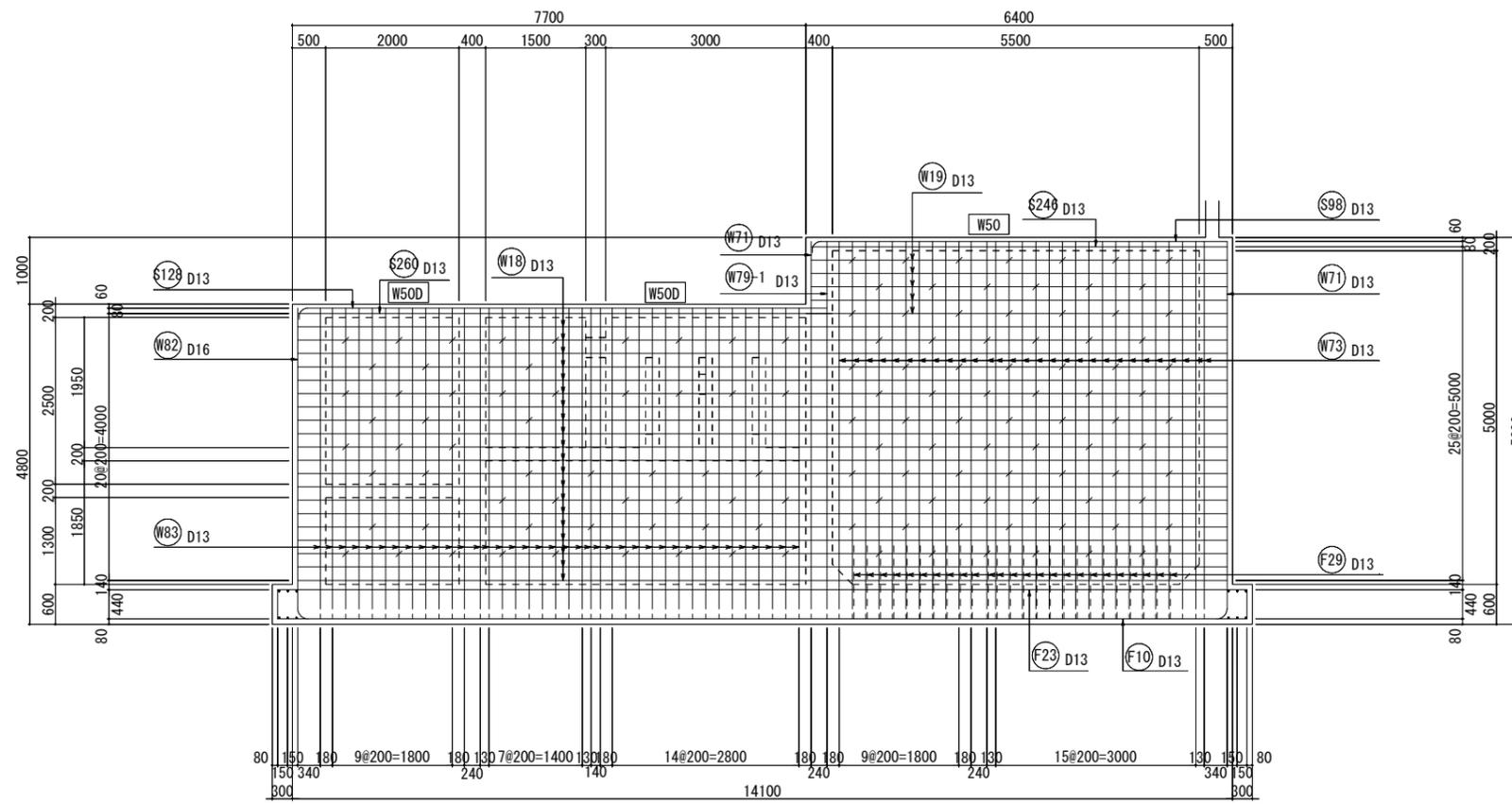
S=1:50



9-9断面図

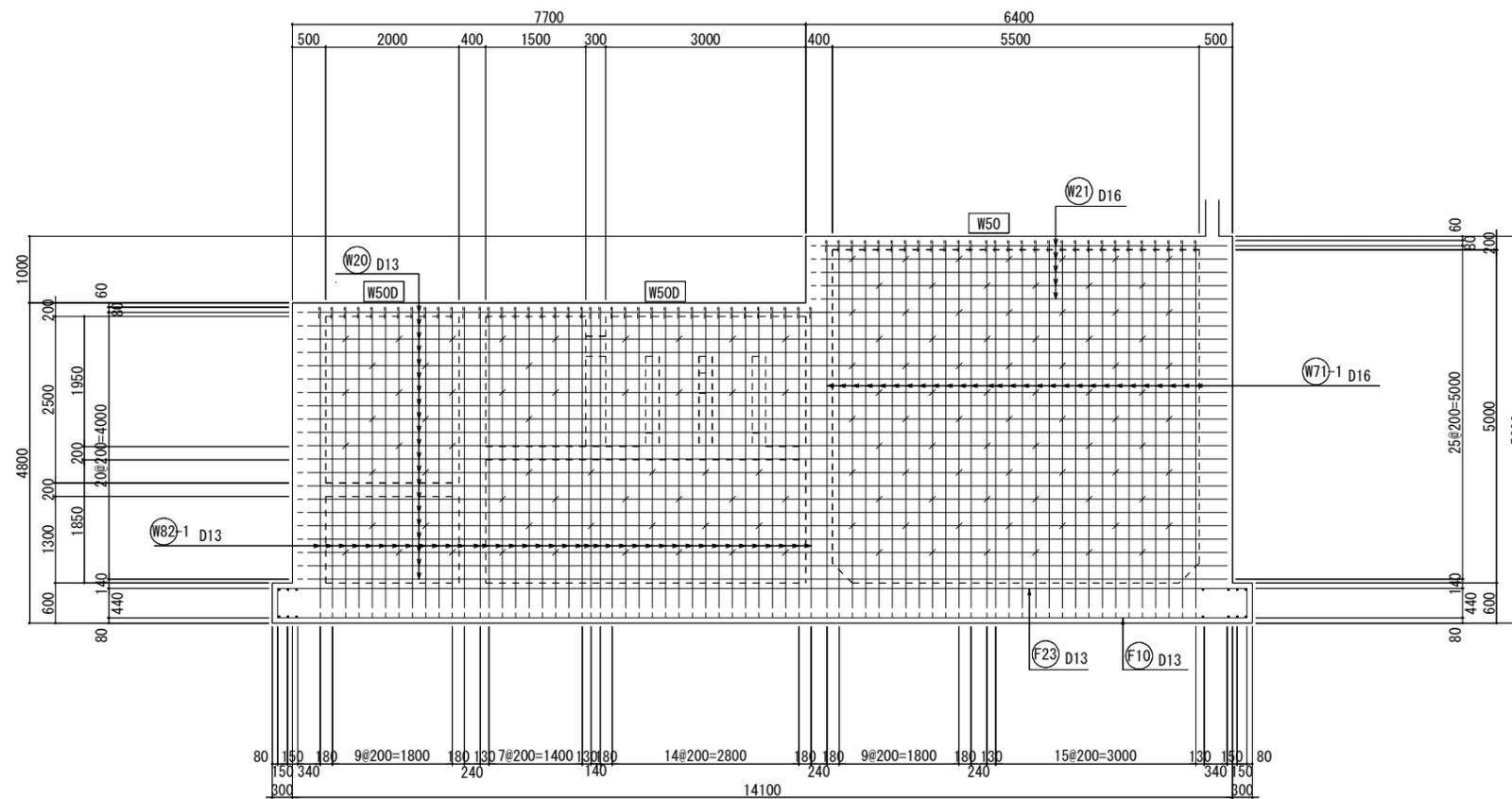
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(14)	D-34
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



10-10断面図(内面)

S=1:50



10-10断面図(外面)

S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称 図面番号

水槽配筋図(15) D-35

縮尺 S=1:50

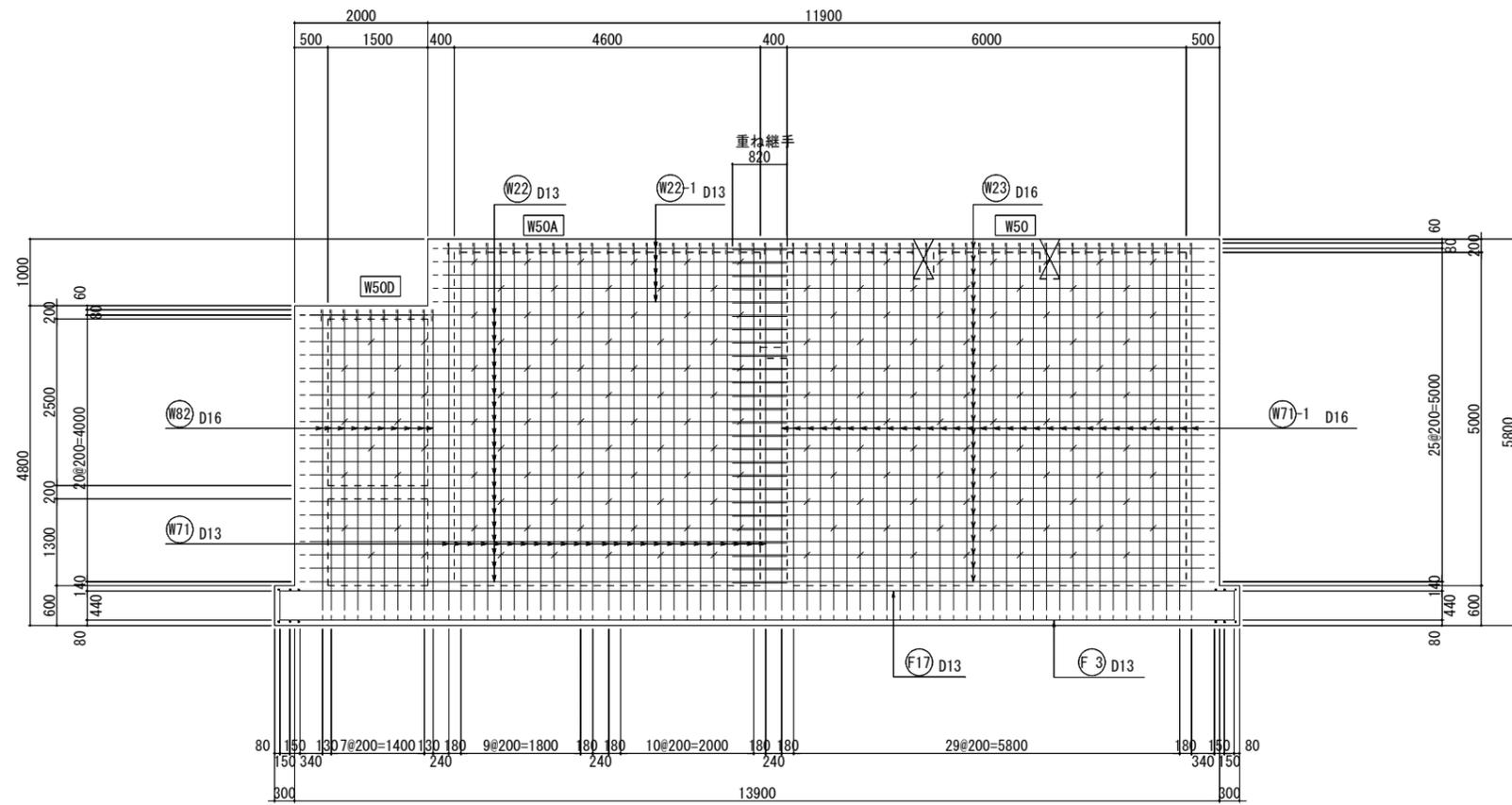
測量 平成 年月 日終了

設計

製原図

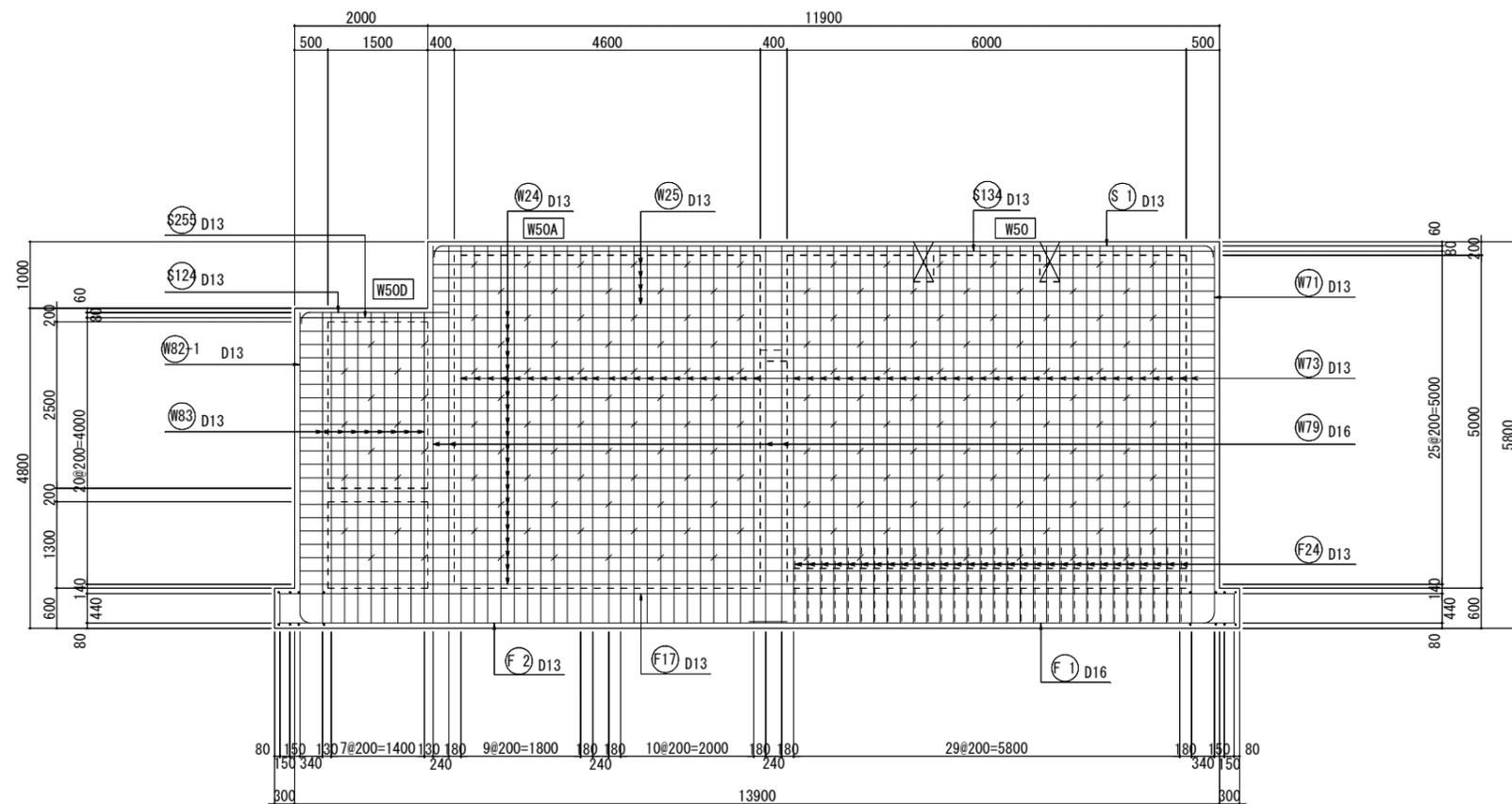
図複写

伊賀市



11-11断面図(外面)

S=1:50

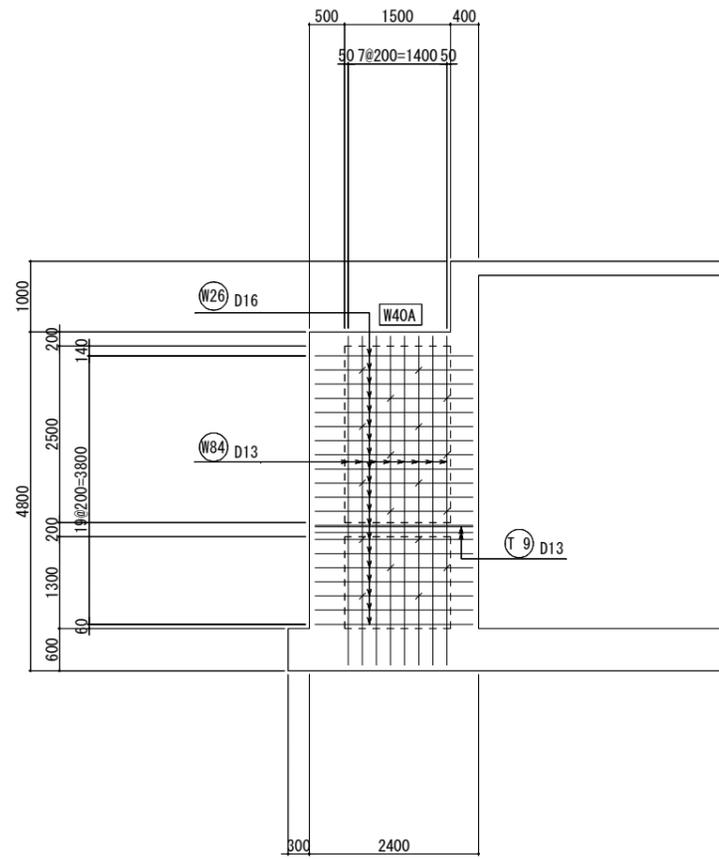


11-11断面図(内面)

S=1:50

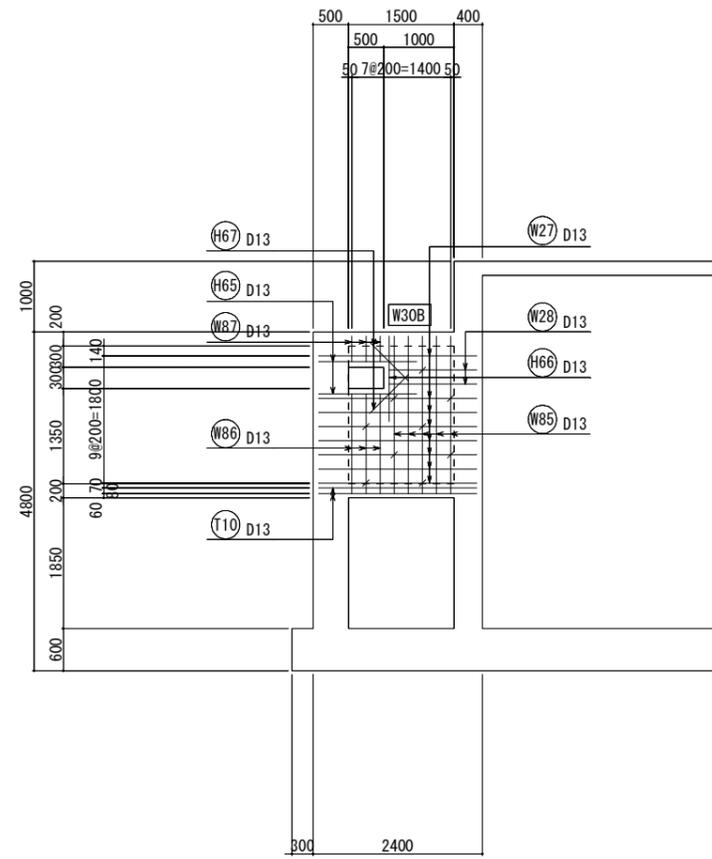
※ 重ね継手が1箇所に集中する場合は、Lo×1.7の重ね継手長を確保すること。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(16)	D-36
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



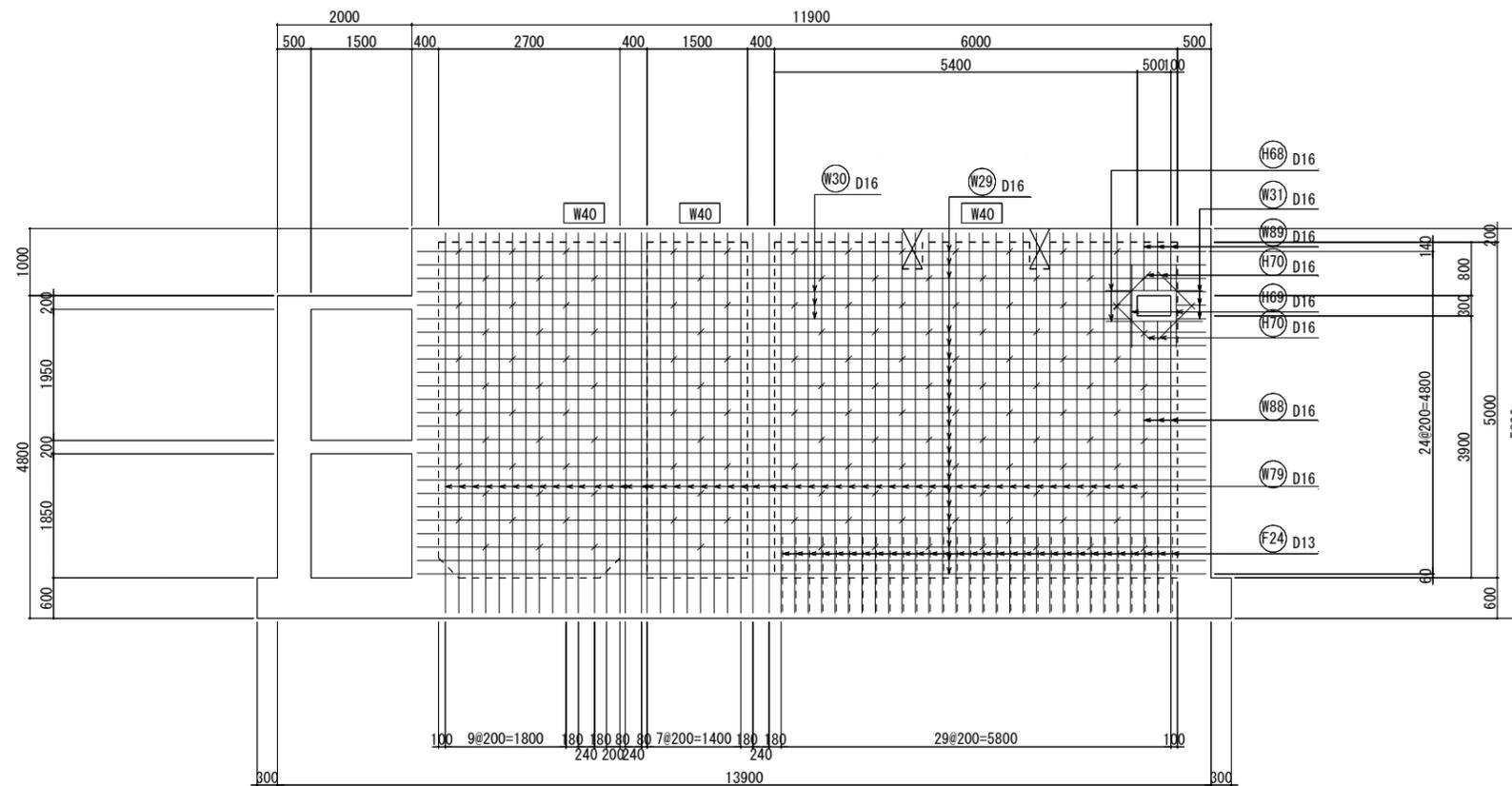
12-12断面図

S=1:50



13-13断面図

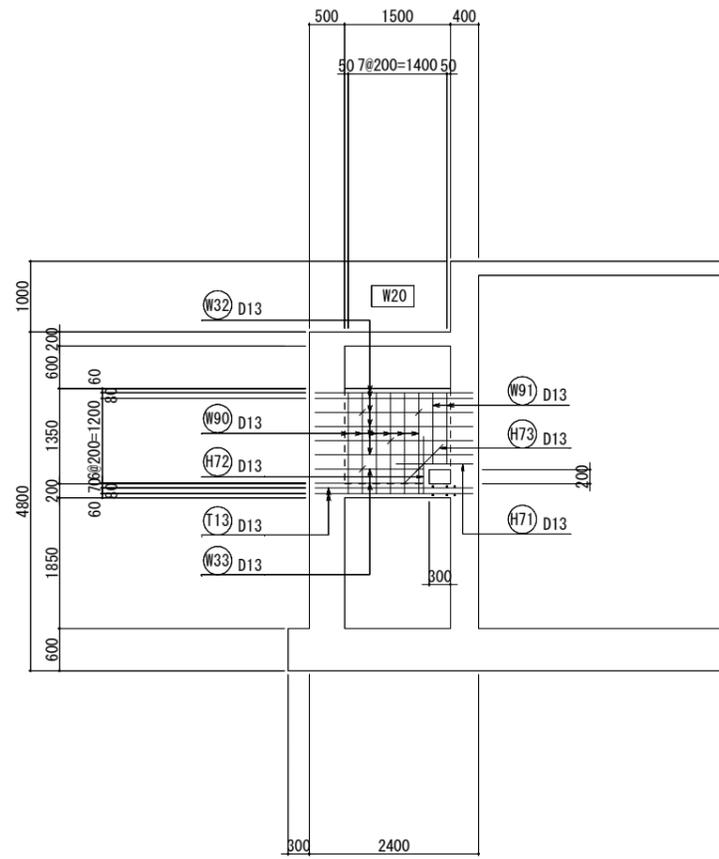
S=1:50



14-14断面図

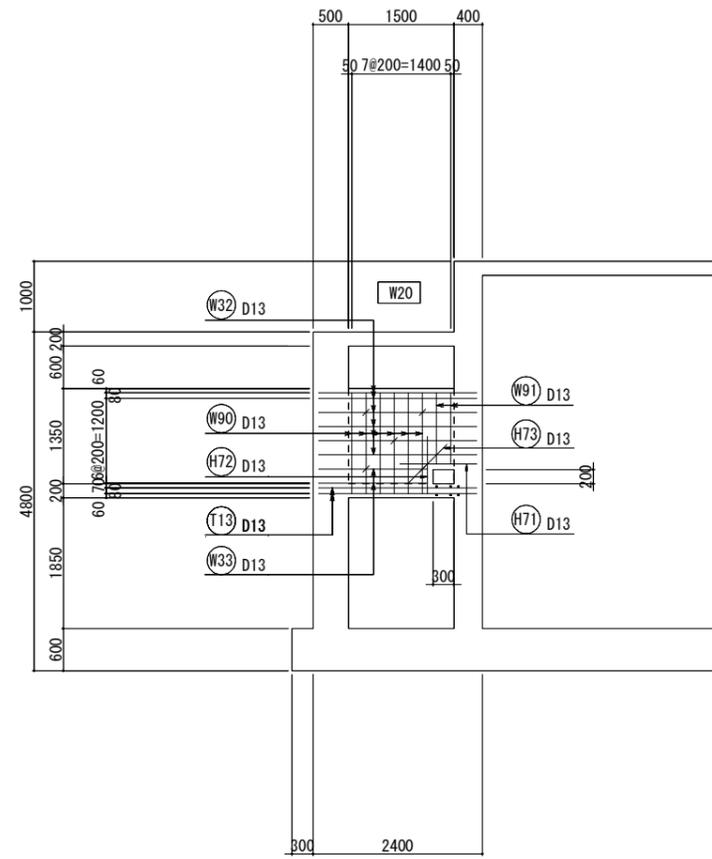
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(17)	D-37
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



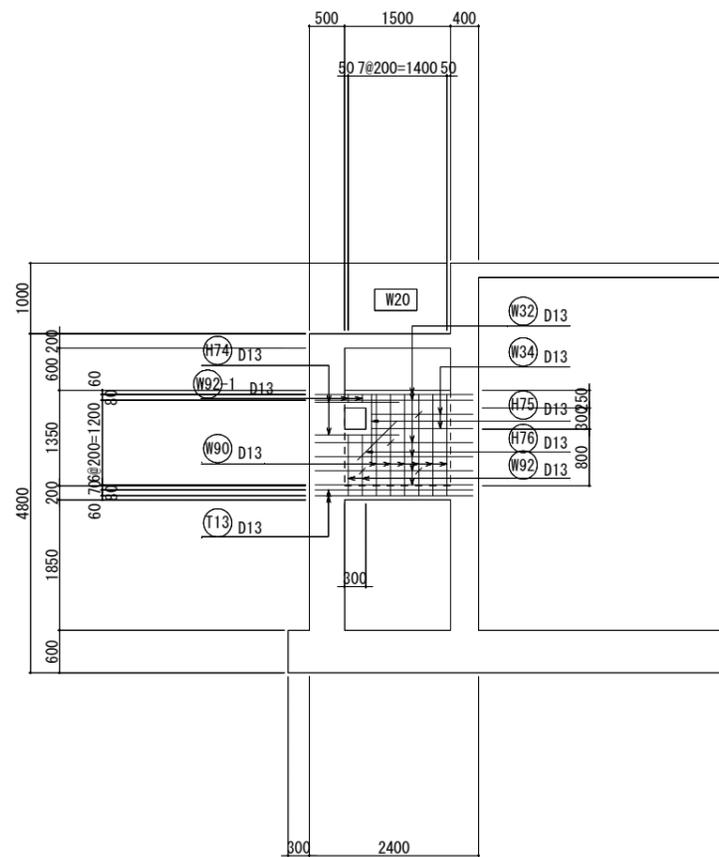
15-15断面図

S=1:50



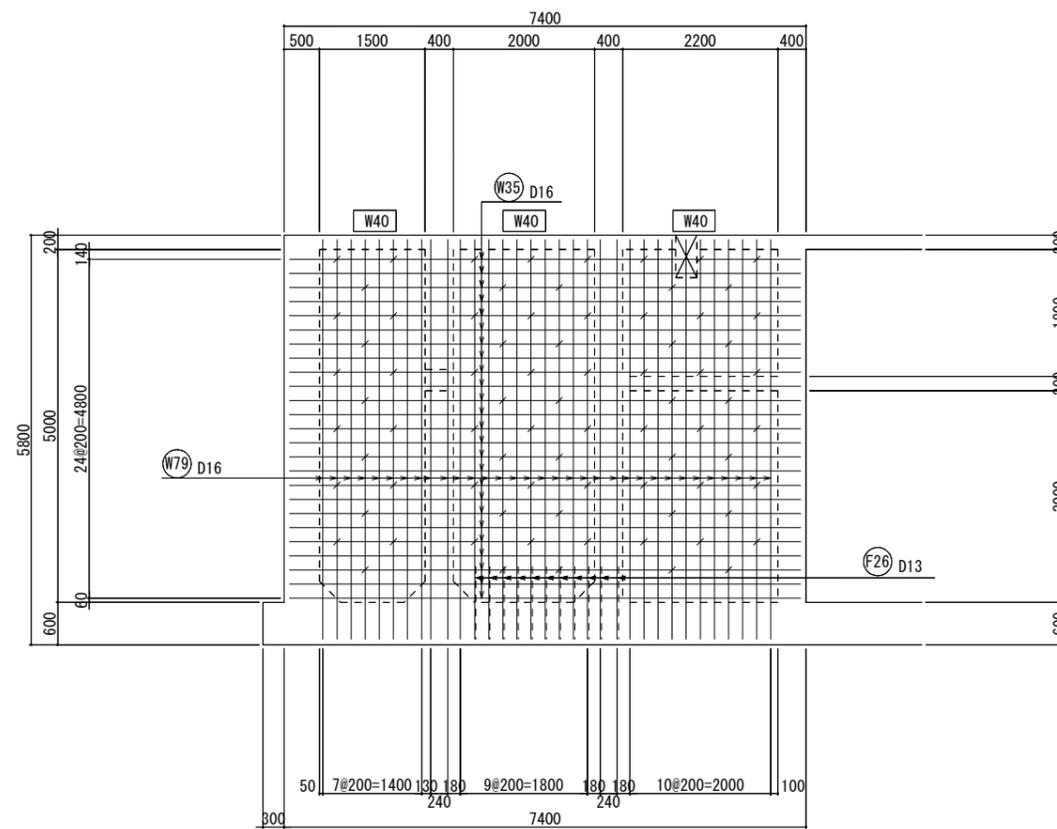
17-17断面図

S=1:50



16-16断面図

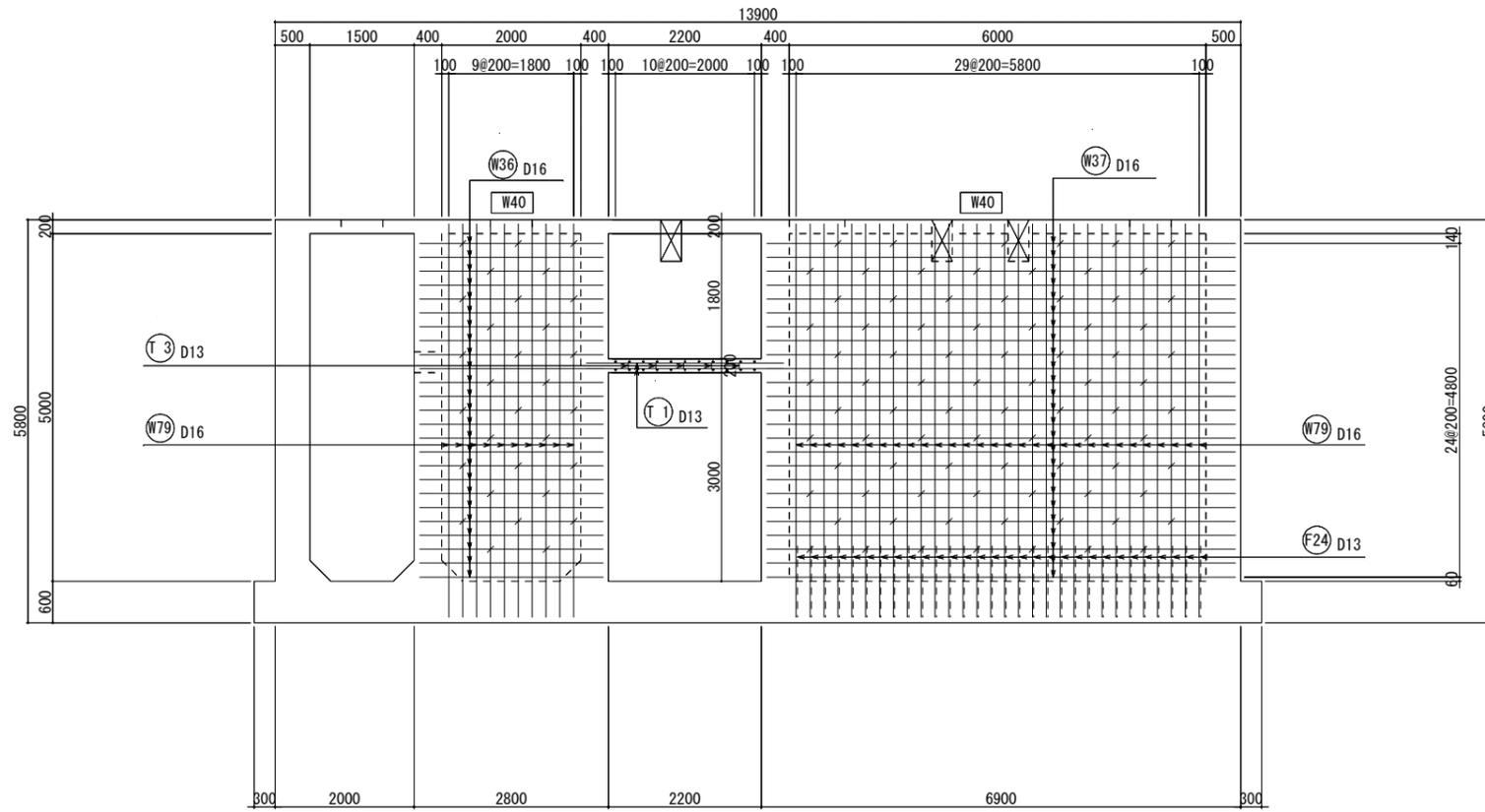
S=1:50



18-18断面図

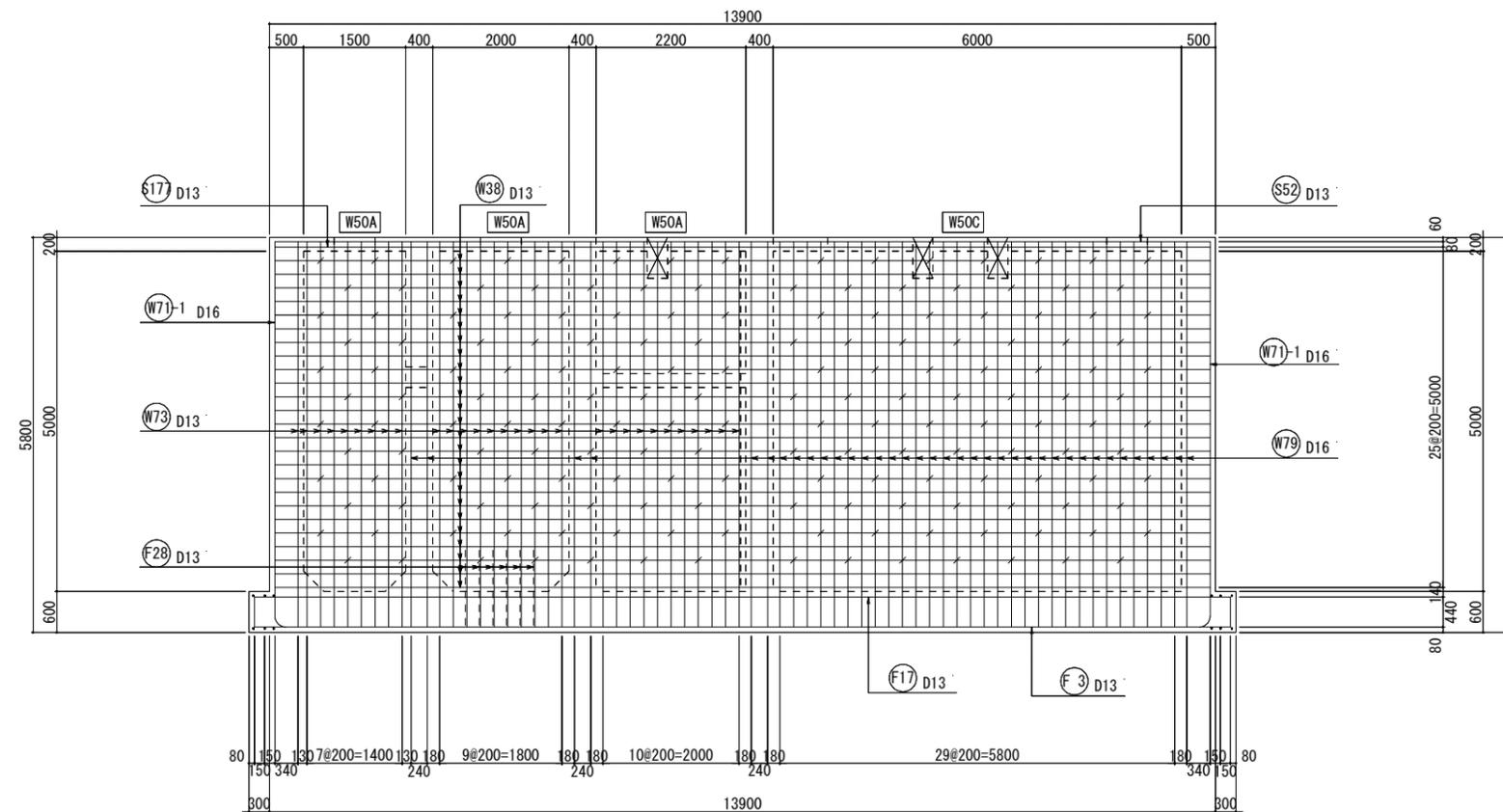
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(18)	D-38
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



19-19断面図

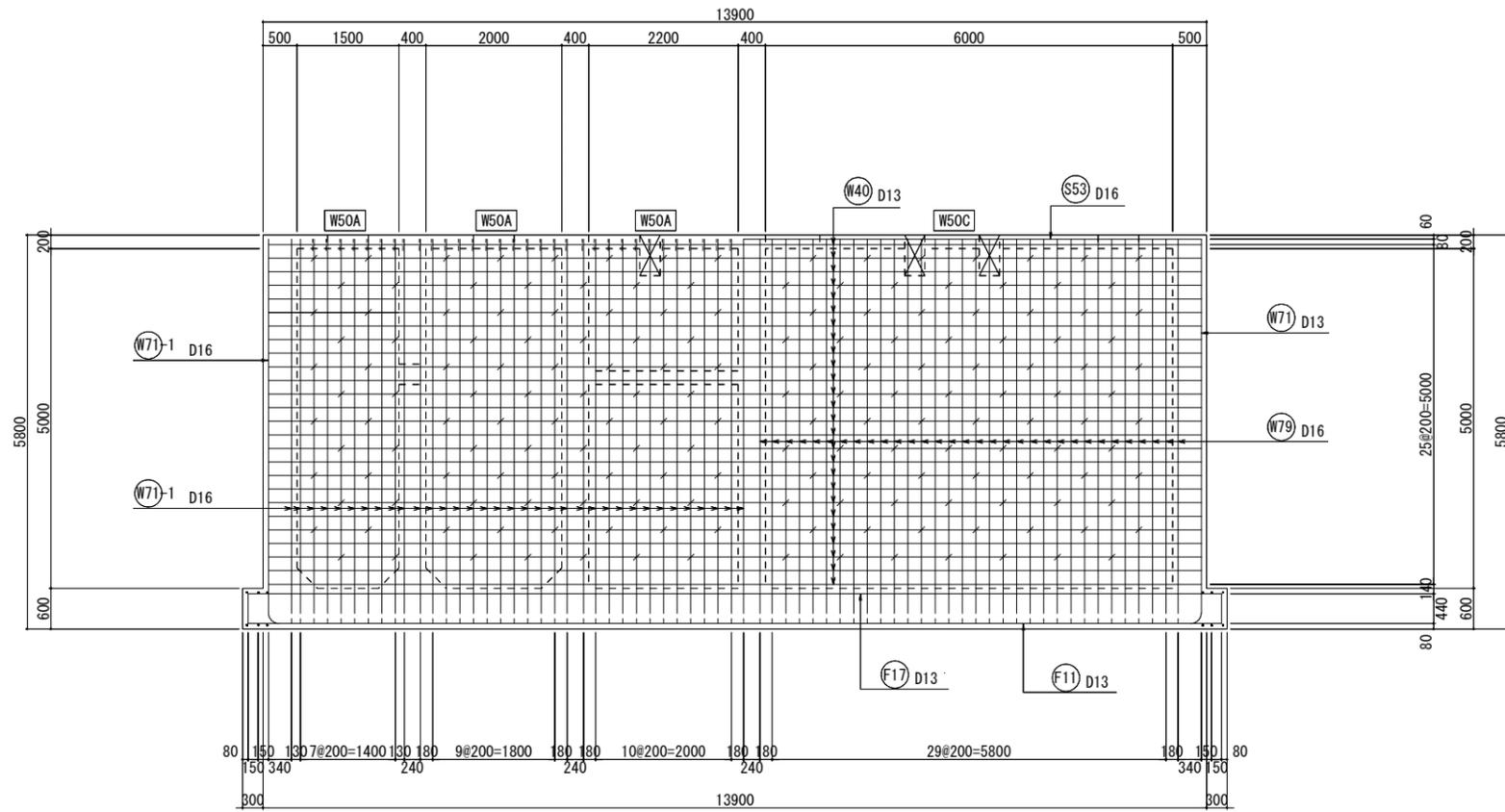
S=1:50



20-20断面図(内面)

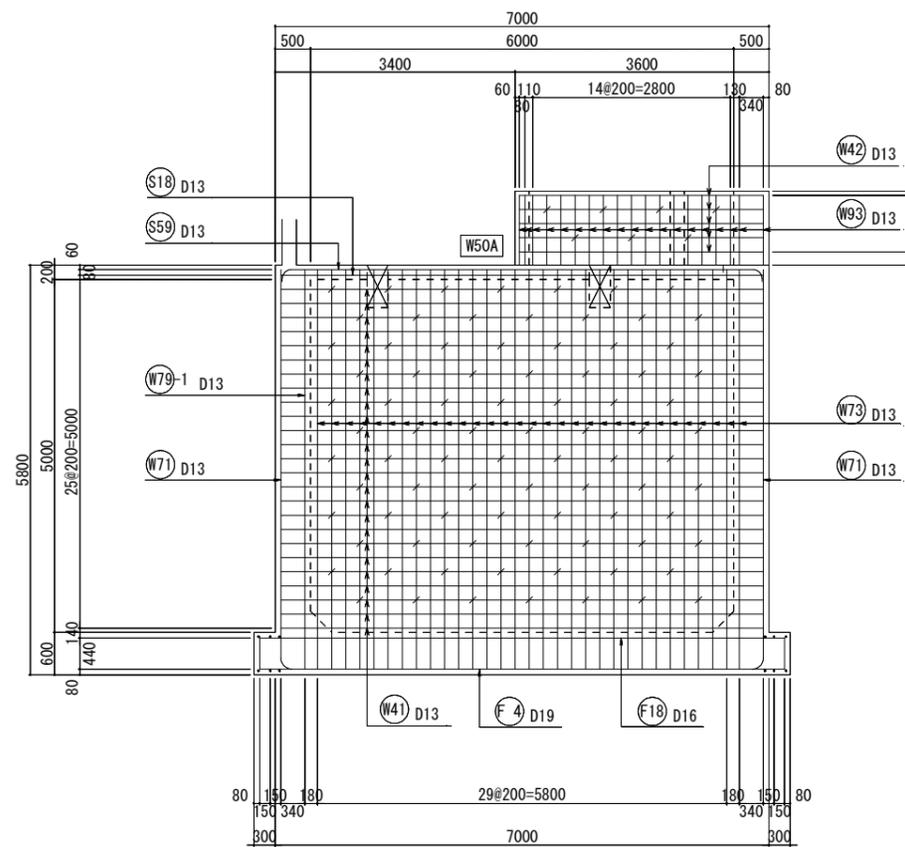
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(19)	D-39
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



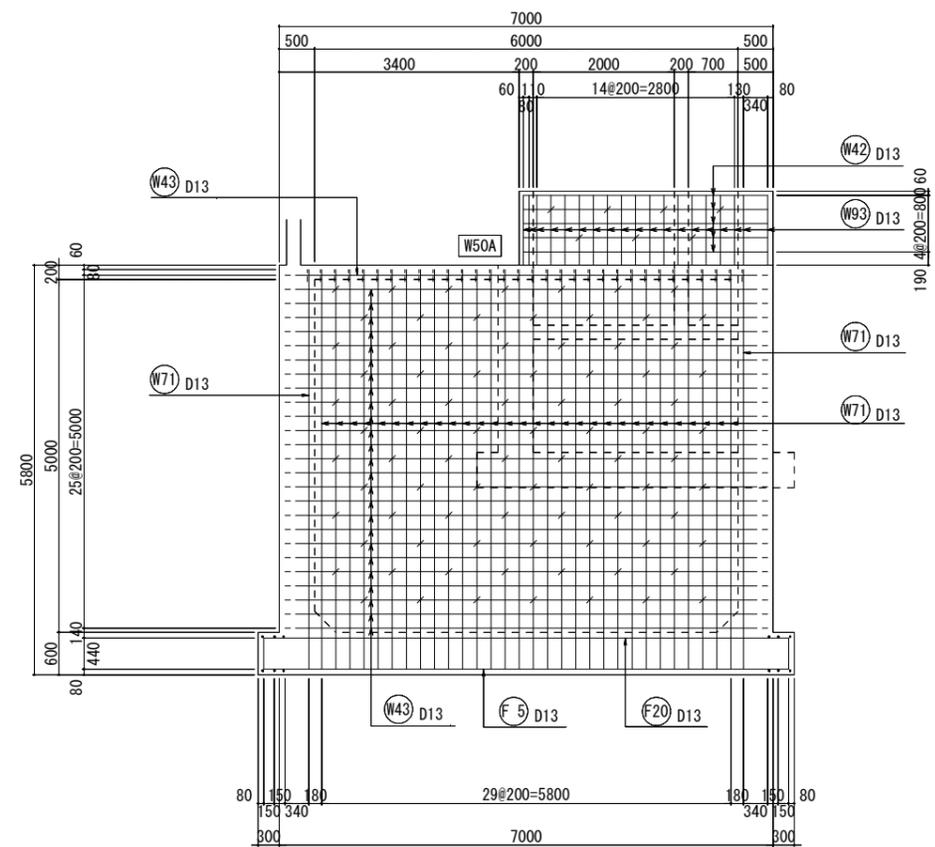
20-20断面図(外面)

S=1:50



21-21断面図(内面)

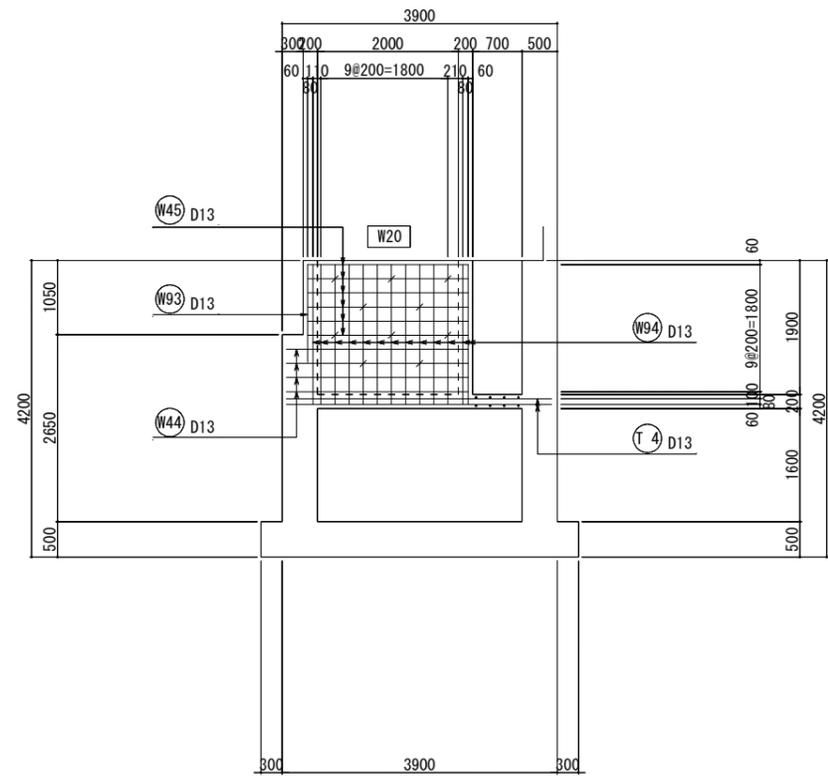
S=1:50



21-21断面図(外面)

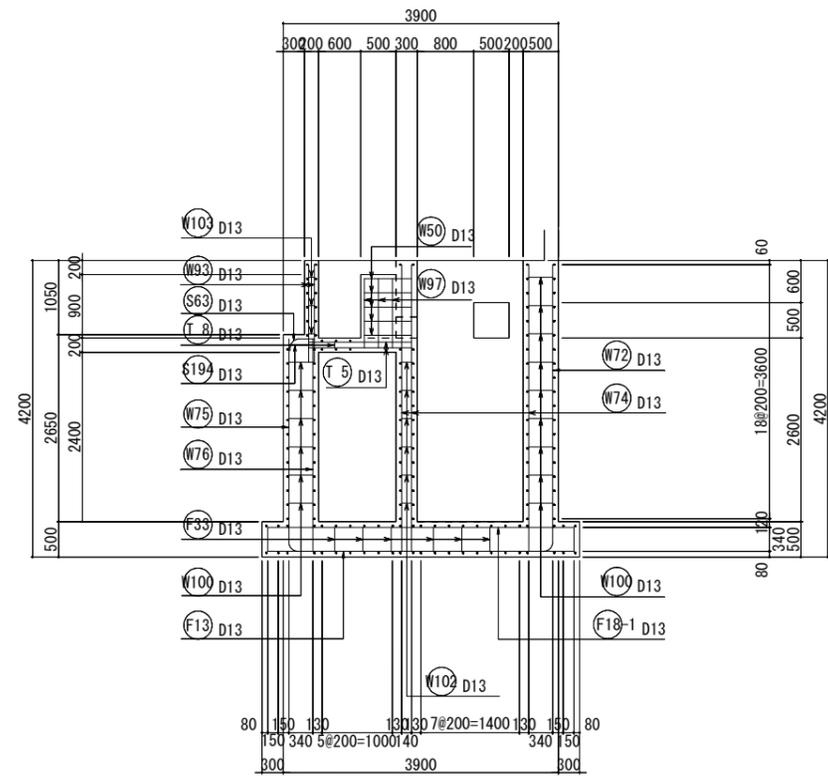
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(20)	D-40
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



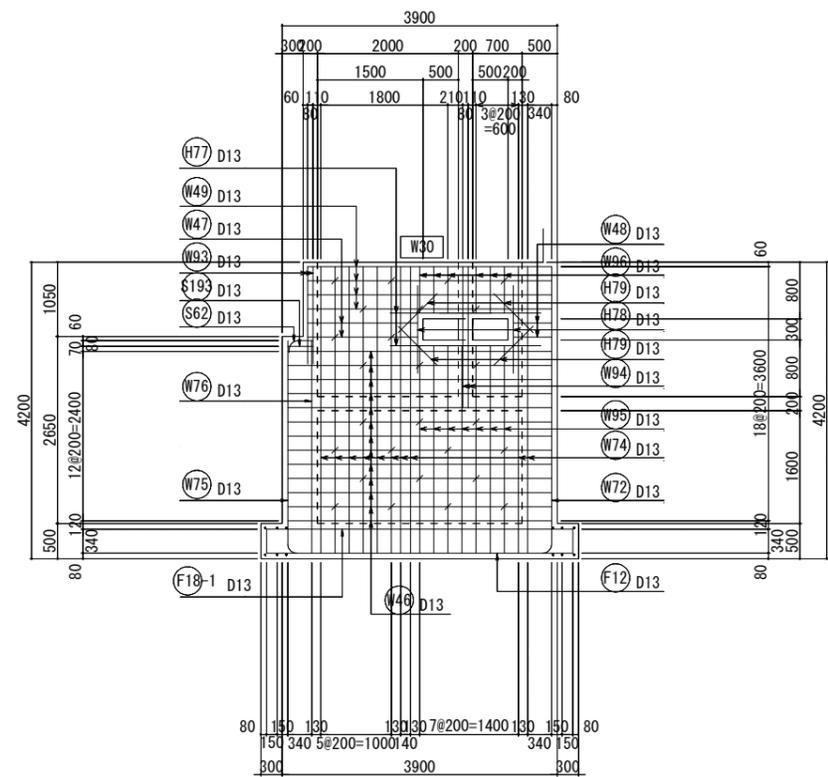
22-22断面図

S=1:50



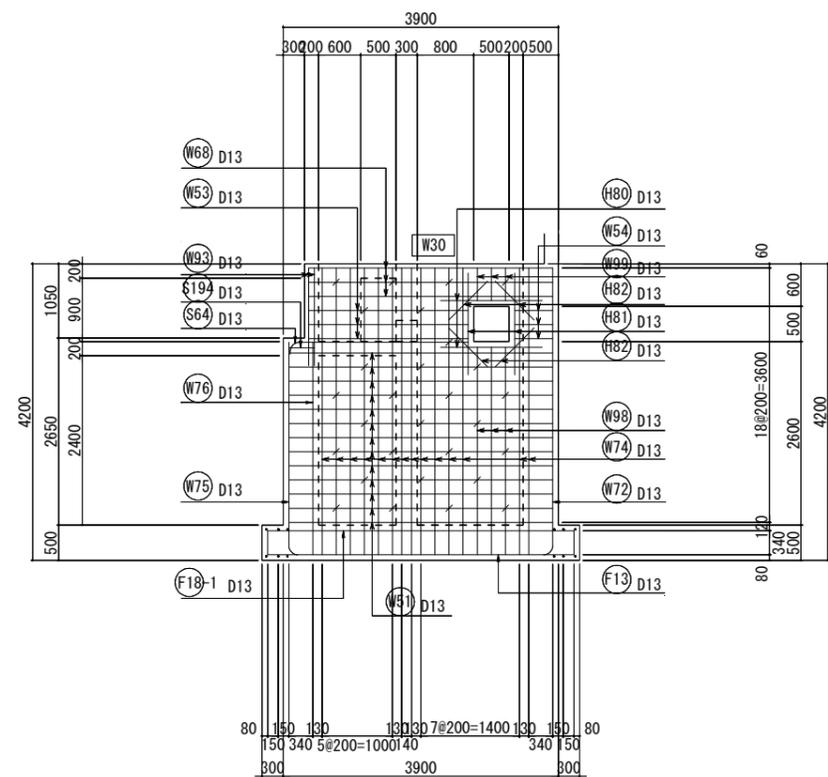
24-24断面図

S=1:50



23-23断面図

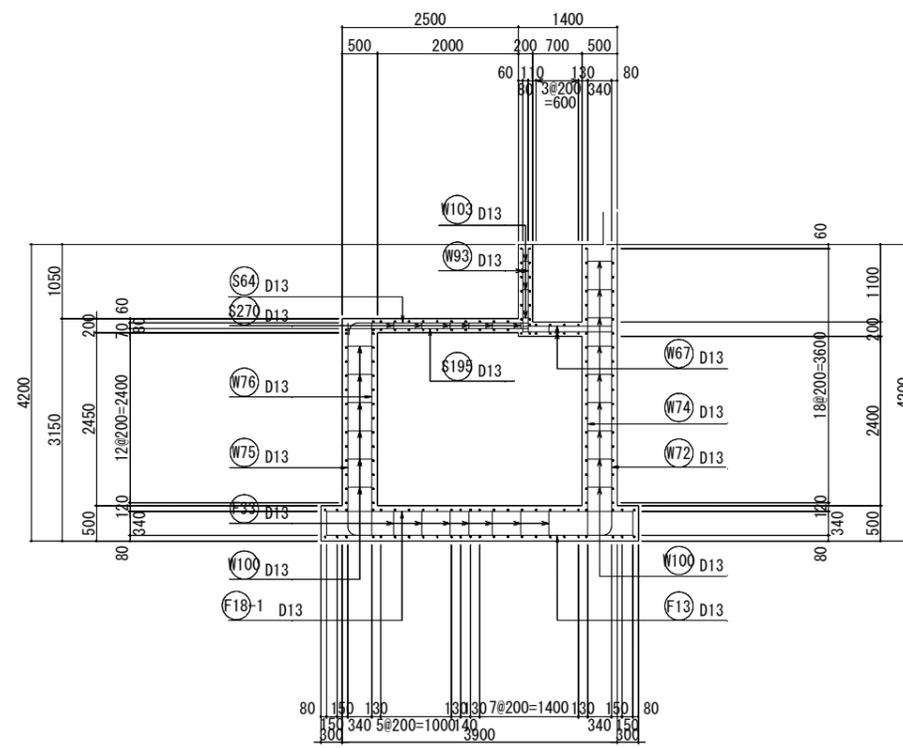
S=1:50



25-25断面図

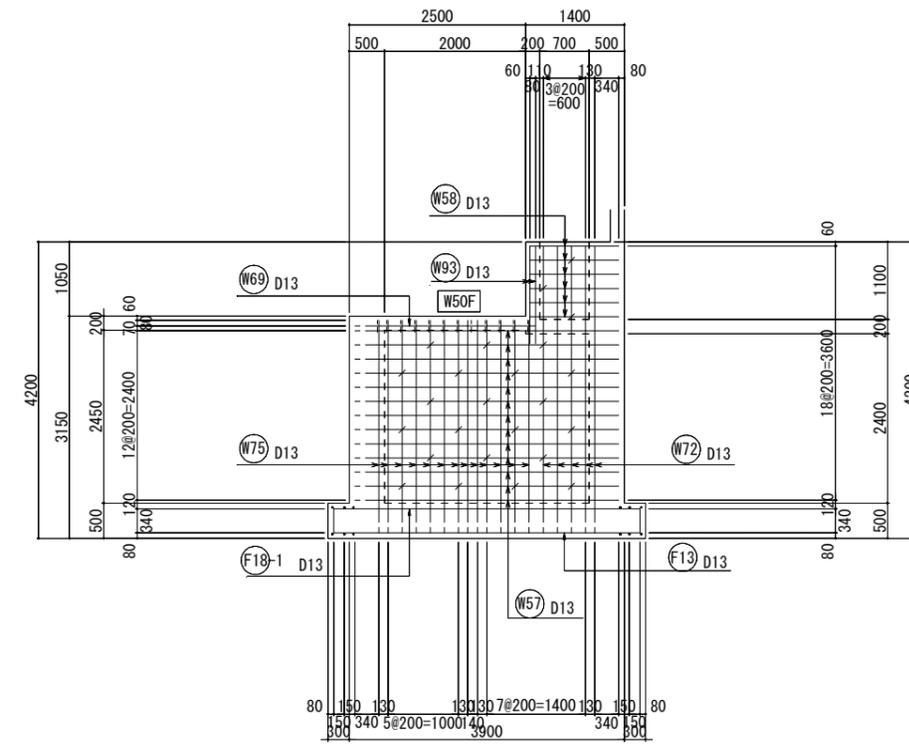
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(21)	D-41
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



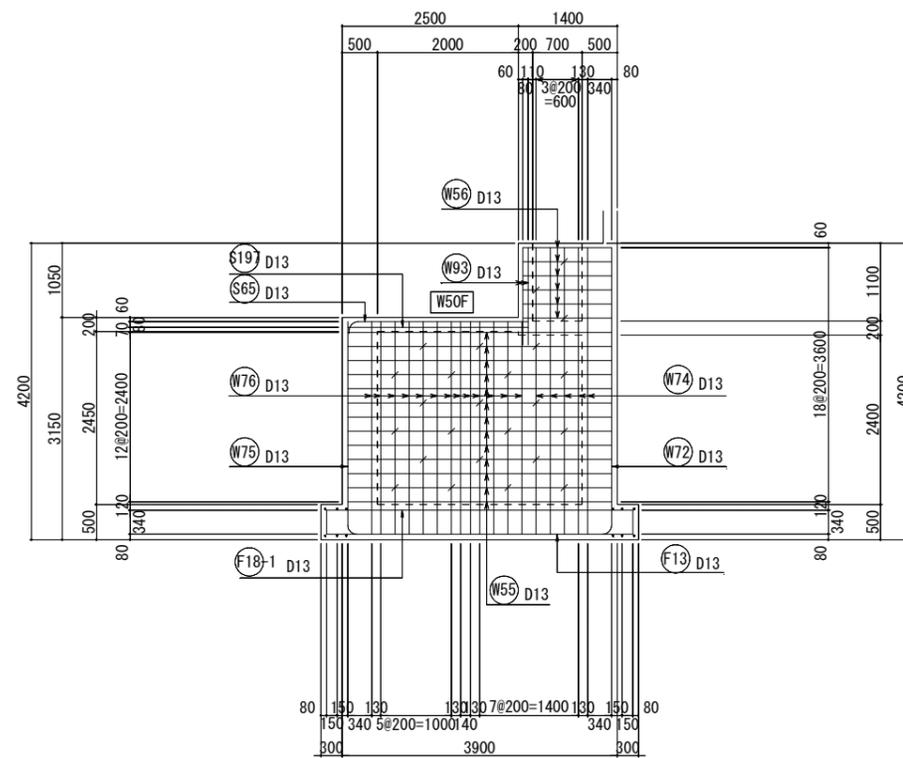
26-26断面図

S=1:50



27-27断面図(外面)

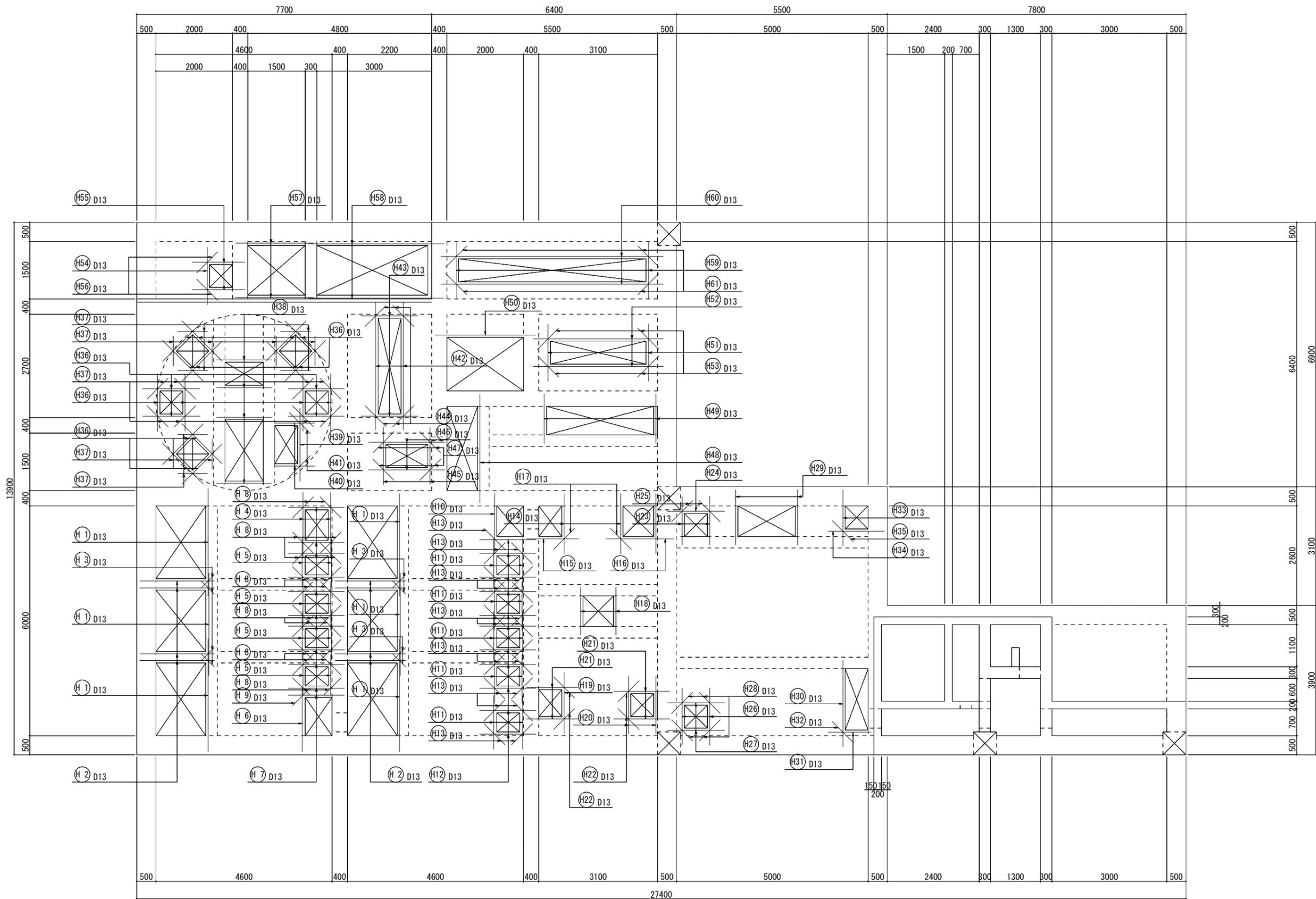
S=1:50



27-27断面図(内面)

S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
水槽配筋図(22)	D-42
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

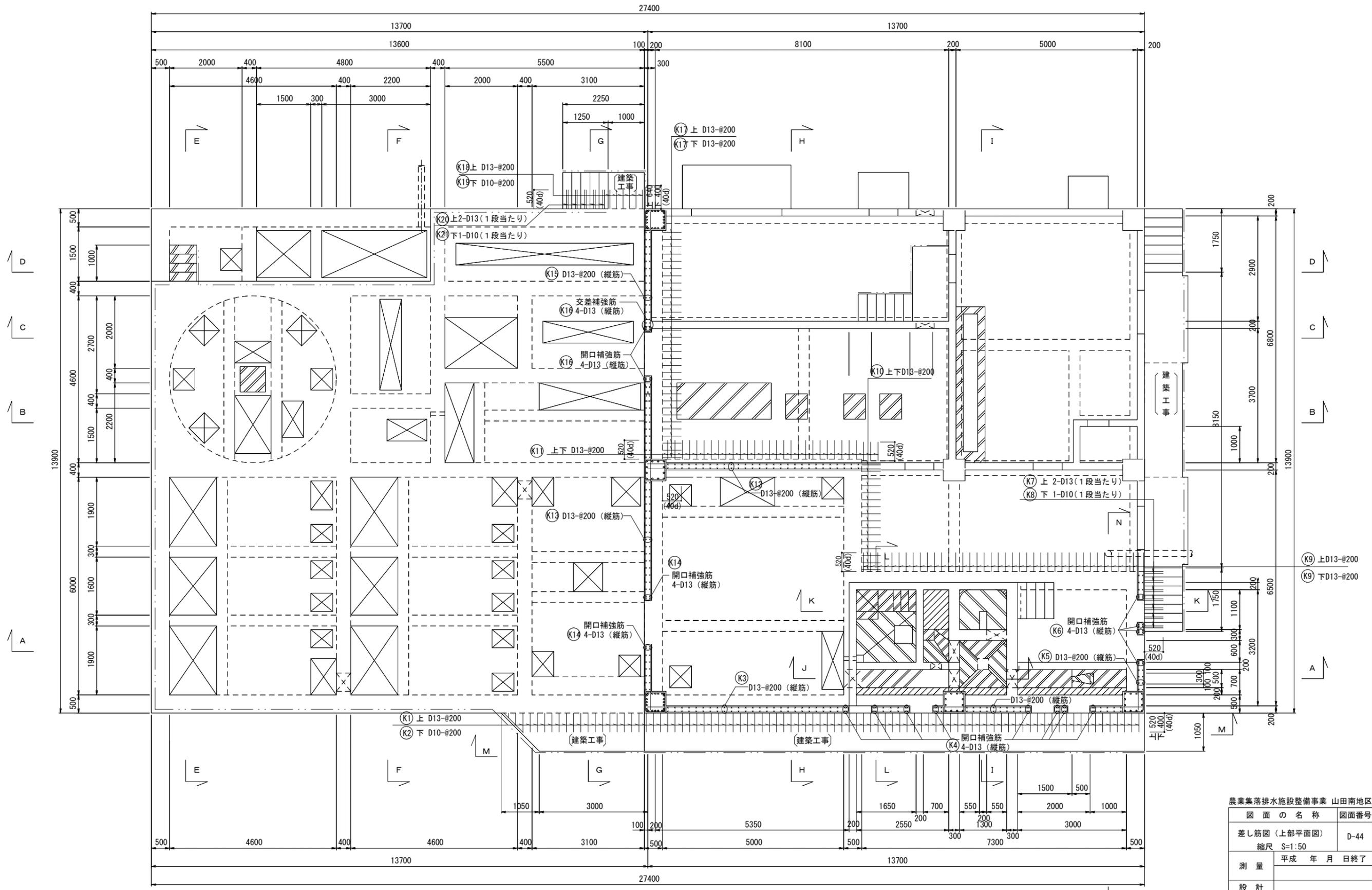


頂版開口補強配筋図

S=1:50

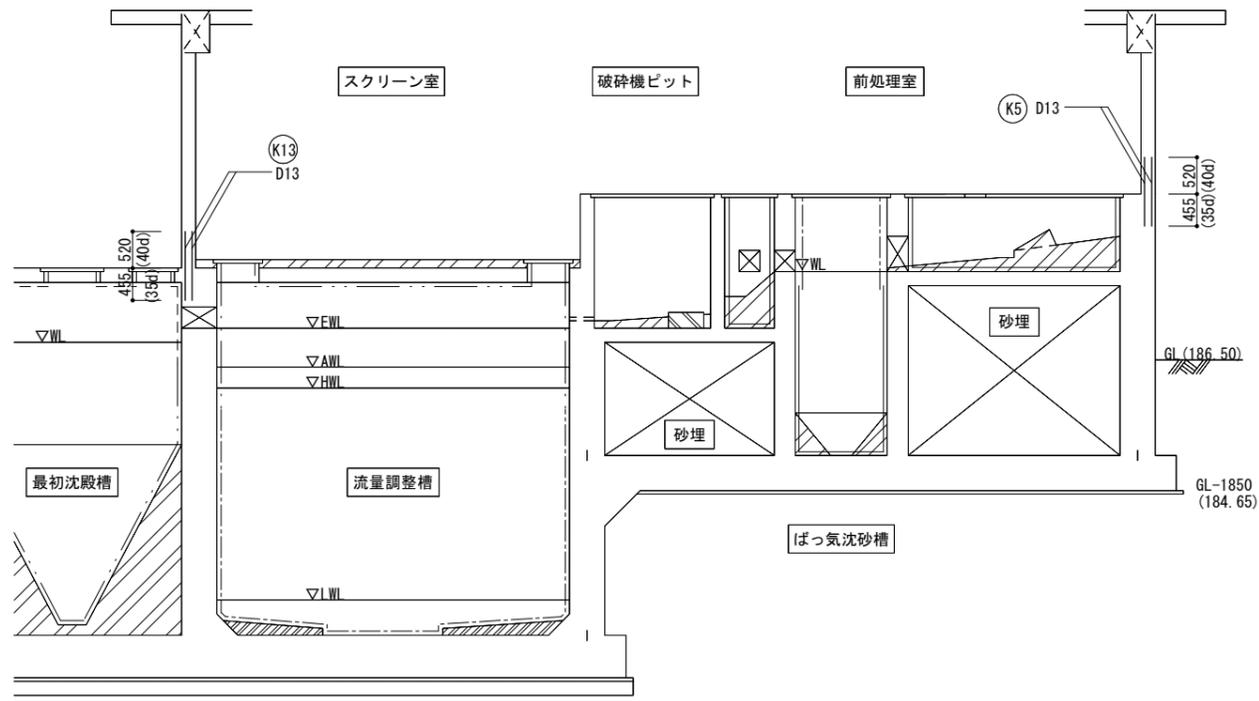
農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
水槽配筋図(23)	D-43
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

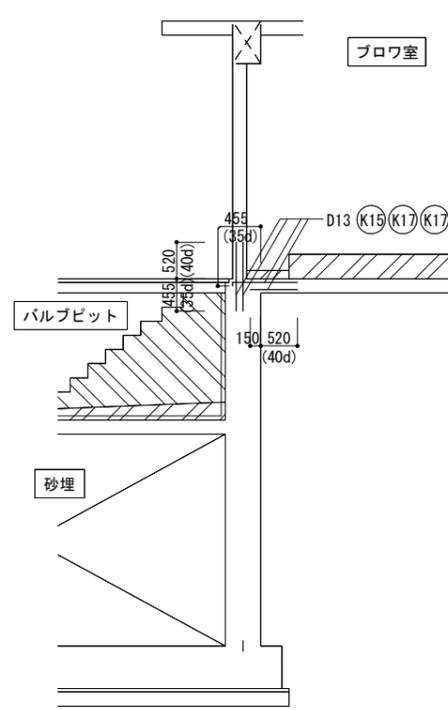


上部平面図
S=1:50

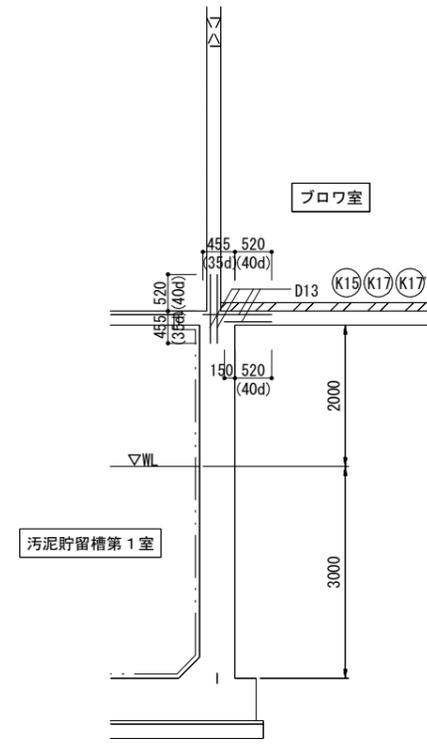
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
差し筋図(上部平面図)	D-44
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



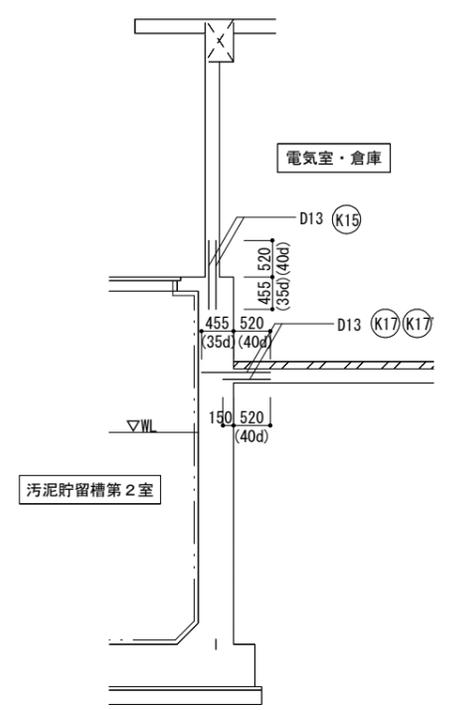
A-A断面図
S=1:50



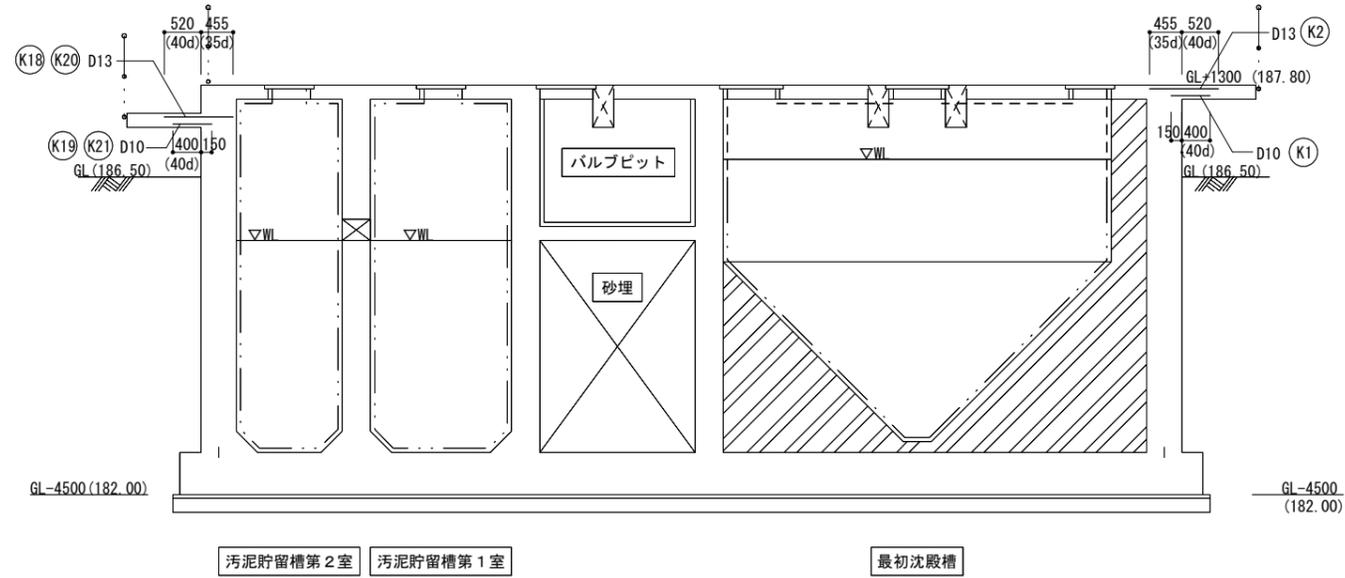
B-B断面図
S=1:50



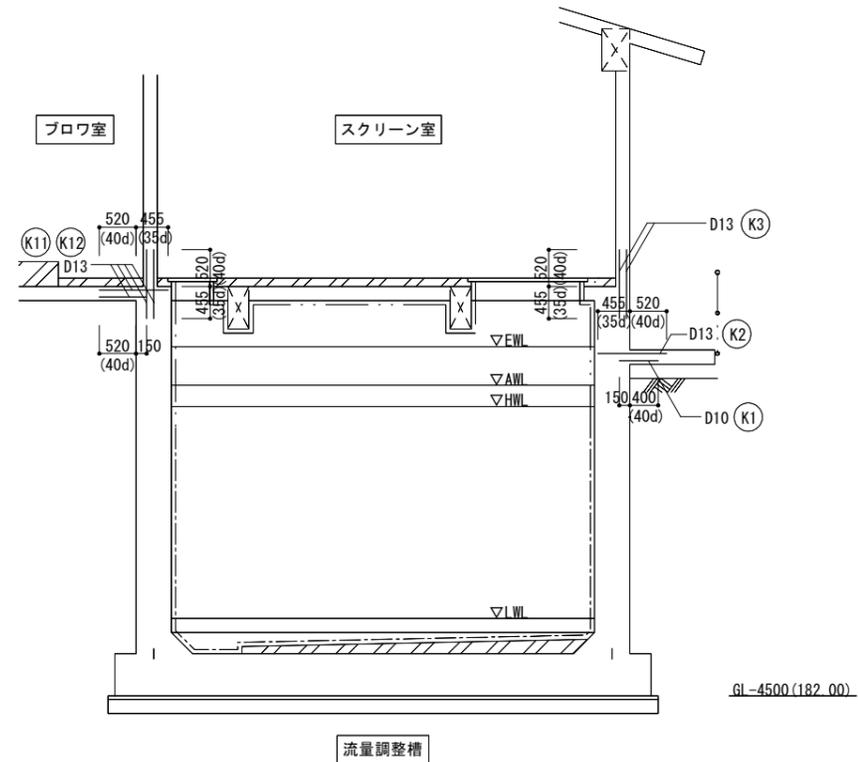
C-C断面図
S=1:50



D-D断面図
S=1:50



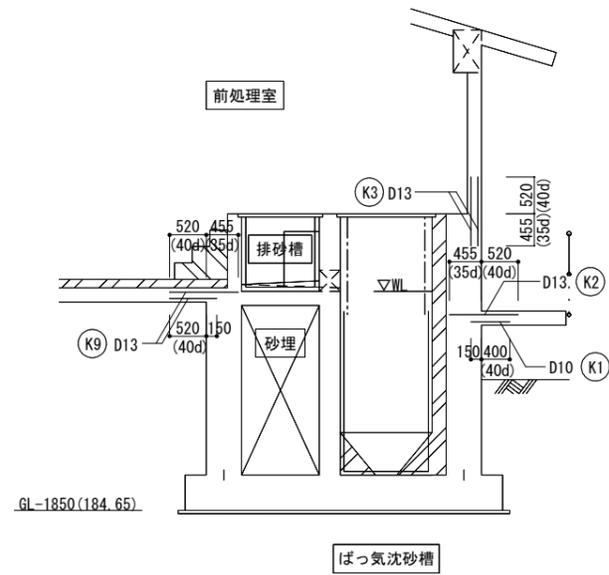
G-G断面図
S=1:50



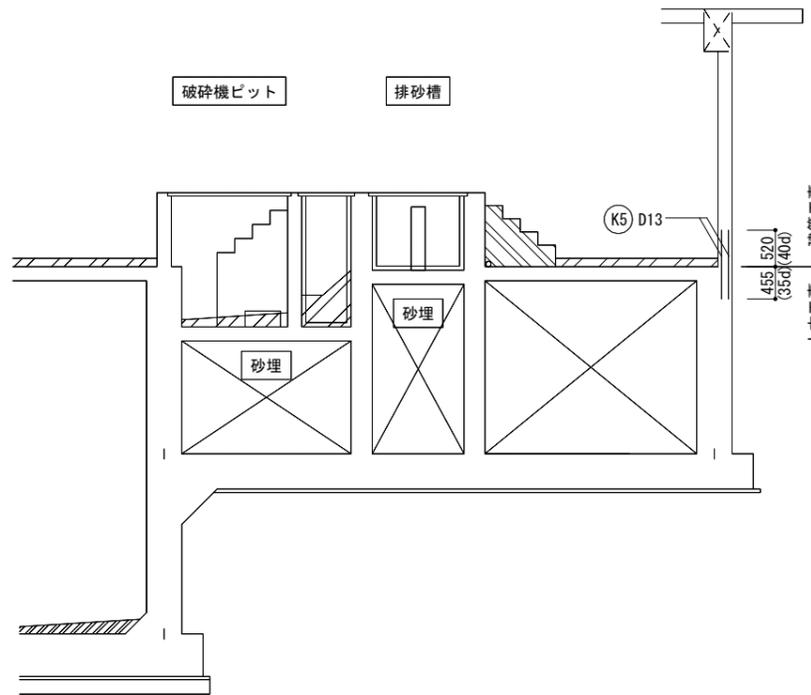
H-H断面図
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

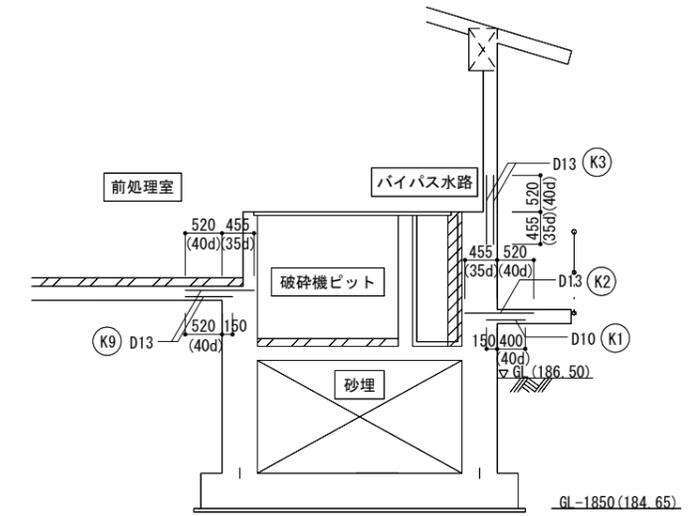
図面の名称	図面番号
差し筋断面図(1/2)	D-45
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



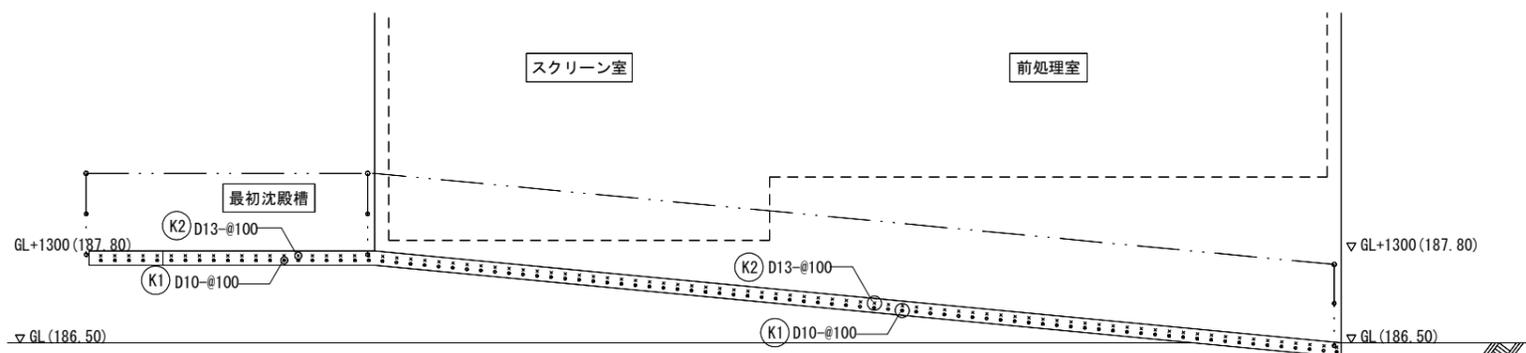
I-I 断面図
S=1:50



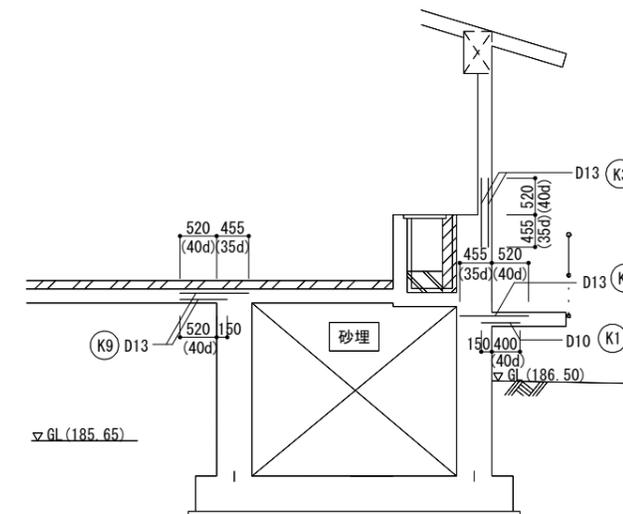
K-K 断面図
S=1:50



L-L 断面図
S=1:50

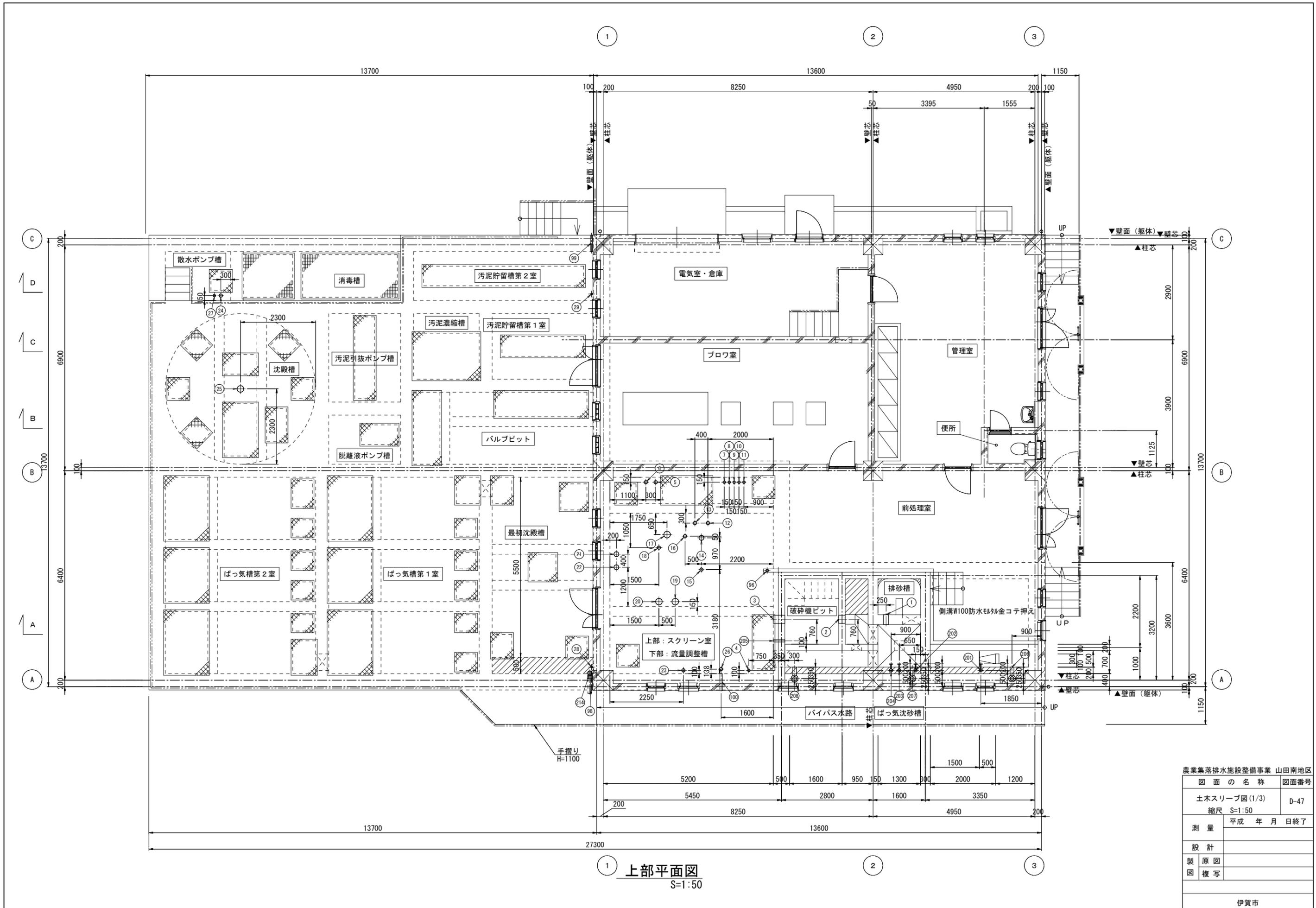


M-M 断面図
S=1:50



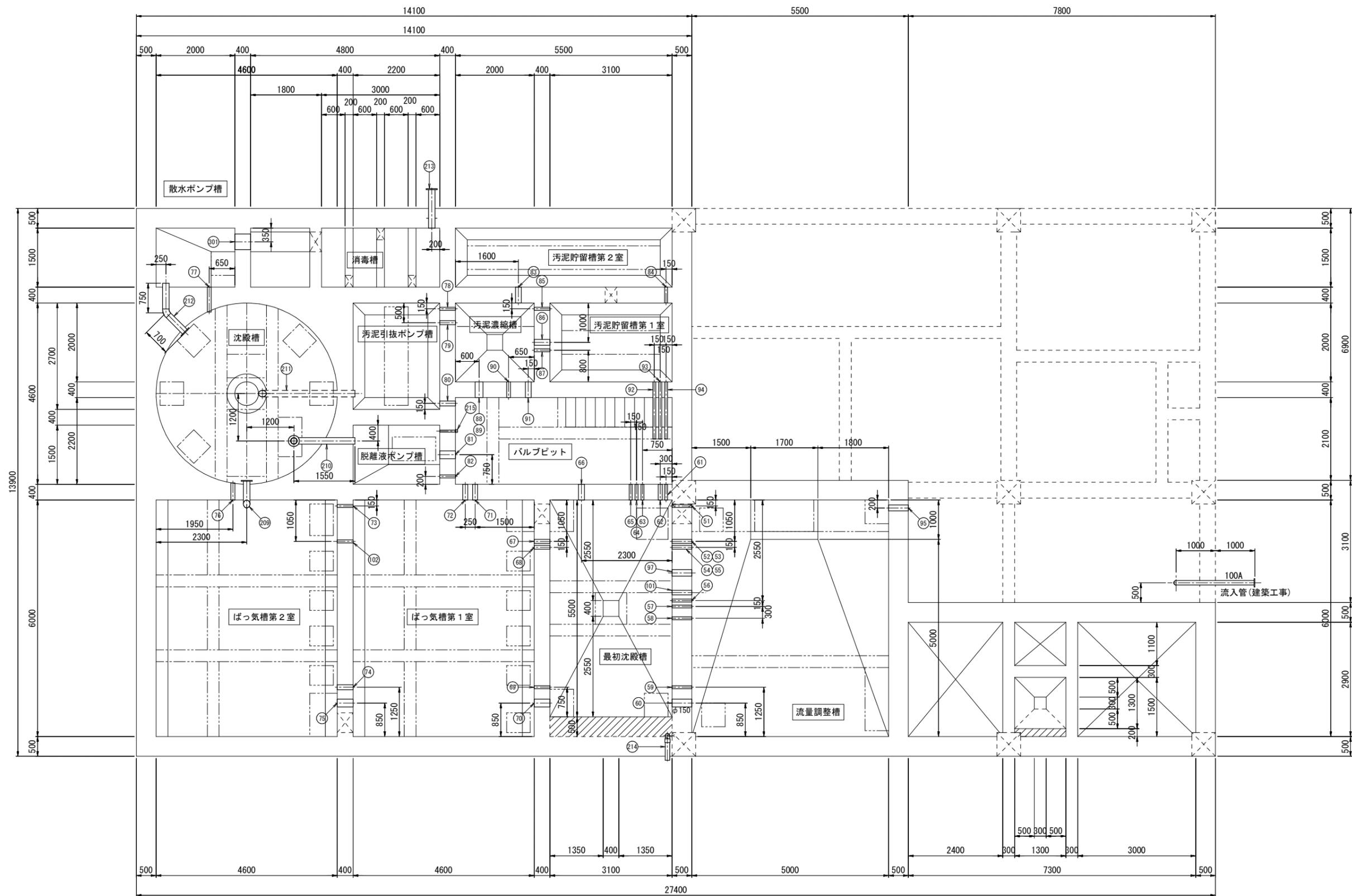
N-N 断面図
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
差し筋断面図(2/2)	D-46
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



1 上部平面図
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
土木スリーブ図(1/3)	D-47
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



下部平面図
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
土木スリーブ図(2/3)	D-48
縮尺 S=1:50	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

スリーブリスト 1Fスラブ(土木)

番号	管口径	スリーブ径 ボックスサイズ	スリーブ ボックス長さ	レベル	名称
1	φ100	φ150	300	1SL2-450	排砂槽 排泥管
2	φ200	φ250	200	1SL2-1350	破砕機 流入管
3	φ200	φ250	500	1SL2-1410	破砕機 流出管
4	32A	φ75	200	1SL1	流入水路 散水管
5	65A	φ100	200	1SL1	ばっ気槽第1室 空気管
6	65A	φ100	200	1SL1	ばっ気槽第2室 空気管
7	32A	φ75	200	1SL1	汚泥貯留槽 空気管
8	20A	φ75	200	1SL1	汚泥引抜ポンプ槽 空気管
9	20A	φ75	200	1SL1	汚泥濃縮槽 空気管
10	20A	φ75	200	1SL1	最初沈殿槽 空気管
11	20A	φ75	200	1SL1	最初沈殿槽 空気管
12	65A	φ100	200	1SL1	流量調整ポンプ 汚水管
13	65A	φ100	200	1SL1	流量調整ポンプ 汚水管
14	φ150	φ200	200	1SL1	汚水計量槽 オーバーフロー管
15	φ100	φ150	200	1SL1	スクリーン槽 ドレン管
16	15A	φ75	200	1SL1	スクリーン槽 散水管
17	φ150	φ200	200	1SL1	汚水計量槽 オーバーフロー管
18	50A	φ75	200	1SL1	汚水計量槽 ドレン管
19	φ150	φ200	200	1SL1	汚水計量槽 流出管
20	φ150	φ200	200	1SL1	汚水計量槽 流出管
21	φ100	φ150	200	1SL1	最初沈殿槽 脱臭管
22	φ100	φ150	200	1SL1	流量調整槽 脱臭管
23	φ50	φ75	200	1SL1	脱臭装置 ドレン管
24	65A	φ100	200	1SL3	散水ポンプ 散水管
25	開口	φ300	250	1SL1	沈殿槽 汚泥寄機
26	φ65	φ100	200	1SL1	給排水設備 排水管
27	25A	φ75	200	1SL3	散水ポンプ 戻り管
28	φ13	φ50	200	1SL1	散水管
29	φ13	φ50	200	1SL1	散水管

スリーブリスト 地下スラブ(土木)

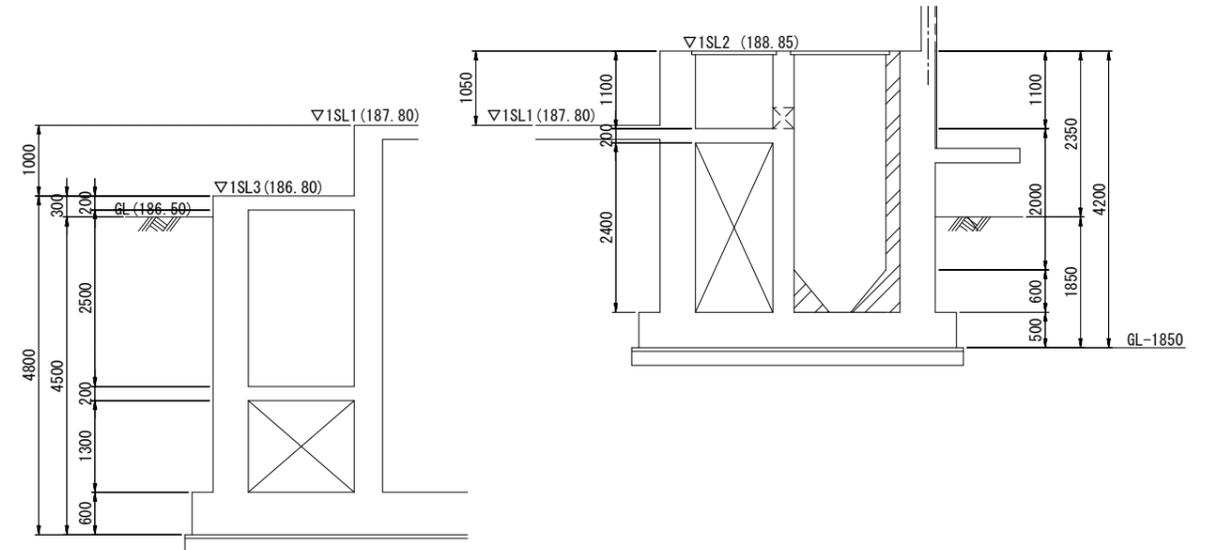
番号	管口径	スリーブ径 ボックスサイズ	スリーブ ボックス長さ	レベル	名称
51	50A	φ75	500	1SL1-750	脱離液ポンプ 脱離液管
52	65A	φ100	500	1SL1-650	ばっ気槽第2室 空気管
53	32A	φ75	500	1SL1-750	汚泥貯留槽 空気管
54	65A	φ100	500	1SL1-650	ばっ気槽第1室 空気管
55	20A	φ75	500	1SL1-750	汚泥引抜ポンプ槽 空気管
56	20A	φ75	500	1SL1-350	汚泥濃縮槽 空気管
57	20A	φ75	500	1SL1-350	最初沈殿槽 空気管
58	20A	φ75	500	1SL1-350	最初沈殿槽 空気管
59	32A	φ75	500	1SL1-350	流入水路 散水管
60	φ150	φ200	500	1SL1-739	汚水計量槽 流出管
61	50A	φ75	400	1SL1-750	脱離液ポンプ 脱離液管
62	65A	φ100	400	1SL1-500	余剰汚泥ポンプ 汚泥管
63	32A	φ75	400	1SL1-350	汚泥貯留槽 空気管
64	20A	φ75	400	1SL1-350	汚泥引抜ポンプ槽 空気管
65	20A	φ75	400	1SL1-350	汚泥濃縮槽 空気管
66	φ100	φ150	400	1SL1-856	最初沈殿槽 汚泥管
67	65A	φ100	400	1SL1-350	ばっ気槽第2室 空気管
68	65A	φ100	400	1SL1-350	ばっ気槽第1室 空気管
69	32A	φ75	400	1SL1-350	流入水路 散水管
70	φ150	φ200	400	1SL1-971	最初沈殿槽 汚水管
71	80A	φ125	400	1SL1-650	汚泥引抜ポンプ 汚泥管
72	80A	φ125	400	1SL1-650	汚泥引抜ポンプ 汚泥管
73	40A	φ75	400	1SL1-350	散水ポンプ 散水管
74	80A	φ125	400	1SL1-850	汚泥引抜ポンプ 汚泥管
75	φ150	φ200	400	1SL1-1071	最初沈殿槽 汚水管
76	65A	φ100	400	1SL1-350	散水ポンプ 散水管
77	65A	φ100	630	1SL1-500	散水ポンプ 散水管
78	20A	φ75	400	1SL1-350	汚泥引抜ポンプ槽 空気管
79	65A	φ100	400	1SL1-350	余剰汚泥ポンプ 汚泥管
80	80A	φ125	400	1SL1-650	返送汚泥ポンプ 汚泥管
81	φ150	φ200	400	1SL1-1500	汚泥濃縮槽 脱離液管
82	50A	φ75	400	1SL1-750	脱離液ポンプ 脱離液管
83	φ100	φ150	400	1SL-481	汚泥濃縮槽 濃縮汚泥管
84	32A	φ75	400	1SL1-350	汚泥貯留槽 空気管
85	20A	φ75	400	1SL1-350	汚泥引抜ポンプ槽 空気管
86	φ100	φ150	400	1SL-470	汚泥濃縮槽 濃縮汚泥管
87	20A	φ75	400	1SL1-350	汚泥濃縮槽 空気管
88	φ150	φ200	400	1SL1-818	汚泥濃縮槽 脱離液管
89	φ150	φ200	400	1SL1-1418	汚泥濃縮槽 脱離液管
90	65A	φ100	400	1SL1-500	余剰汚泥ポンプ 汚泥管
91	φ100	φ150	400	1SL-943	最初沈殿槽 汚泥管
92	20A	φ75	1,150	1SL1-350	汚泥濃縮槽 空気管
93	20A	φ75	1,150	1SL1-350	汚泥引抜ポンプ槽 空気管
94	32A	φ75	1,150	1SL1-350	汚泥貯留槽 空気管
95	φ100	φ150	500	1SL1-750	給排水設備 排水管
96	φ75	φ125	500	1SL1-100	給排水設備 排水管
97	φ150	φ200	500	1SL1-750	汚水計量槽 流出管
98	φ13	φ50	500	1SL1-1900	散水管
99	φ13	φ50	500	1SL1-1900	散水管
100	φ20	φ75	500	1SL1-1900	給水管
101	φ100	φ150	500	1SL1-400	脱臭装置 吸込管
102	65A	φ100	400	1SL1-350	ばっ気槽第2室 空気管

打込配管リスト(土木)

番号	管口径	スリーブ径 ボックスサイズ	配管長	レベル	名称
201	15A	実管	550	1SL2-150	流入水路 散水管
202	20A	実管	550	1SL2-150	ばっ気沈砂槽 散水管
203	20A	実管	550	1SL2-150	ばっ気沈砂槽 空気管
204	20A	実管	1,000	1SL2-600	ばっ気沈砂槽 空気管
205	φ50	実管	500	1SL2-1,760	破砕機ビット 水抜管
206	100A	実管	650	1SL2-200	流入水路 脱臭管
207	100A	実管	650	1SL2-200	ばっ気沈砂槽 脱臭管
208	100A	実管	650	1SL2-200	バイパススクリーン水路 脱臭管
209	150A	実管	600	1SL1-1,700	沈殿槽 流入管
210	150A	実管	2,180	1SL1-3,300~3,700	沈殿槽スカム流出管
211	150A	実管	2,410	1SL1-4,667	沈殿槽底部汚泥引抜管
212	150A	実管	1,450	1SL1-1,515	沈殿槽処理水流出管
213	150A	実管	1,000	1SL3-1,075	消毒槽 流出管
214	φ100	実管	2,520	1SL1-1,900	雨樋管
215	φ50	実管	400	1SL1	バルブビット 水抜管

ボックスリスト(土木)

番号	管口径	スリーブ径 ボックスサイズ	スリーブ ボックス長さ	レベル	名称
301	300□	400□	400	1SL3-600	消毒槽 流入管

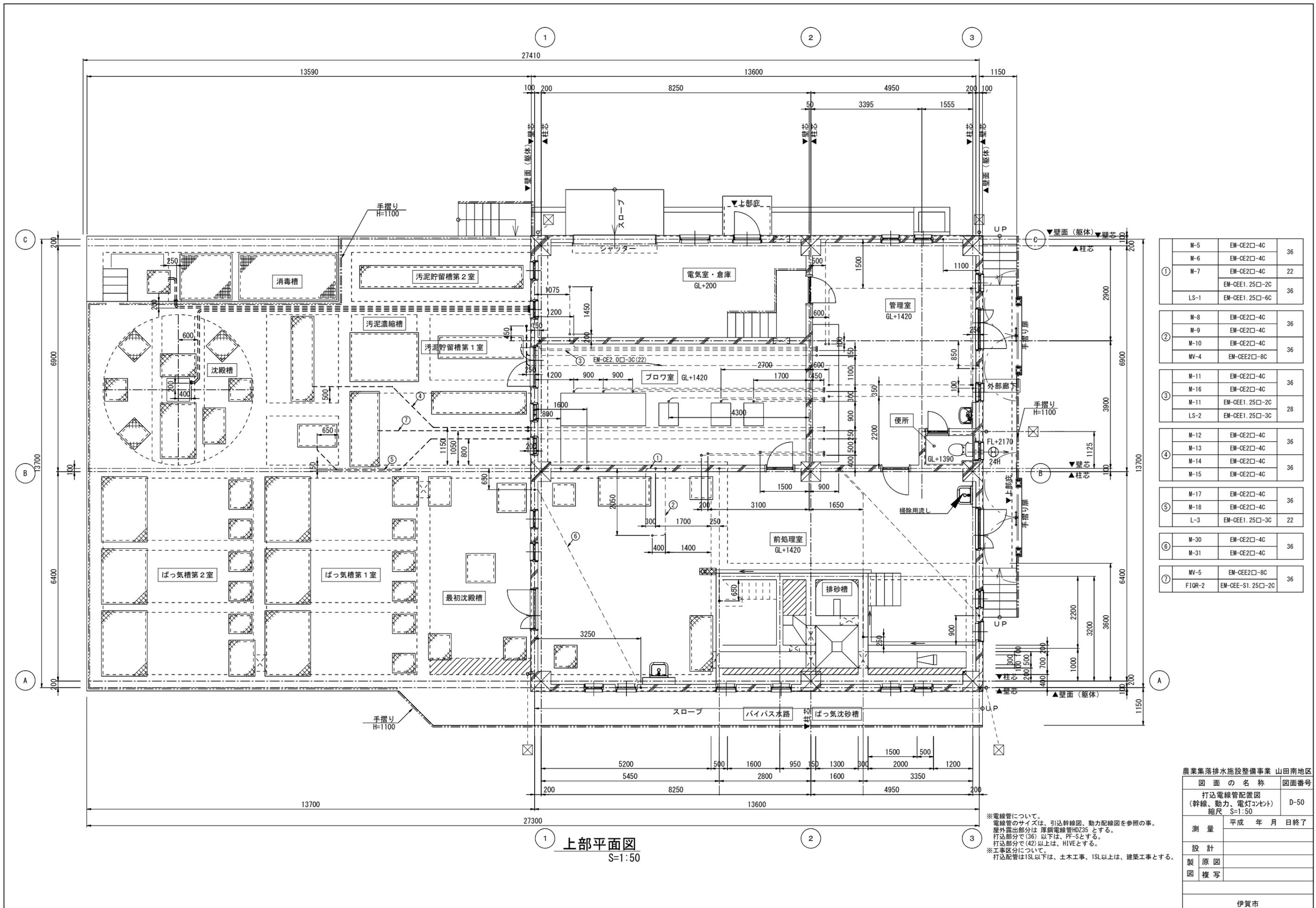


特記

- 1) 特記無き場合、A表示配管はSUS304-TPを示す。
- 2) 特記無き場合、φ表示配管は硬質塩化ビニル管 VPを示す。
- 3) リスト中において、レベルは以下に図示するものとし、1SLまたは、MSLからの高さHとする。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
土木スリーブ図(3/3)	D-49
縮尺 NOT	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



上部平面図
S=1:50

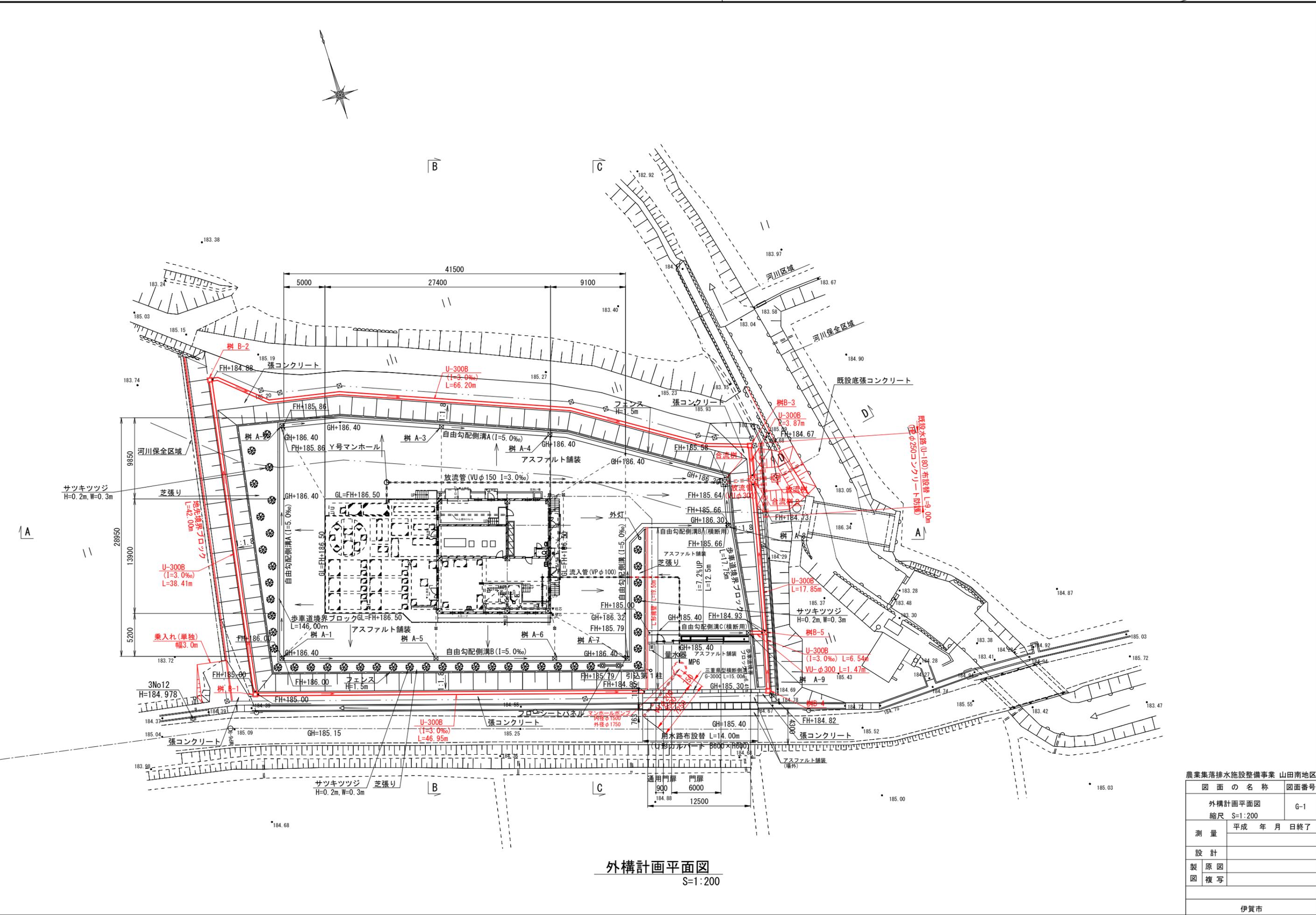
①	M-5	EM-CE2□-4C	36
	M-6	EM-CE2□-4C	36
	M-7	EM-CE2□-4C	22
	LS-1	EM-CEE1.25□-2C	36
②	M-8	EM-CE2□-4C	36
	M-9	EM-CE2□-4C	36
	MV-4	EM-CEE2□-8C	36
③	M-11	EM-CE2□-4C	36
	M-16	EM-CE2□-4C	36
	LS-2	EM-CEE1.25□-3C	28
④	M-12	EM-CE2□-4C	36
	M-13	EM-CE2□-4C	36
	M-14	EM-CE2□-4C	36
⑤	M-15	EM-CE2□-4C	36
	M-17	EM-CE2□-4C	36
	L-3	EM-CEE1.25□-3C	22
⑥	M-30	EM-CE2□-4C	36
	M-31	EM-CE2□-4C	36
⑦	MV-5	EM-CEE2□-8C	36
	F10R-2	EM-CEE-S1.25□-2C	36

※電線管について。
電線管のサイズは、引込幹線図、動力配線図を参照の事。
屋外露出部分は厚鋼電線管HDZ35とする。
打込部分で(36)以下は、PF-Sとする。
打込部分で(42)以上は、HIVEとする。
※工事区分について。
打込配管は1SL以下は、土木工事、1SL以上は、建築工事とする。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
打込電線管配置図 (幹線、動力、電灯コンセント) 縮尺 S=1:50	D-50
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

伊賀市



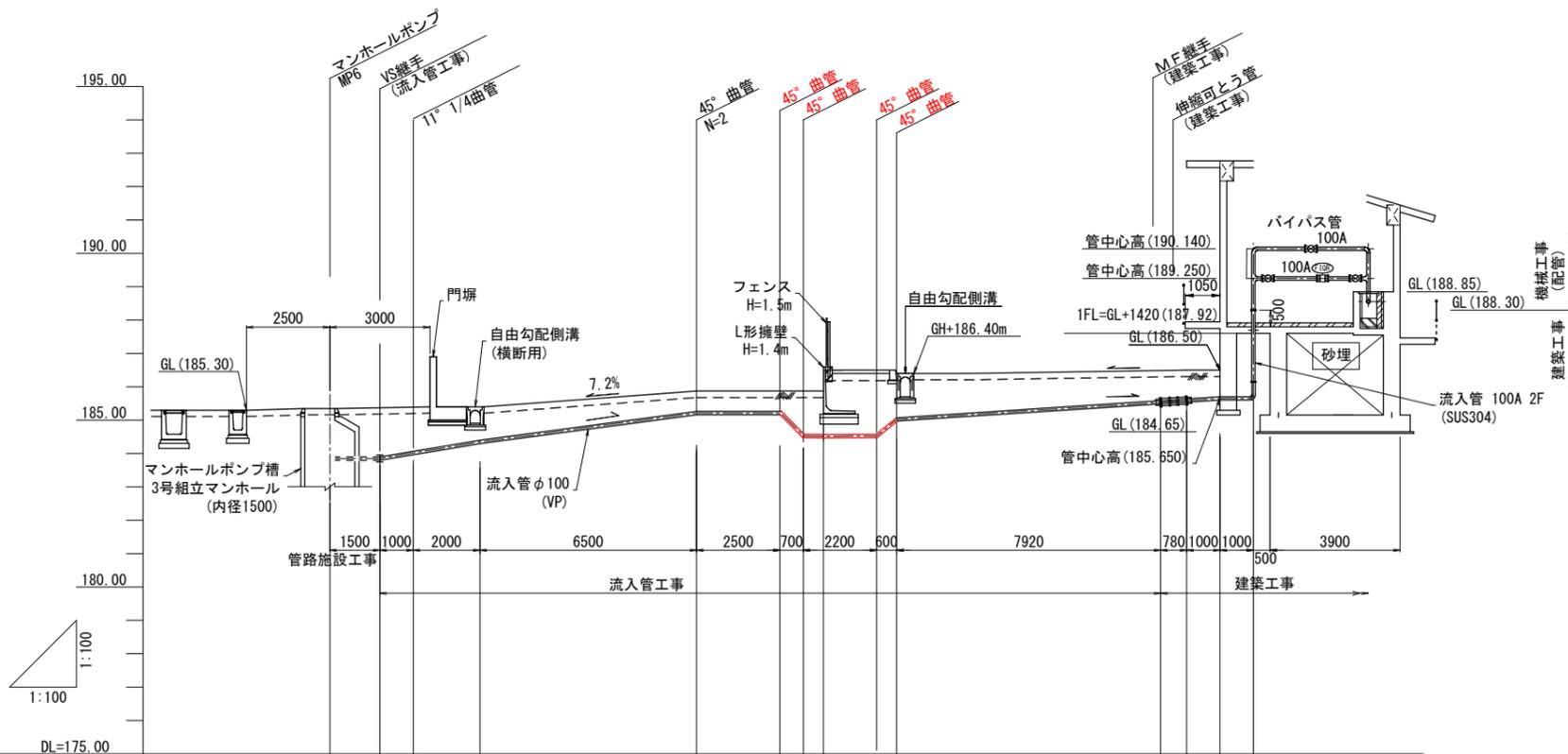
外構計画平面図
S:1:200

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
外構計画平面図	G-1
縮尺	S:1:200
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

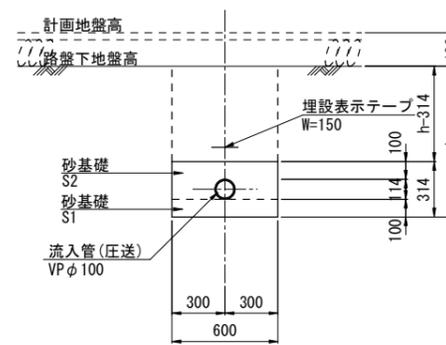
流入管計画図

流入管(圧送)縦断面図



流入管布設標準断面図

(VP φ100) S=1:20



管種・管径	VP φ100										SUS100A		
勾配	圧送												
土被り	1.44 (1.25)	1.46 (1.27)	1.47 (1.28)	1.00 (0.81)	0.60 (0.41)	0.60 (0.41)	1.29 (1.10)	1.63 (1.44)	1.92 (1.73)	0.83 (0.64)	0.82 (0.63)	0.79 (0.60)	0.60
管底高	183.800	183.800	183.800	184.298	185.163	185.164	184.470	184.470	184.470	185.552	185.569	185.60	188.250
計画地盤高	185.35	185.37	185.38	185.40	185.87	185.87	185.87	186.50	186.50	186.49	186.50	186.50	188.250
路盤下地盤高	185.16	185.18	185.19	185.21	185.68	185.68	185.68	186.21	186.21	186.30	186.31	186.31	188.250
追加距離	-1.50	0.00	1.00	3.00	9.50	12.00	12.70	13.30	14.90	23.42	24.20	25.20	26.20
単距離	-1.50	0.00	1.00	2.00	6.50	2.50	0.70	0.60	1.60	7.92	0.78	1.00	1.00
測点	MP6												

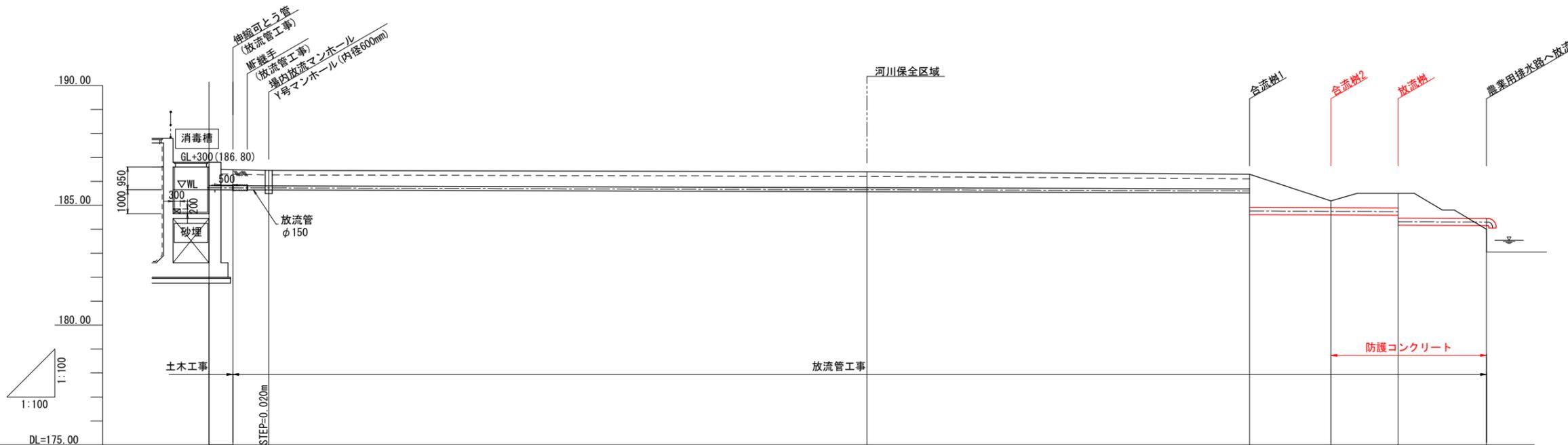
※土被りの()は路盤下までの土被り。
 ※路盤下地盤高は、計画地盤高-0.190m(舗装+路盤厚)としている。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

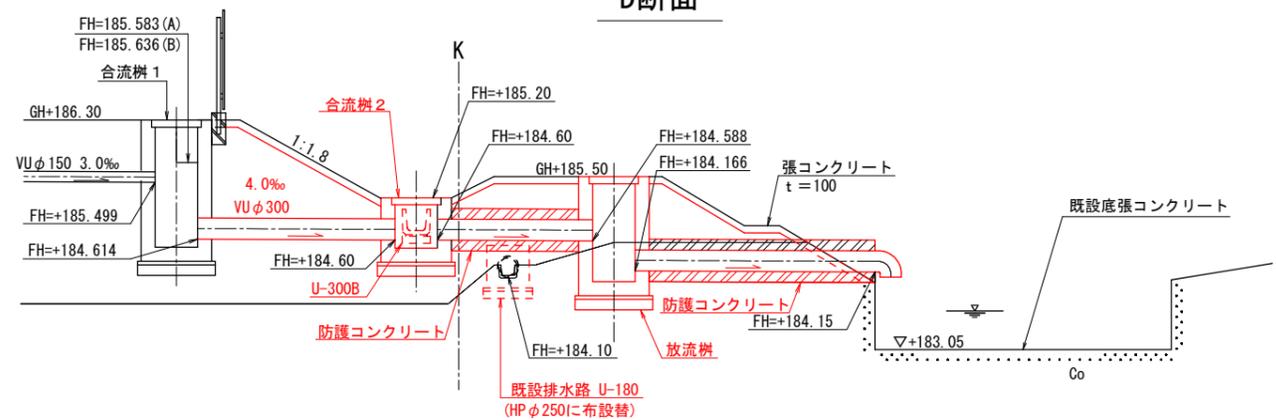
図面の名称	図面番号
流入管計画図	G-2
縮尺	図示
測量	平成年月日終了
設計	
製原図	
図複写	

放流管計画図

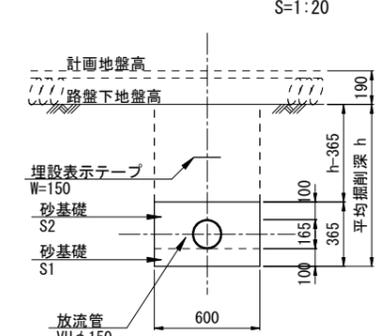
放流管縦断面図



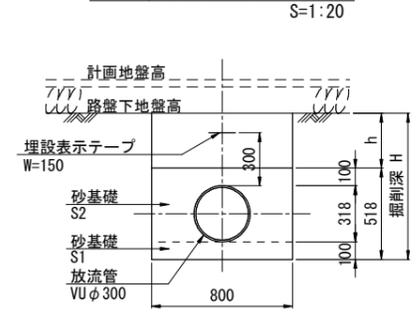
D断面



放流管(場内)布設標準断面図



放流管(場外)布設標準断面図



管種・管径	SUS150A	VU φ150				VU φ300				
勾配		3.0‰				4.0‰				
土被り	0.69 (0.50)	0.67 (0.48)	0.66 (0.47)	0.68 (0.49)	0.69 (0.50)	0.64 (0.45)	1.26	0.29	0.60 (0.41)	1.03
管底高	185.50	185.650	185.647	185.642	185.622	186.40	185.547	185.20	184.600	184.150
計画地盤高	186.50	186.48	186.46	186.46	186.40	186.30	186.11	185.20	185.50	184.150
路盤下地盤高	186.31	186.29	186.27	186.27	186.21	186.11	186.11	185.20	185.50	184.150
追加距離	0.00	1.00	2.50		27.50	43.50	46.90	49.70	53.40	
単距離	0.00	1.00	1.50		25.00	16.00	3.40	2.80	3.70	
測点	消毒槽	場内放流マンホール				合流樹1	合流樹2	放流樹	農業用排水路	

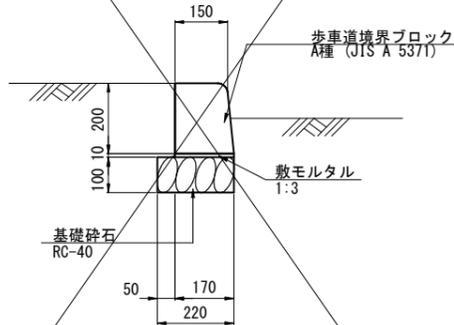
※土被りの()は路盤下までの土被り。
※路盤下地盤高は、計画地盤高-0.190m(舗装+路盤厚)としている。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
放流管計画図	G-3
縮尺	図示
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

外構詳細図(補助)(1)

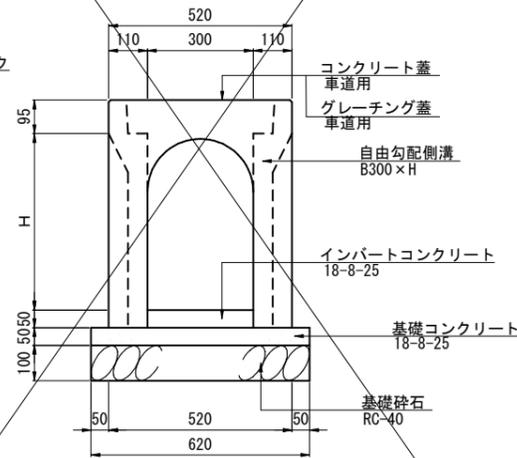
歩車道境界ブロック

S=1:10



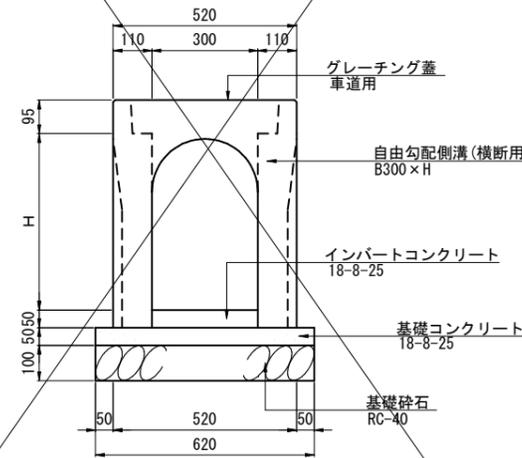
自由勾配側溝
(幅300用)

S=1:10



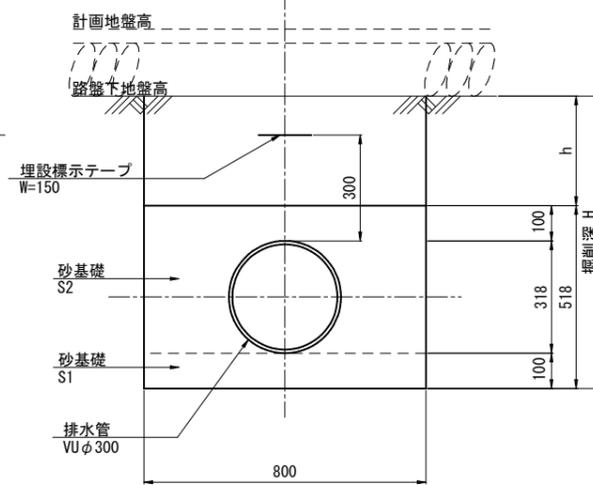
自由勾配側溝
(幅300横断用)

S=1:10



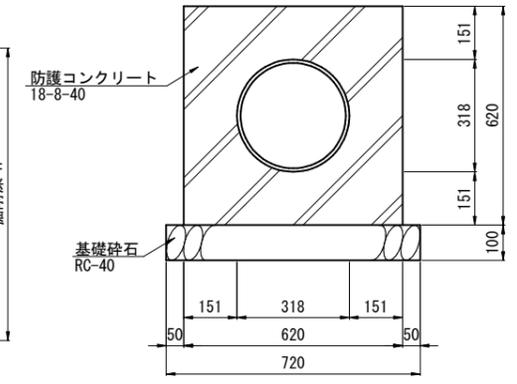
放流管(場外)

VUφ300 S=1:10



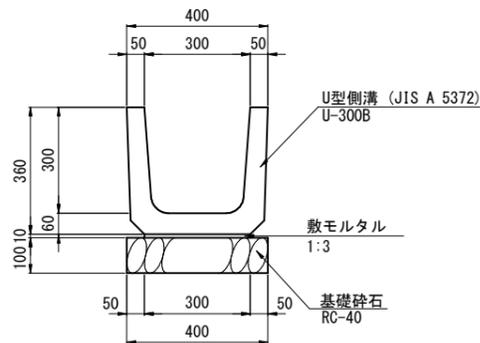
放流管(場外)防護図

S=1:10



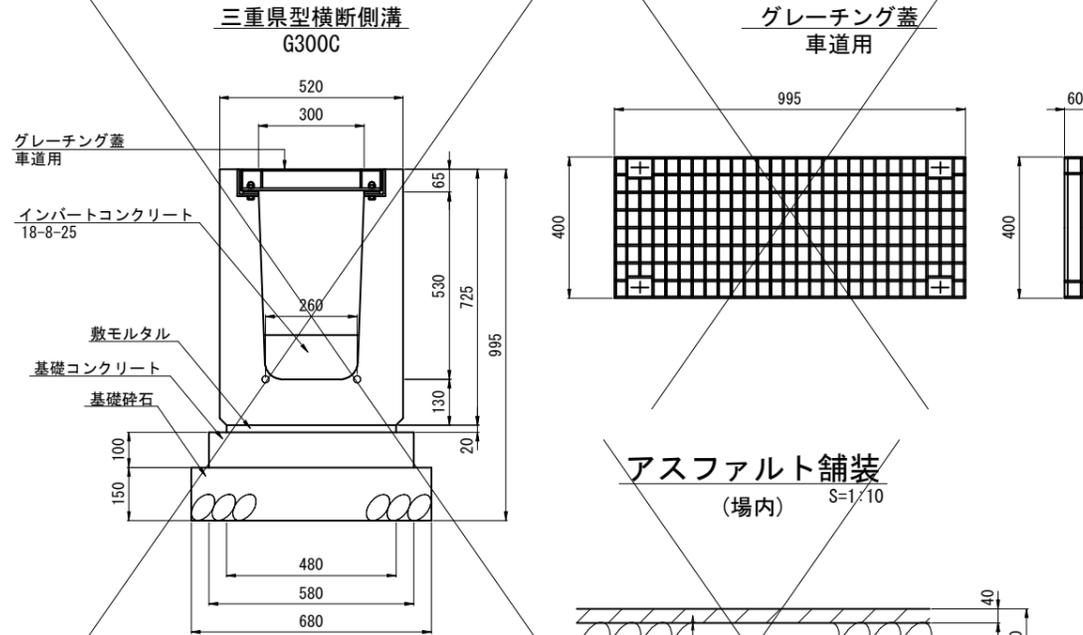
U型側溝

S=1:10

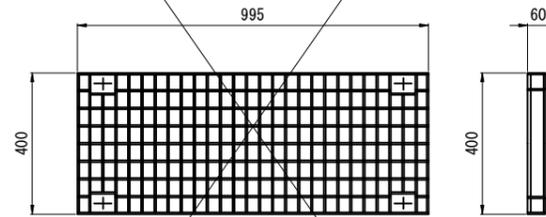


横断側溝

S=1:10



グレーチング蓋
車道用



アスファルト舗装
(場内)

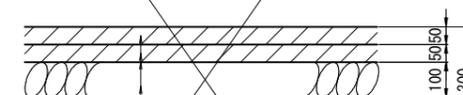
S=1:10



- 再生密粒度アスコン(13) t=40mm
- プライムコート PK-3
- 上層路盤 RC-40 t=150mm
- 不陸整正

アスファルト舗装
(場外)

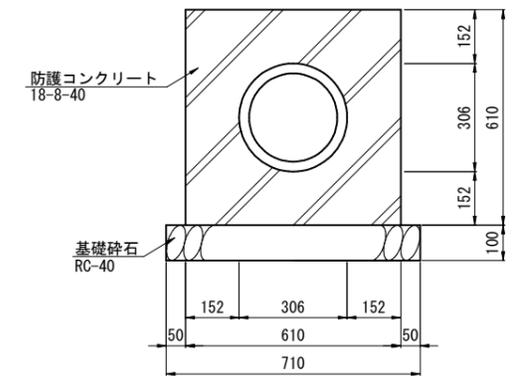
S=1:10



- 再生密粒度アスコン(13) t=50mm
- タックコート PK-4
- 再生粗粒度アスコン(20) t=50mm
- プライムコート PK-3
- 上層路盤 M-30 t=100mm
- 下層路盤 RC-40 t=100mm
- 不陸整正

既設排水路 (U-180)
布設替 (HPφ250) 防護図

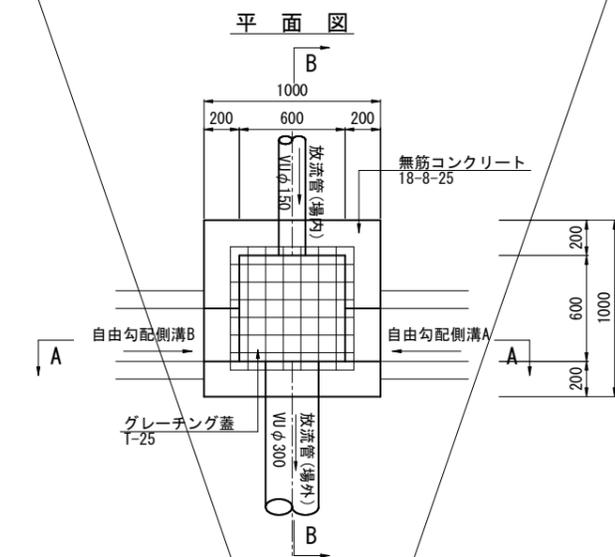
S=1:10



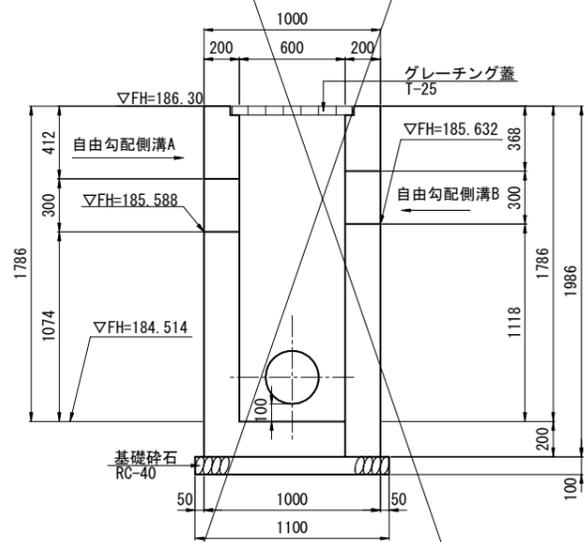
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
外構詳細図(補助)(1)	G-4
縮尺 S=1:10	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

外構詳細図(補助)(2)

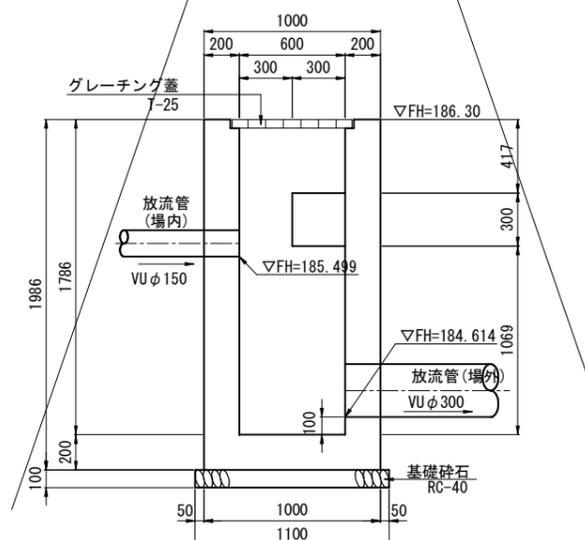
合流樹 1
S=1:20



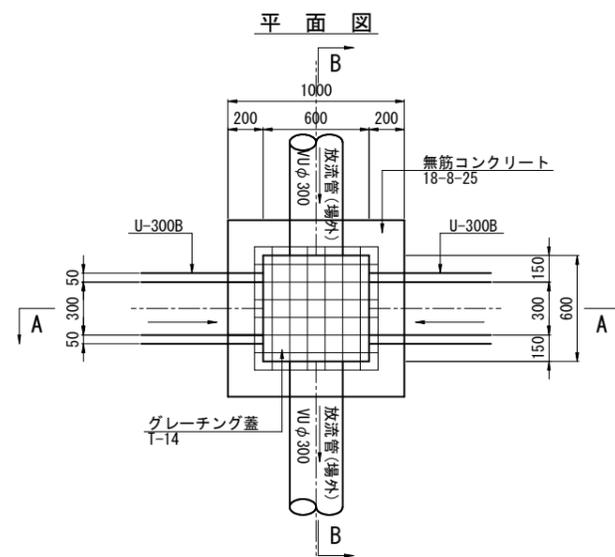
A-A断面図



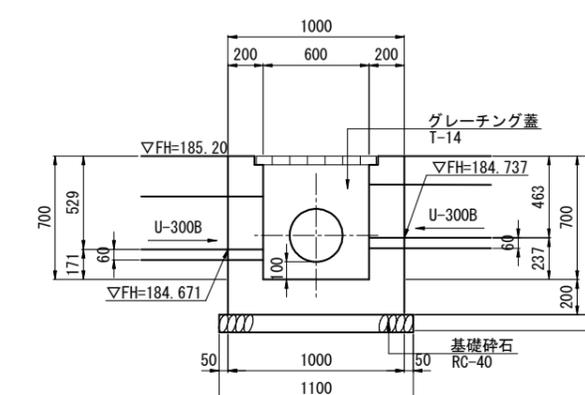
B-B断面図



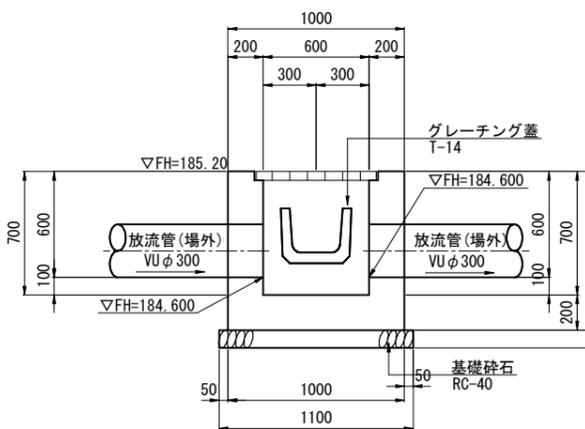
合流樹 2
S=1:20



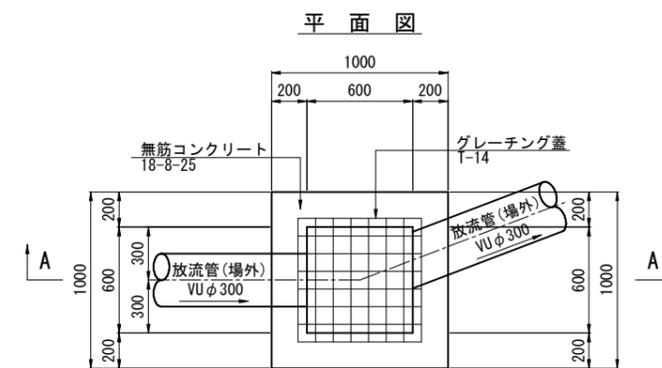
A-A断面図



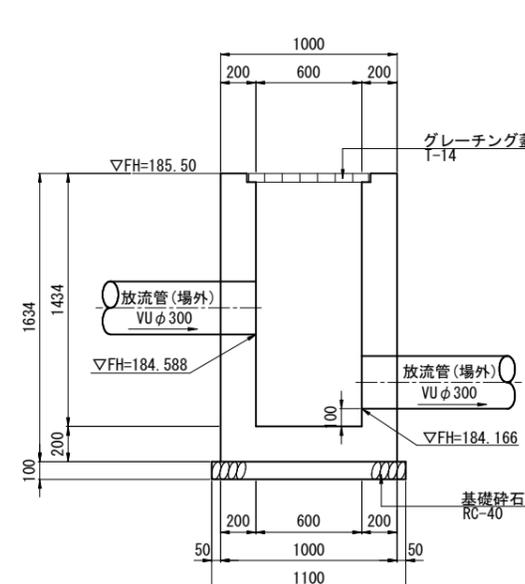
B-B断面図



放流樹
S=1:20



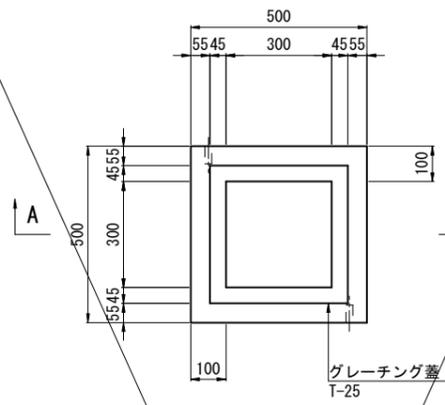
A-A断面図



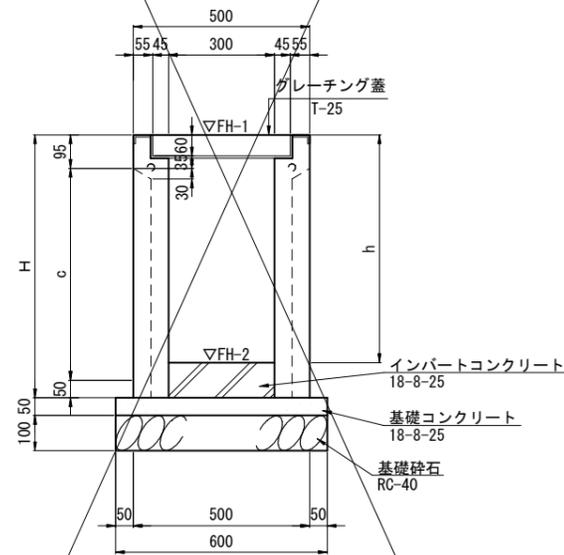
農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
外構詳細図(補助)(2)	G-5
縮尺 S=1:20	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

外構詳細図(補助)(3)

樹 A
S=1:10
平面図



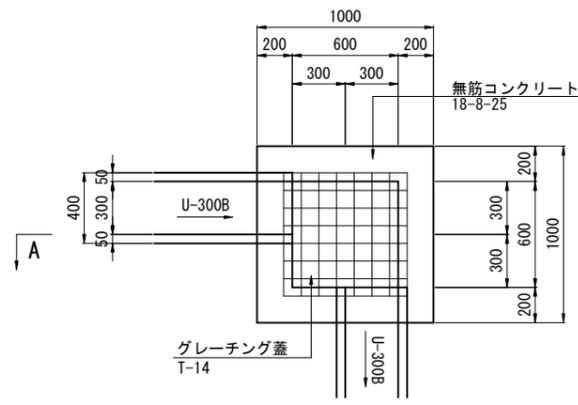
A-A断面図



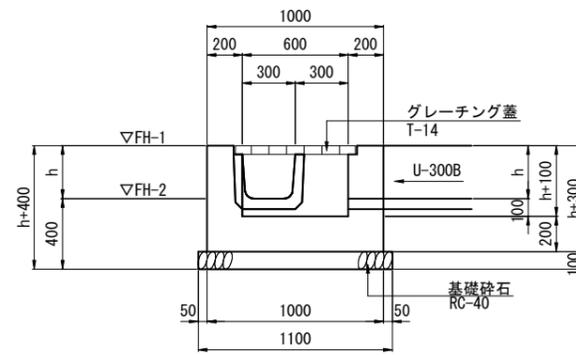
樹A

番号	FH-1	FH-2	h	C	H	蓋仕様	備考
A-1	186.40	186.005	0.395	300	445	T-25	南西角
A-2	186.40	185.864	0.536	500	645	T-25	北西角
A-3	186.40	185.767	0.633	600	745	T-25	接続続樹(1)
A-4	186.40	185.701	0.699	700	845	T-25	接続続樹(2)
A-5	186.40	185.911	0.489	400	545	T-25	接続続樹(3)
A-6	186.40	185.839	0.561	500	645	T-25	接続続樹(4)
A-7	186.40	185.795	0.605	600	745	T-25	南東角
A-8	186.30	185.659	0.641	600	745	T-25	東中央部
A-9	185.40	184.944	0.456	400	545	T-25	門扉東

樹 B
S=1:20
平面図



A-A断面図



樹B

番号	FH-1	FH-2	h	蓋仕様	備考
B-1	185.30	185.000	0.300	T-14	南西角
B-2	185.18	184.884	0.296	T-14	北西角
B-3	184.98	184.683	0.297	T-14	北東角
B-4	185.30	184.814	0.486	T-14	南東角
B-5	185.10	184.793	0.307	T-14	門扉東

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称 図面番号

外構詳細図(補助)(3) G-6

縮尺 S=1:10,20

測量 平成 年 月 日 終了

設計

製原図

図複写

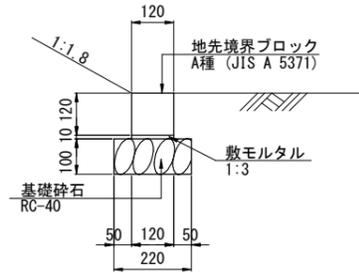
外構詳細図(補助)(4)

張コンクリート
S=1:10

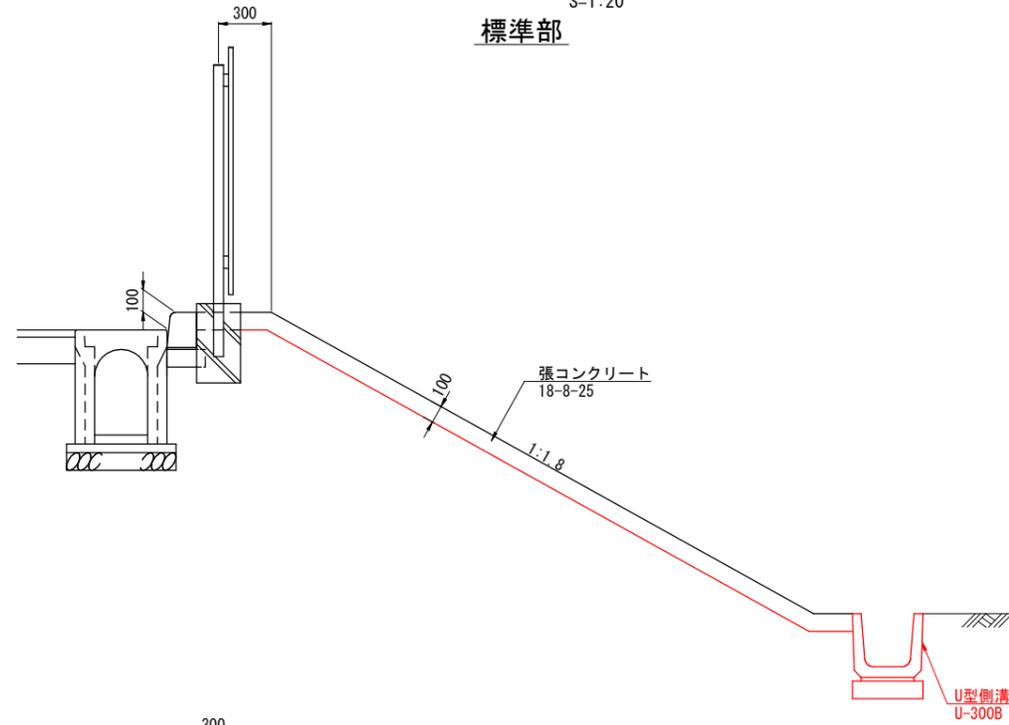


※コンクリート張は、水平方向の9m以内に目地
(エラストイト t=10mm 同等以上)を入れること。

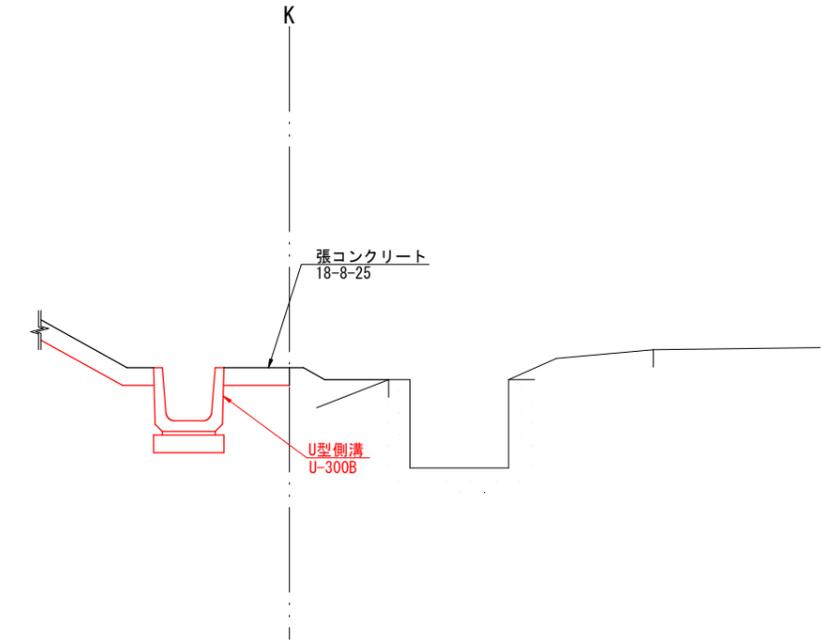
地先境界ブロック
S=1:10



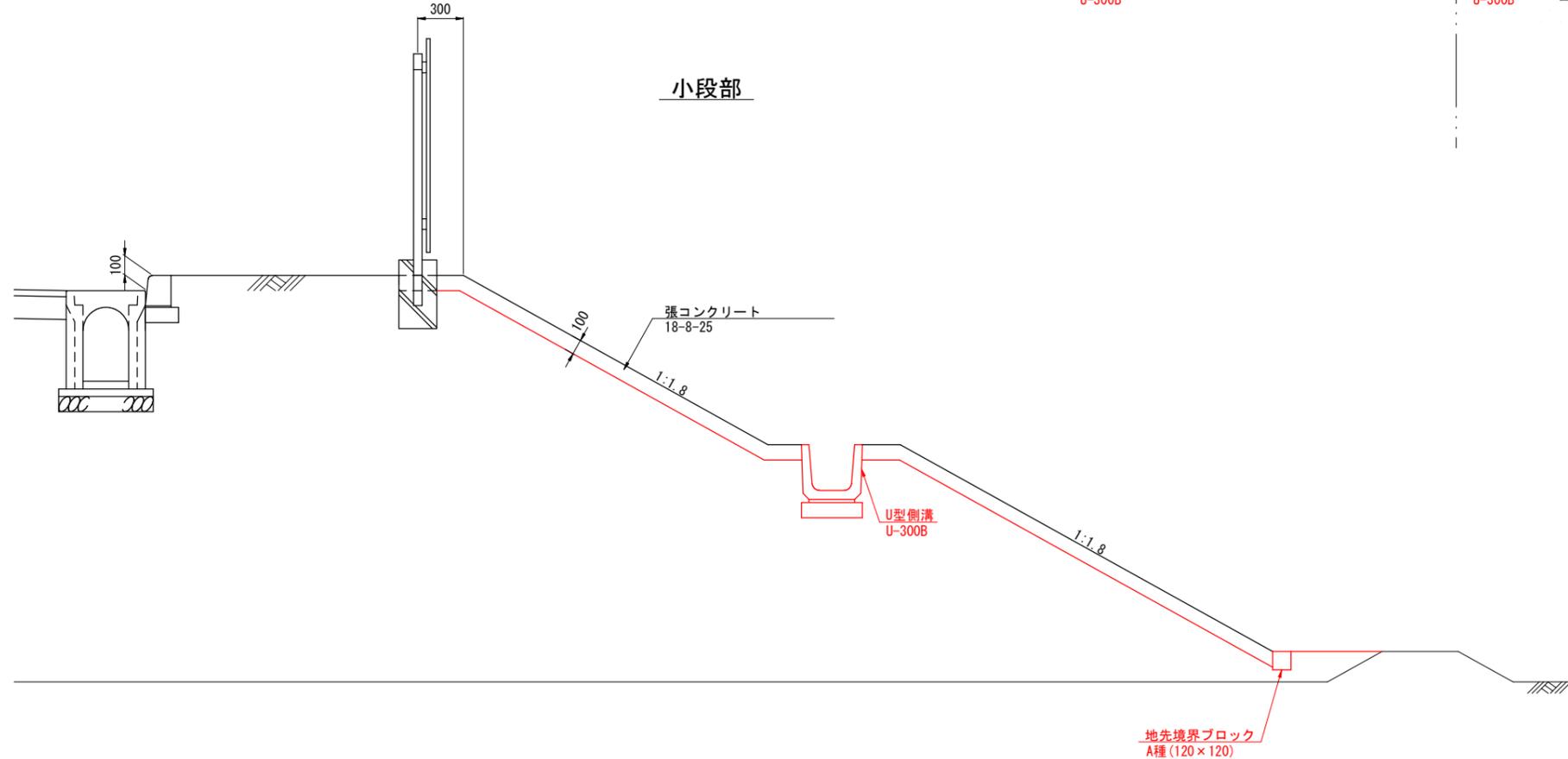
法面保護工
標準部
S=1:20



(南側道路面)



小段部



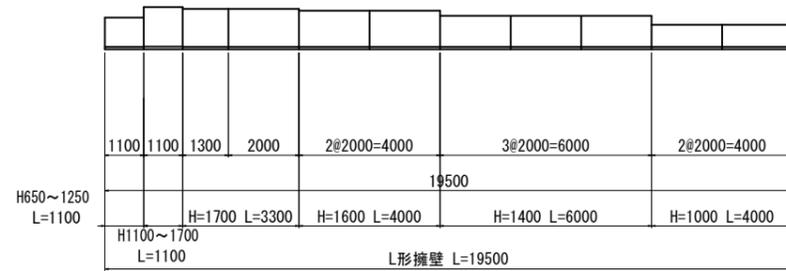
農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
外構詳細図(補助)(4)	G-7
縮尺 S=1:20,10	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

L形擁壁構造図

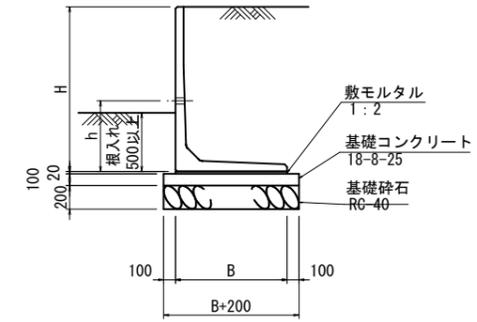
平面図

S=1:100



標準断面図

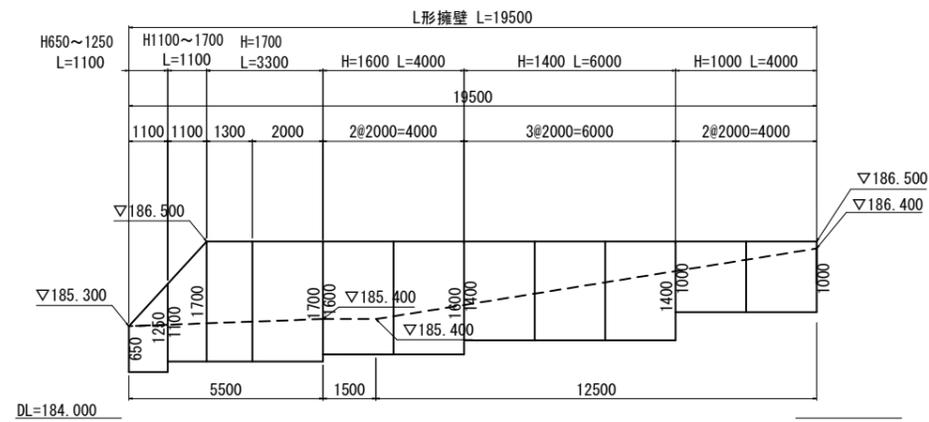
S=1:30



※水抜き穴は現地確認の上、必要に応じて新設すること。
 ※擁壁背面の排水処理（裏込材の設置等）は、適切に行うこと。
 ※地耐力は65.539kN/m2以上とする。

正面展開図

V=1: 50
H=1: 100



農業集落排水施設整備事業 山田南地区

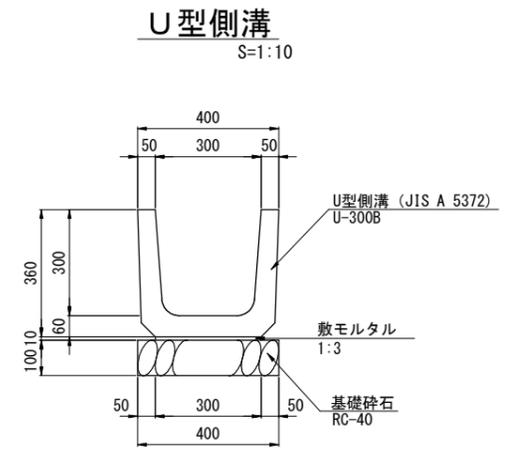
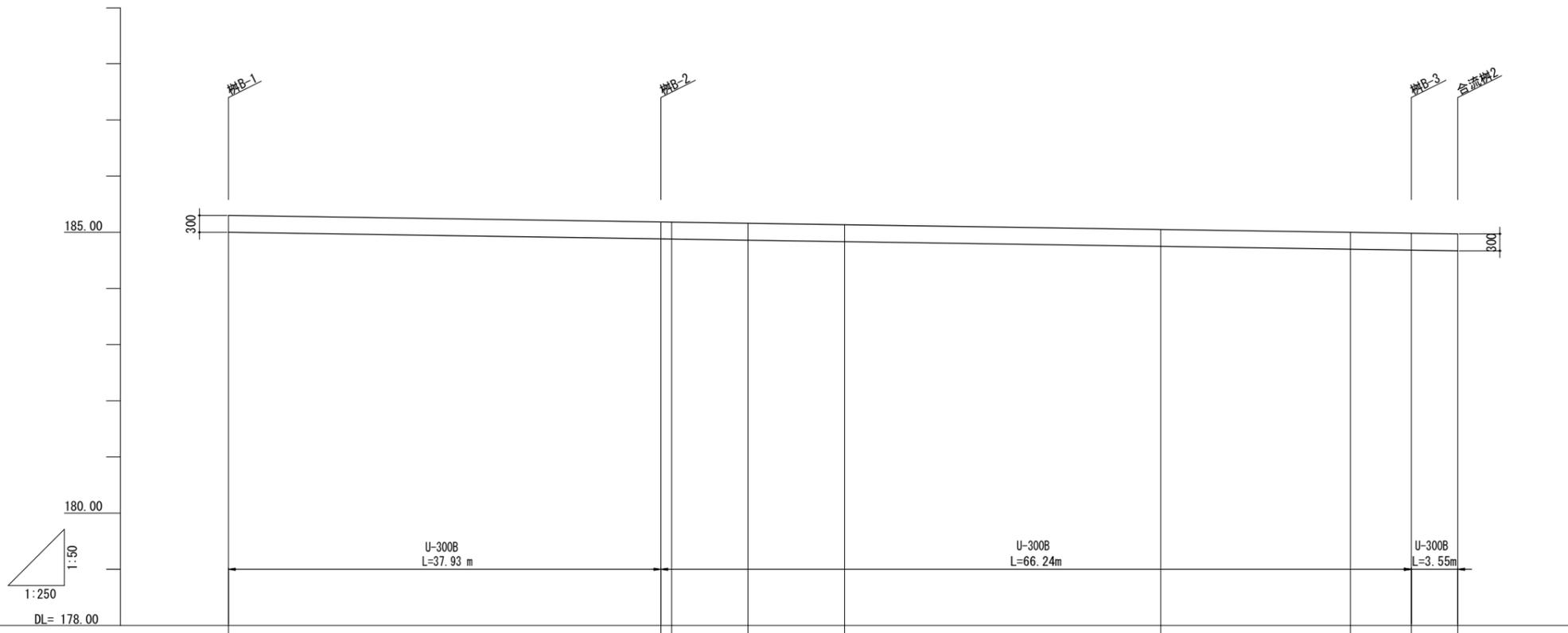
図面の名称	図面番号
L形擁壁構造図	G-8
縮尺 図示	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

排水路縦断図(3)

(外周U型側溝)

V=1:50
H=1:250

右廻りルート
U型側溝 U-300B



勾配	1=3.0‰							
水路底高	185.00	184.884	184.861	184.835	184.750	184.700	184.683	184.671
計画地盤高	185.30	185.18	185.16	185.14	185.05	185.00	184.98	185.20
路盤下地盤高								
追加距離	0.00	38.53	46.29	54.90	83.06	99.95	105.37	109.52
単距離	0.00	38.53	6.80	8.61	28.16	16.89	5.42	4.15
測点	樹B-1	樹B-2 IP.2-1	IP.2-2	IP.2-3	IP.2-4	IP.2-5	樹B-3	合流溝2

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
排水路縦断図(3)	G-11
縮尺 図示	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	

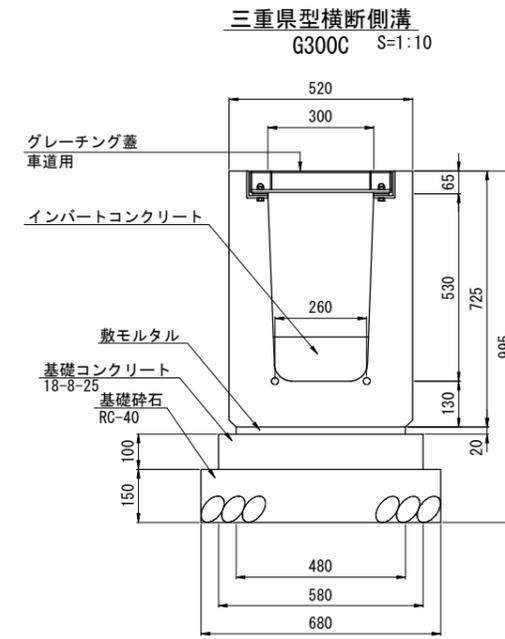
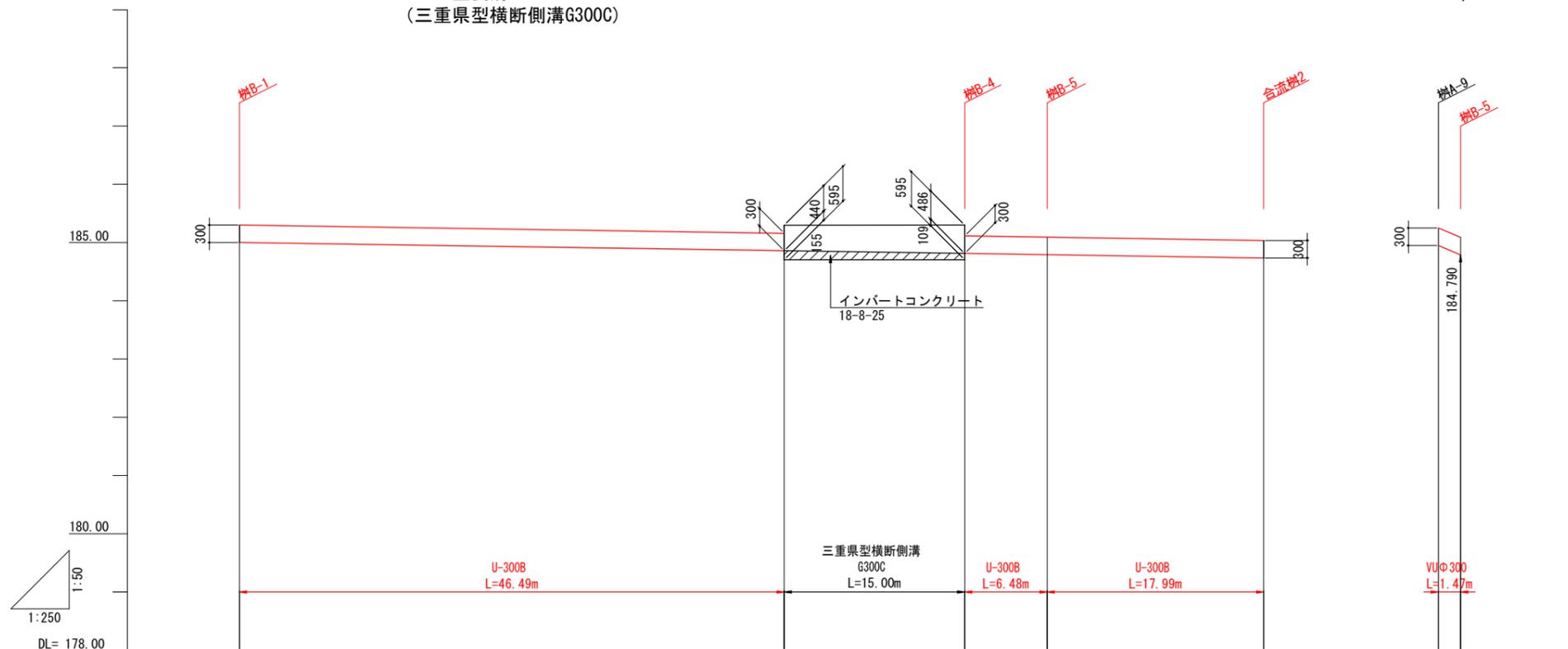
排水路縦断図(4)

(外周U型側溝)

V=1:50
H=1:250

左廻りルート
U型側溝U-300B
(三重県型横断側溝G300C)

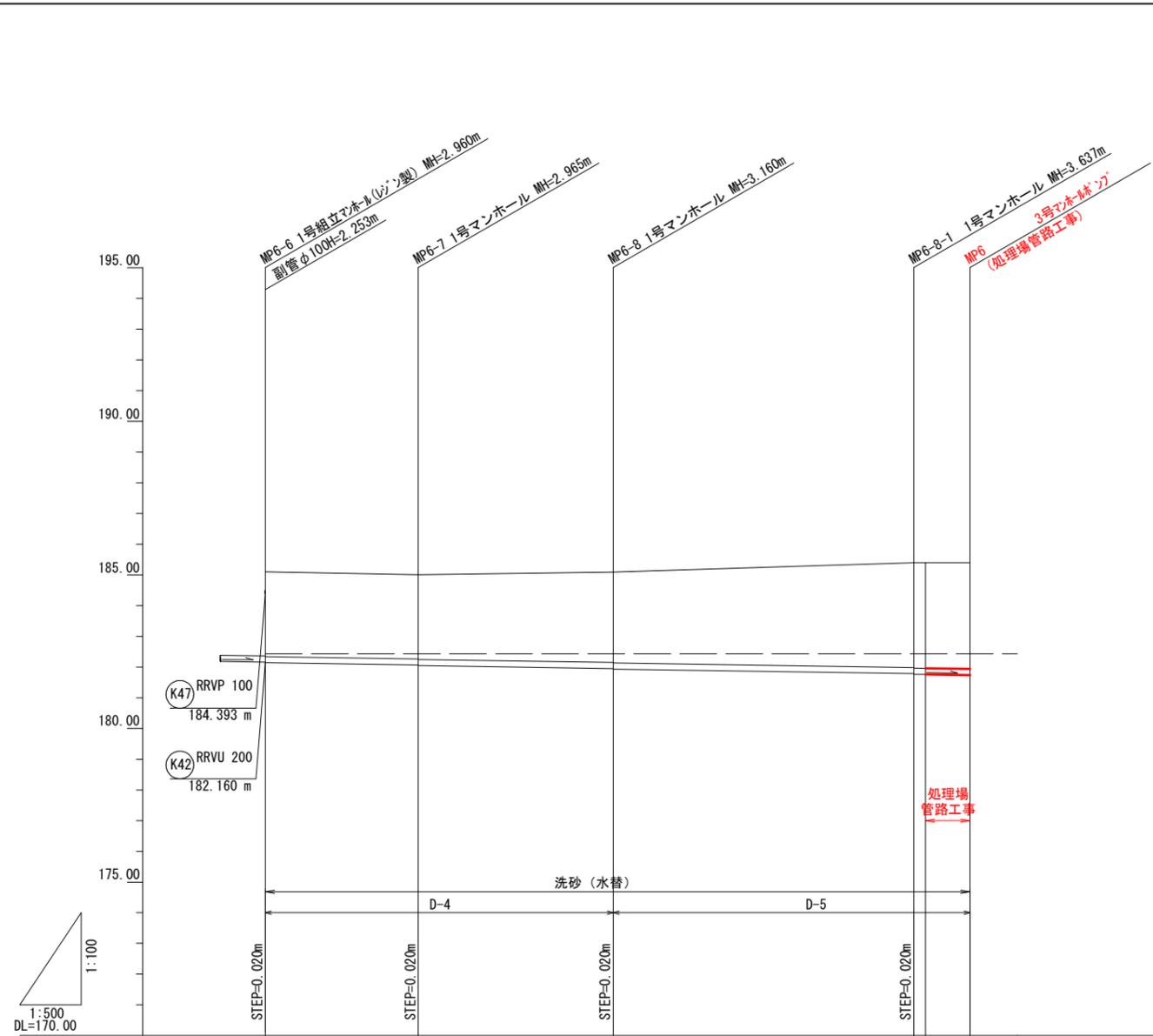
門扉東側法面部
VUφ300



勾配	1=3.0‰					1=79‰
水路底高	185.00	184.860	184.814	184.793	184.737	184.944
計画地盤高	185.30	185.30	185.11	185.10	185.20	185.10
路盤下地盤高		185.11	185.11			185.21
追加距離	0.00	46.79	62.29	69.37	87.96	0.00
単距離	0.00	46.79	15.50	7.08	18.59	0.00
測点	B-1 基	横断側溝 西端	B-4 基	B-5 基	合流線2	A-9 基 B-5 基

※路盤下地盤高は計画地盤高-0.190m(舗装+路盤厚)としている。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
排水路縦断図(4)	G-12
縮尺 図示	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	



道路種別	B-5	
勾配	3.0‰	
管径	◎ 200	
土被	2.75	2.83
管底高	182.140	181.735
地盤高	185.10	185.21
追加距離	459.80	574.66
区間距離	0.00	7.25
マンホール番号	MP6-6	MP6-8-1
路線番号	K48	
路線延長	122.59m	

【水道・NTT・中部電力の地下埋設物】
 ・既存図面と現地状況が不整合の為、
 想定による管種、土被りにて記載。

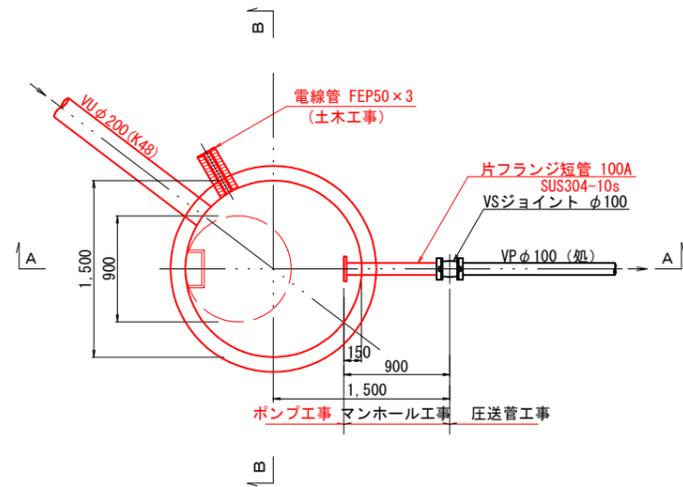
農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
管路縦断面図	P-1
縮尺 V=1:100 H=1:500	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
(K48)	
伊賀市	

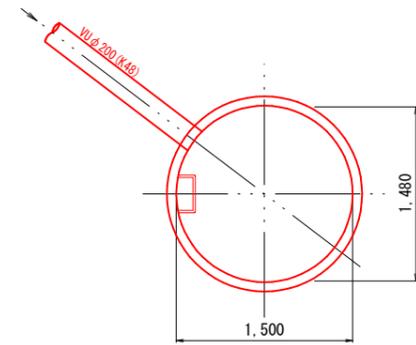
中継ポンプ槽工法図 (MP. 6)

(3号マンホール)

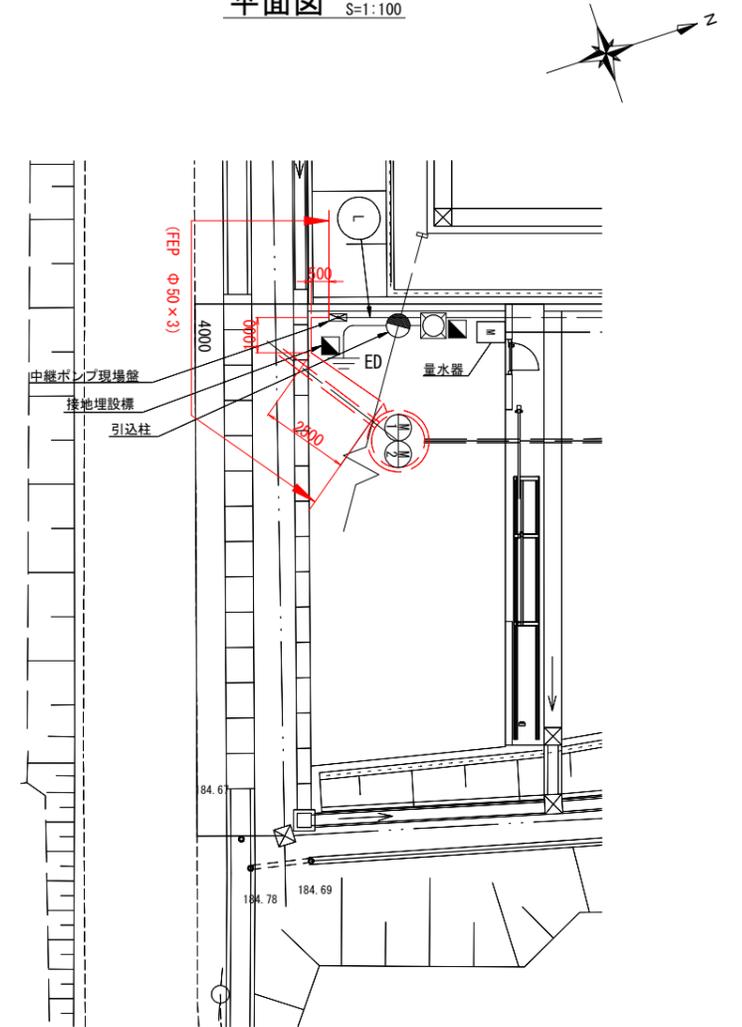
平面図 S=1:30



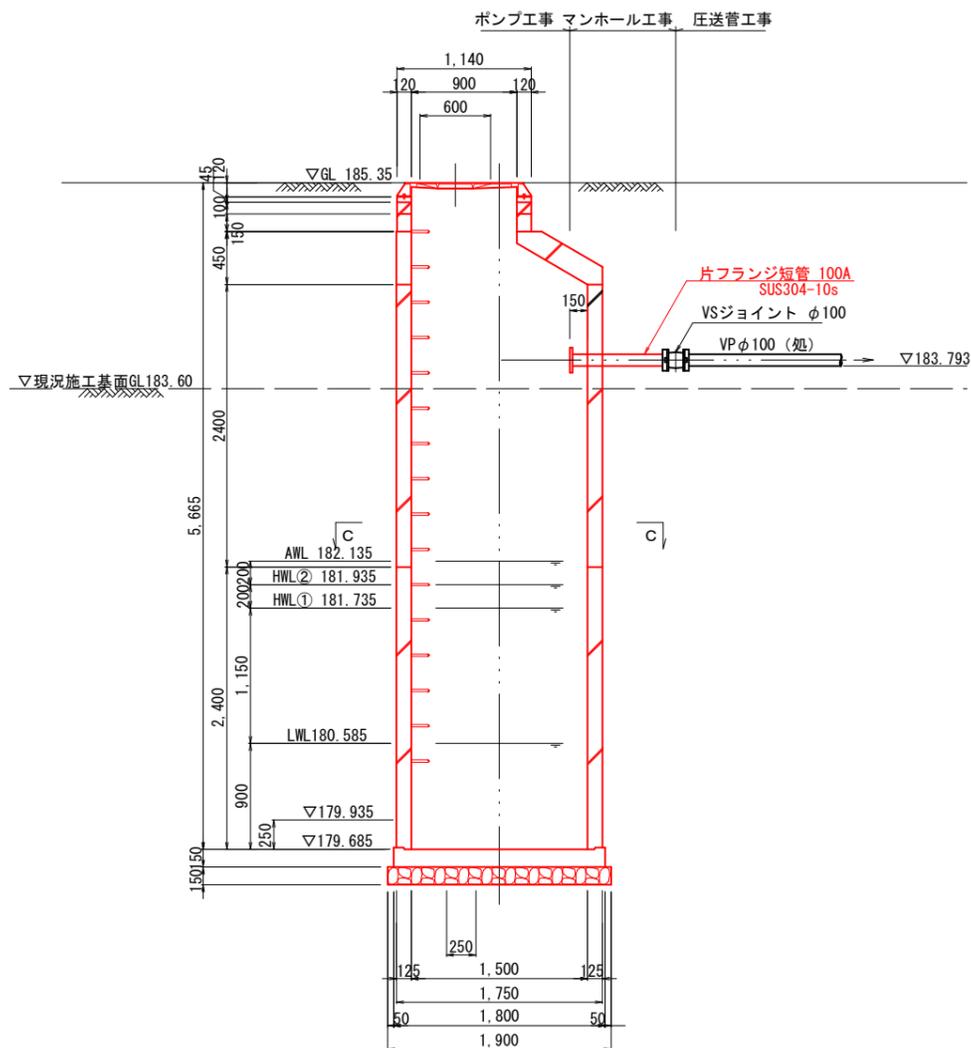
C-C断面図 S=1:30



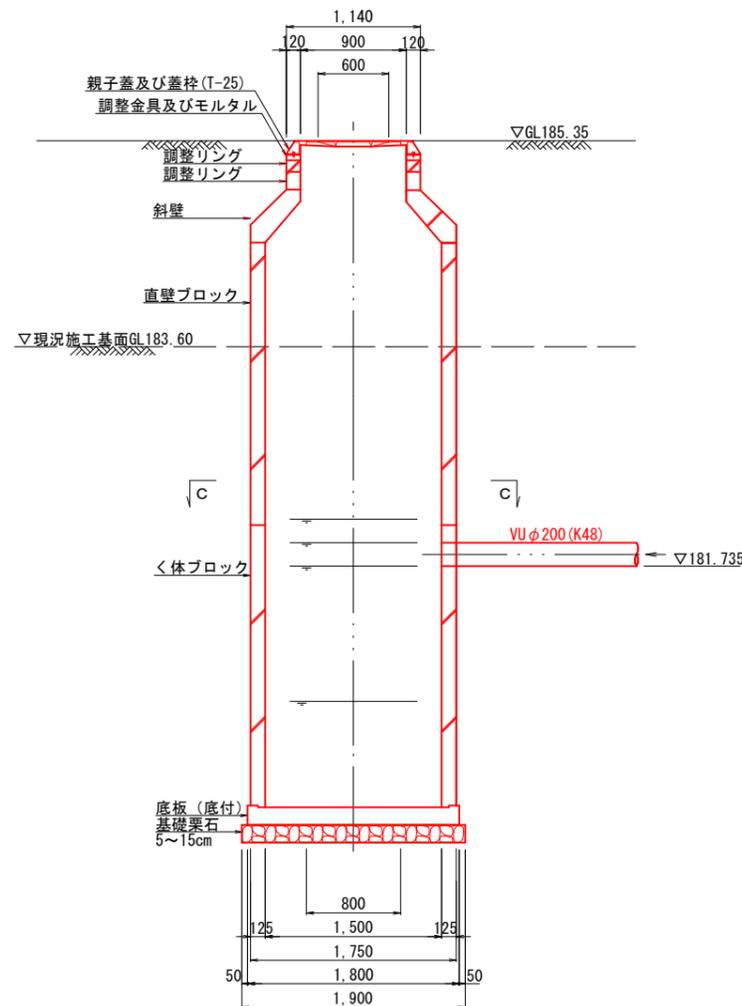
平面図 S=1:100



A-A断面図 S=1:30



B-B断面図 S=1:30



農業集落排水施設整備事業 山田南地区	
図面の名称	図面番号
中継ポンプ槽工法図 (MP. 6)	P-2
縮尺 図示	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
伊賀市	